



公立大学法人 和歌山県立医科大学

# 教育研究開発センター 事業実績報告書

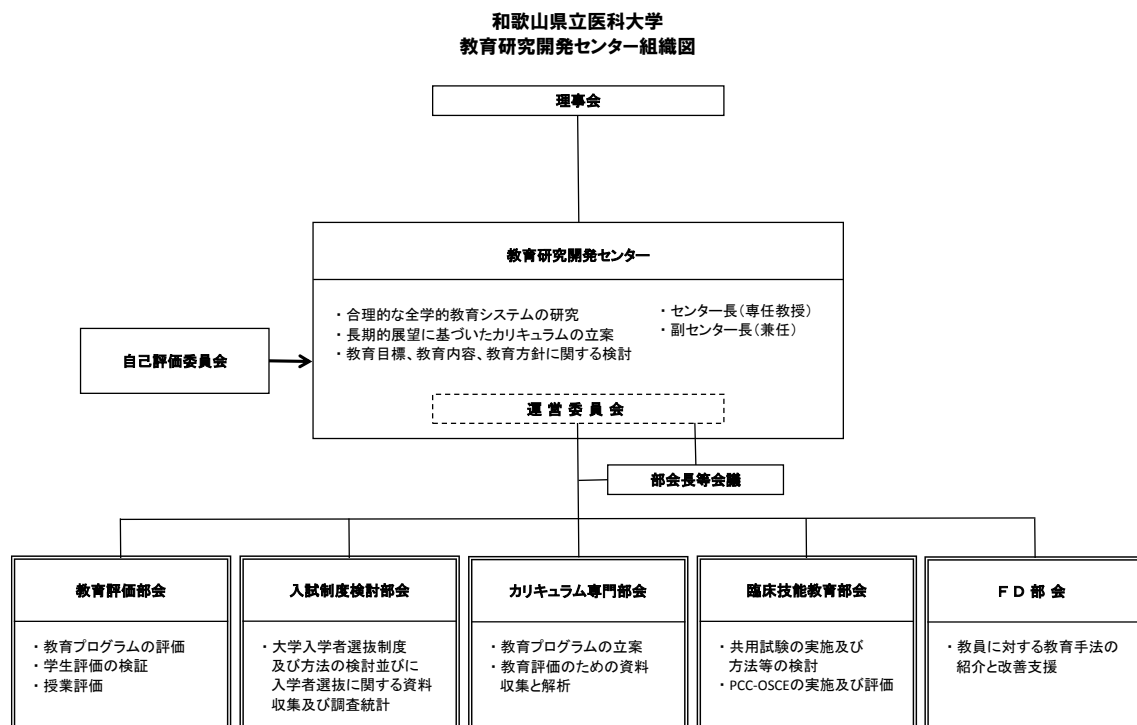
平成29年度



## 目 次

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| 組織図                        | 2   |
| 刊行にあたって                    | 3   |
| 1. 教育研究開発センター              |     |
| 規程・要項                      |     |
| (1) センター規程                 | 5   |
| (2) 運営委員会委員                | 8   |
| (3) 部会委員                   | 8   |
| 2. 平成 29 年度事業実績            |     |
| 1. 医学部                     |     |
| 開催した部会一覧                   | 14  |
| 開催した F D 一覧                | 16  |
| ベストティーチャー賞・ベストクリニカルティーチング賞 | 19  |
| 和歌山 S P の会                 | 20  |
| 学生実習について                   | 22  |
| 第 49 回日本医学教育学会大会の発表内容      | 29  |
| 第 2 回 COC+合同 F D 研修会       | 34  |
| 学生自主カリキュラムの取組              | 40  |
| 2. 保健看護学部                  |     |
| 開催した委員会一覧                  | 68  |
| 開催した F D 一覧                | 69  |
| 発行した冊子等一覧                  | 72  |
| 取り組んだ事業                    | 73  |
| 学生自主カリキュラムの取組              | 75  |
| 3. 臨床技能研修センター              |     |
| (1) 運営規程                   | 112 |
| (2) 利用方法                   | 117 |
| (3) 備品一覧                   | 119 |
| (4) 利用実績                   | 123 |
| (5) 和医大臨床技能サークルの活動内容紹介     | 135 |
| 4. ホームページの案内               |     |
| ◆ 教育研究開発センターホームページ         | 136 |
| ◆ 臨床技能研修センターホームページ         | 137 |

# 和歌山県立医科大学 教育研究開発センター組織図



平成 29 年度実績報告書の刊行にあたって

教育研究開発センター長 村田 顕也

医学部では、平成 29 年 2 月から医学教育分野別評価部会を 4 回開催し、5 月に日本医学教育評価機構への「改善報告書」を提出しました。この提出を受け本学は医学教育分野別評価基準に適合していると平成 29 年 4 月 1 日付けで認定を受けました。

分野別評価では、次回の認定(2023 年 3 月 31 日)までに①学生への能動的授業の推進 ②多職種連携臨床実習の充実 ③教養・基礎・臨床の教育融合の促進 ④臨床実習での電子カルテやポートフォリオの利用などによる教育評価の実践 ⑤IR 部門の設置などの改善が求められています。①については、能動的授業の一環として H30 年度開始を目標に、3 年次に行う予定の基礎配属通年化について議論を行い、教育研究開発センターは、その運営の調整を行っています。②については、保健看護学部・薬学部との教育の更なる連携 ③については、講義の垂直統合、水平統合の議論を進め改善を目指しています。④については、臨床実習のパフォーマンス評価としての mini-CEX の集計結果を定期的に開催される臨床 director 会議で公開し、各学生の臨床実習に関する情報を共有し、その後の学生教育に利用しています。

平成 29 年度からは、臨床実習の選択期間を 15 週に延長し、総実習時間を 59 週まで延長しました。卒業試験については、これまでの臨床各科の総合試験に加えて、近畿の公立私立 8 大学で作成した共通試験を導入し、学内試験や国家試験との関連性を検討します。臨床実習後 OSCE (Post CC-OSCE) は、本学は独自にこれまでも施行していましたが、本年度は、機構のトライアルに参加し、機構課題 1, 独自課題 2 の計 3 ステーションで行い、2020 年の本格実施に対応するための、準備を行っています。

保健看護学部では、第 9 回和歌山県立医科大学保健看護学会が 8 月に保健看護学部で開催されました。「連携・研鑽・飛躍」をメインテーマに、「実践と研究の融合」をサブテーマとして「臨床で働くとき腹をくくった看護師にとっての、研究の持つ意味」について特別講演が企画され多数の学生・卒業生・教員が参加されました。また、「学士課程卒業生の看護実践能力獲得状況と生涯学習支援」をはじめとする学内講師による 10 回の FD が、院外講師による 3 回の FD 特別講演会が開催され好評をえました。学生自主カリキュラムについては、①乳幼児の訪問看護を学ぶ ② 三葛の子どもたちを対象とした健康教室 ③ 哲西町の地域医療について学ぶ ④在宅での看取りにおける家族の体験と訪問看護師による支援を学ぶ ⑤東京都立松沢病院の歴史と精神医学を学ぶ ⑥ 松沢病院での先進的な精神科リハビリテーションについてなどの研究がなされその報告会が開催されています。

臨床技能研修センターは、利用者合計が、7549 人と昨年同様の利用率でした。また、本年度は、看護師の特定行為研修も本格的に開始され、シミュレーターを用いた臨床技能教育のためのプログラムを開発や実習・研修制度の確立をめざします。

本学は、2021 年度に薬学部が開設されますが、三学部を有する医療系大学としての教



育の改革が進むように事業を展開していきたいと思っております。今後とも皆様のご協力を賜りますよう御願い申し上げます。

## 和歌山県立医科大学教育研究開発センター規程

制 定 平成 18 年 4 月 1 日 和医大規程第 14 号

最終改正 平成 22 年 2 月 23 日

(趣旨)

第 1 条 この規程は、和歌山県立医科大学組織運営規則（平成 18 年 4 月 1 日和医大規則第 4 号。）第 19 条の規定に基づき、和歌山県立医科大学教育研究開発センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第 2 条 センターは、和歌山県立医科大学（以下「本学」という。）における医学・保健看護学教育の研究、開発、企画及び評価方法の研究並びに入試制度の研究を行うことにより、本学の医学・保健看護学教育活動の円滑な推進と不断の改善に寄与することを目的とする。

(自己評価等)

第 3 条 センターは、和歌山県立医科大学学則（平成 18 年和歌山県立医科大学規則第 1 号。）第 2 条の定めるところにより、センターに係る点検及び評価（以下「自己評価」という。）を行い、その結果を公表する。

2 前項の自己評価については、本学の職員以外を含めた者による検証を受けるよう努めるものとする。

3 第 1 項の自己評価を行うため、和歌山県立医科大学教育研究開発センター自己評価委員会（以下「自己評価委員会」という。）を置く。

4 自己評価委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(教育研究等の状況の公表)

第 4 条 センターは、センターの教育研究及び組織運営の状況について、定期的に公表する。

(業務)

第 5 条 センターにおいては、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 医学・保健看護学教育システム全般に関わる研究、開発及び企画
- 二 医学・保健看護学教育の内容・方法及び授業改善（FD）に関わる研究、開発及び企画
- 三 医学・保健看護学教育のカリキュラムに関わる研究、開発及び企画
- 四 医学・保健看護学教育の臨床技能教育に関わる研究、開発及び企画
- 五 医学・保健看護学教育の評価方法の研究
- 六 入試制度の研究
- 七 その他センターの目的を達成するため、必要な事項

(部会)

第6条 センターに次の各号に掲げる部会を置く。

- 一 カリキュラム専門部会
- 二 入試制度検討部会
- 三 臨床技能教育部会
- 四 教育評価部会
- 五 FD部会

2 部会に関し必要な事項は、別に定める。

(職員)

第7条 センターに次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 センター長
- 二 副センター長
- 三 本学の専任教員のうちから学長がセンターに兼ねて勤務を命じた者
- 四 その他必要な職員

2 前項第2号から第4号までの職員は、センター長の命を受け、センターの業務に従事する。

3 第1項第3号の職員が兼ねて勤務を命令される期間は、2年とし、再び命ずることができる。ただし、欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター長)

第8条 センター長は、教育研究開発センター専任教授をもって充てる。

2 センター長の任期は、当該センター長の専任教授としての任期とする。

3 センター長は、センターに関する事項を掌理する。

(副センター長)

第9条 副センター長は、本学の専任教員のうちから、センター長が命ずる。

2 副センター長は、センター長の業務を補佐し、センター長に事故があるときは、その職務を代理する。

3 副センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営委員会)

第10条 センターに、和歌山県立医科大学教育研究開発センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置き、センターの教育又は研究に関する重要事項を審議させる。

2 運営委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(庶務等)

第11条 センターの庶務は、事務局学生課において処理する。

(雑則)

第12条 この規程に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

## 和歌山県立医科大学教育研究開発センター部会長等会議運営要項

制 定 平成18年7月1日 和医大教研開セ要項第1号

最終改正 平成22年4月1日

(趣旨)

第1条 この要項は、和歌山県立医科大学教育研究開発センター運営委員会規程（平成18年和医大規程第15号）第7条第2項の規定に基づき、部会長等会議の組織、運営等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(部会長等会議)

第2条 部会長等会議は、次の各号に掲げる者で組織する。

一 センター長

二 各部会長

三 その他センター長が必要と認めた運営委員会委員

2 センター長は、部会長等会議を招集し、その議長となる。

3 部会長等会議は、運営委員会の要請に基づき、各部会相互に連携または調整が必要とされる事項及び特定の審議事項を審議する。

(要項の改廃等)

第3条 この要項に疑義が生じた場合の解釈及び改廃は、センター運営委員会において行う。

(庶務等)

第4条 この要項に関する庶務は、事務局学生課において処理する。

附 則

この要項は、平成18年7月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成22年4月1日から施行する。

## 教育研究開発センター運営委員会委員

(平成29年度)

|     |       |                    |
|-----|-------|--------------------|
| 委員長 | 村田 顕也 | 教育研究開発センター長        |
|     | 村垣 泰光 | 医学部長               |
|     | 志波 充  | 保健看護学部長            |
|     | 池田 裕明 | 入試・教育センター長         |
|     | 出口 博之 | 事務局 事務局長           |
|     | 川邊 哲也 | 教育研究開発センター長 副センター長 |

## センター部会委員

(平成29年度)

### ◆ カリキュラム専門部会

|          |                          |               |        |
|----------|--------------------------|---------------|--------|
| 部会長      | 村田 顕也                    | 教育研究開発センター長   |        |
| 副部会長     | 志波 充                     | 保健看護学部長       |        |
| 医学部委員    | 羽野 卓三                    | 学長特命教員 (特別顧問) |        |
|          | 池田 裕明                    | 教養・医学教育大講座    | 教授     |
|          | 平井 秀一                    | 教養・医学教育大講座    | 教授     |
|          | 森川 吉博                    | 解剖学第2講座       | 教授     |
|          | 改正 恒康                    | 生体調節機構研究部     | 教授     |
|          | 山田 源                     | 遺伝子制御学研究部     | 教授     |
|          | 赤阪 隆史                    | 内科学第4講座       | 教授     |
|          | 伊東 秀文                    | 神経内科学講座       | 教授     |
|          | 鈴木 啓之                    | 小児科学講座        | 教授     |
|          | 中尾 直之                    | 脳神経外科学講座      | 教授     |
|          | 井篁 一彦                    | 産科・婦人科学講座     | 教授     |
|          | 佐々木 秀行                   | 紀北分院総合内科学     | 教授     |
|          | 上野 雅巳                    | 地域医療支援センター長   | 教授     |
|          | 川邊 哲也                    | 教育研究開発センター    | 副センター長 |
| 学生委員     | 2名※学生自治会代議員会において毎年度選出する。 |               |        |
| 保健看護学部委員 | 志波 充                     | 保健看護学部長       |        |
|          | 岩村 龍子                    | 保健看護学部        | 教授     |
|          | 上松 右二                    | 保健看護学部        | 教授     |
|          | 内海 みよ子                   | 保健看護学部        | 教授     |
|          | 岡本 恭子                    | 保健看護学部        | 特命教授   |
|          | 西村 賀子                    | 保健看護学部        | 教授     |
|          | 藤本 由美子                   | 保健看護学部        | 教授     |

|    |     |        |     |
|----|-----|--------|-----|
| 増田 | 匡裕  | 保健看護学部 | 教授  |
| 水越 | 正人  | 保健看護学部 | 教授  |
| 宮井 | 信行  | 保健看護学部 | 教授  |
| 柳川 | 敏彦  | 保健看護学部 | 教授  |
| 山口 | 雅子  | 保健看護学部 | 教授  |
| 辻  | あさみ | 保健看護学部 | 准教授 |
| 武用 | 百子  | 保健看護学部 | 准教授 |
| 坂本 | 由希子 | 保健看護学部 | 講師  |
| 山口 | 昌子  | 保健看護学部 | 講師  |

◆ 臨床技能教育部会

部会長

加藤 正哉 救急・集中治療医学講座 教授

副部会長

志波 充 保健看護学部長

医学部委員

OSCE 部会

|       |             |     |
|-------|-------------|-----|
| 村田 顕也 | 教育研究開発センター長 |     |
| 園村 哲郎 | 放射線医学講座     | 教授  |
| 古田 浩人 | 内科学第 1 講座   | 准教授 |
| 久保 隆史 | 内科学第 4 講座   | 准教授 |
| 柑本 康夫 | 泌尿器科学講座     | 准教授 |
| 尾浦 正二 | 外科学第 1 講座   | 准教授 |
| 水本 一弘 | 医療安全推進部     | 准教授 |
| 村田 顕也 | 神経内科学講座     | 准教授 |
| 田中 才一 | 眼科学講座       | 講師  |

CBT 部会

|        |               |        |
|--------|---------------|--------|
| 村田 晋一  | 人体病理学講座       | 教授     |
| 川邊 哲也  | 教育研究開発センター    | 副センター長 |
| 村田 顕也  | 教育研究開発センター長   |        |
| 竹下 達也  | 公衆衛生学講座       | 教授     |
| 西尾 真智子 | 微生物学講座        | 教授     |
| 入江 真行  | 医学医療情報研究部     | 准教授    |
| 加藤 順   | 内科学第 2 講座     | 准教授    |
| 中西 正典  | 内科学第 3 講座     | 准教授    |
| 鶴飼 聡   | 神経精神医学講座      | 准教授    |
| 西 理宏   | 病態栄養治療部       | 准教授    |
| 南 佐和子  | 総合周産期母子医療センター | 准教授    |

保健看護学部委員

|        |         |    |
|--------|---------|----|
| 志波 充   | 保健看護学部長 |    |
| 内海 みよ子 | 保健看護学部  | 教授 |



|            |        |              |        |
|------------|--------|--------------|--------|
|            | 岡本 恭子  | 保健看護学部       | 特命教授   |
|            | 水田 真由美 | 保健看護学部       | 教授     |
| ◆ FD 部会    |        |              |        |
| 部会長        | 志波 充   | 保健看護学部長      |        |
| 副部会長       | 村田 顕也  | 教育研究開発センター長  |        |
| 医学部委員      | 井原 義人  | 学生部長         |        |
|            | 池田 裕明  | 入試・教育センター長   |        |
|            | 上山 敬司  | 解剖学第1講座      | 教授     |
|            | 藤井 隆夫  | リウマチ・膠原病科学講座 | 教授     |
|            | 川邊 哲也  | 教育研究開発センター   | 副センター長 |
|            | 羽野 卓三  | 学長特命教員（特別顧問） |        |
| 保健看護学部委員   | 志波 充   | 保健看護学部長      |        |
|            | 森岡 郁晴  | 保健看護学部       | 教授     |
|            | 山口 雅子  | 保健看護学部       | 教授     |
|            | 岩根 直美  | 保健看護学部       | 講師     |
|            | 山口 昌子  | 保健看護学部       | 講師     |
|            | 早川 博子  | 保健看護学部       | 助教     |
|            | 堀内 宏昭  | 保健看護学部       | 事務室長   |
| ◆ 入試制度検討部会 |        |              |        |
| 部会長        | 志波 充   | 保健看護学部長      |        |
| 副部会長       | 池田 裕明  | 教養・医学教育大講座   | 教授     |
| 医学部委員      | 村田 顕也  | 教育研究開発センター長  |        |
|            | 羽野 卓三  | 学長特命教員（特別顧問） |        |
|            | 岩橋 秀夫  | 教養・医学教育大講座   | 教授     |
|            | 金桶 吉起  | 生理学第1講座      | 教授     |
|            | 岸岡 史郎  | 薬理学講座        | 教授     |
|            | 竹下 達也  | 公衆衛生学講座      | 教授     |
|            | 川邊 哲也  | 教育研究開発センター   | 副センター長 |
| 保健看護学部委員   | 志波 充   | 保健看護学部長      |        |
|            | 内海 みよ子 | 保健看護学部       | 教授     |
|            | 岡本 恭子  | 保健看護学部       | 特命教授   |
|            | 西村 賀子  | 保健看護学部       | 教授     |
|            | 増田 匡裕  | 保健看護学部       | 教授     |
|            | 水越 正人  | 保健看護学部       | 教授     |

|        |           |    |
|--------|-----------|----|
| 水田 真由美 | 保健看護学部    | 教授 |
| 宮井 信行  | 保健看護学部    | 教授 |
| 森岡 郁晴  | 保健看護学部    | 教授 |
| 池田 裕明  | 教養・医学部大講座 | 教授 |

◆ 教育評価部会

|          |        |                  |        |
|----------|--------|------------------|--------|
| 部会長      | 村田 顕也  | 教育研究開発センター長      |        |
| 副部会長     | 志波 充   | 保健看護学部長          |        |
| 医学部委員    | 羽野 卓三  | 学長特命教員（特別顧問）     |        |
|          | 岩橋 秀夫  | 教養・医学教育大講座       | 教授     |
|          | 池田 裕明  | 教養・医学教育大講座       | 教授     |
|          | 村田 晋一  | 人体病理学講座          | 教授     |
|          | 山本 信之  | 内科学第3講座          | 教授     |
|          | 伊東 秀文  | 神経内科学講座          | 教授     |
|          | 川邊 哲也  | 教育研究開発センター       | 副センター長 |
|          | 藤本 眞一  | 奈良県立医科大学教育開発センター | 教授     |
| 保健看護学部委員 | 志波 充   | 保健看護学部長          |        |
|          | 上松 右二  | 保健看護学部           | 教授     |
|          | 藤本 由美子 | 保健看護学部           | 教授     |
|          | 柳川 敏彦  | 保健看護学部           | 教授     |
|          | 池田 敬子  | 保健看護学部           | 准教授    |
|          | 上野 美由紀 | 保健看護学部           | 講師     |
|          | 山本 美緒  | 保健看護学部           | 助教     |
|          | 堀内 宏昭  | 保健看護学部           | 事務室長   |

◆ 教育研究開発センター自己評価委員会

|       |                  |        |
|-------|------------------|--------|
| 村垣 泰光 | 医学部長             |        |
| 志波 充  | 保健看護学部長          |        |
| 池田 裕明 | 入試・教育センター長       |        |
| 山上 裕機 | 病院長              |        |
| 井原 義人 | 学生部長             |        |
| 川邊 哲也 | 教育研究開発センター       | 副センター長 |
| 藤本 眞一 | 奈良県立医科大学教育開発センター | 教授     |
| 大江 嘉幸 | 前和歌山市教育委員会       | 教育長    |

平成 29 年度事業実績

医 学 部

## 開催した部会一覧

### 入試制度検討部会

#### 第1回

開催日時：平成 29 年 9 月 5 日（火）

- 議 事： 1. 医学部一般入試（前期日程）個別学力検査の試験時間について  
2. 平成 30 年度医学部学生募集要項の記載事項について  
3. 大学入学共通テスト実施方針等について

### 教育評価部会

#### 第1回

開催日時：平成 29 年 6 月 13 日（火）

- 議 事： 1. 卒業試験について  
2. PCC-OSCE について  
3. 仮進級について  
4. TOEFL について

#### 第2回

開催日時：平成 29 年 8 月 2 日（水）

- 議 事： 1. 進級について  
2. TOEFL について

#### 第3回

開催日時：平成 29 年 11 月 10 日（金）

- 議 事： 1. 卒業試験の合否判定について  
2. 授業評価の項目の見直しについて  
3. 平成 30 年度履修要領について

#### 第4回

開催日時：平成 29 年 12 月 11 日（月）

- 議 事： 1. 卒業試験（再試験）の合否判定について  
2. ベストティーチャー賞の推薦について

第5回

開催日時：平成30年3月28日（水）

議 事：次年度以降の本学卒業試験について

**カリキュラム専門部会**

第1回

開催日時：平成29年8月3日（木）

議 事：平成30年度カリキュラムについて

第2回

開催日時：平成29年9月25日（月）

議 事：平成30年度カリキュラムについて

**自己評価委員会**

開催日時：平成30年3月8日（木）

議 事：平成28年度事業実績報告について

**FD部会**

開催日時：平成29年8月10日（木）

議 事：1. FDの本年度計画について  
2. FD研修会の出席率について

**医学教育分野別評価部会**

第1回

開催日時：平成29年4月17日（月）

議 事：外部評価報告書に対する「改善報告書（案）」について

第2回

開催日時：平成29年5月8日（月）

議 事：外部評価報告書に対する「改善報告書（案）」について

## 開催したFD一覧

### 第1回

開催日時：平成29年10月6日(金)

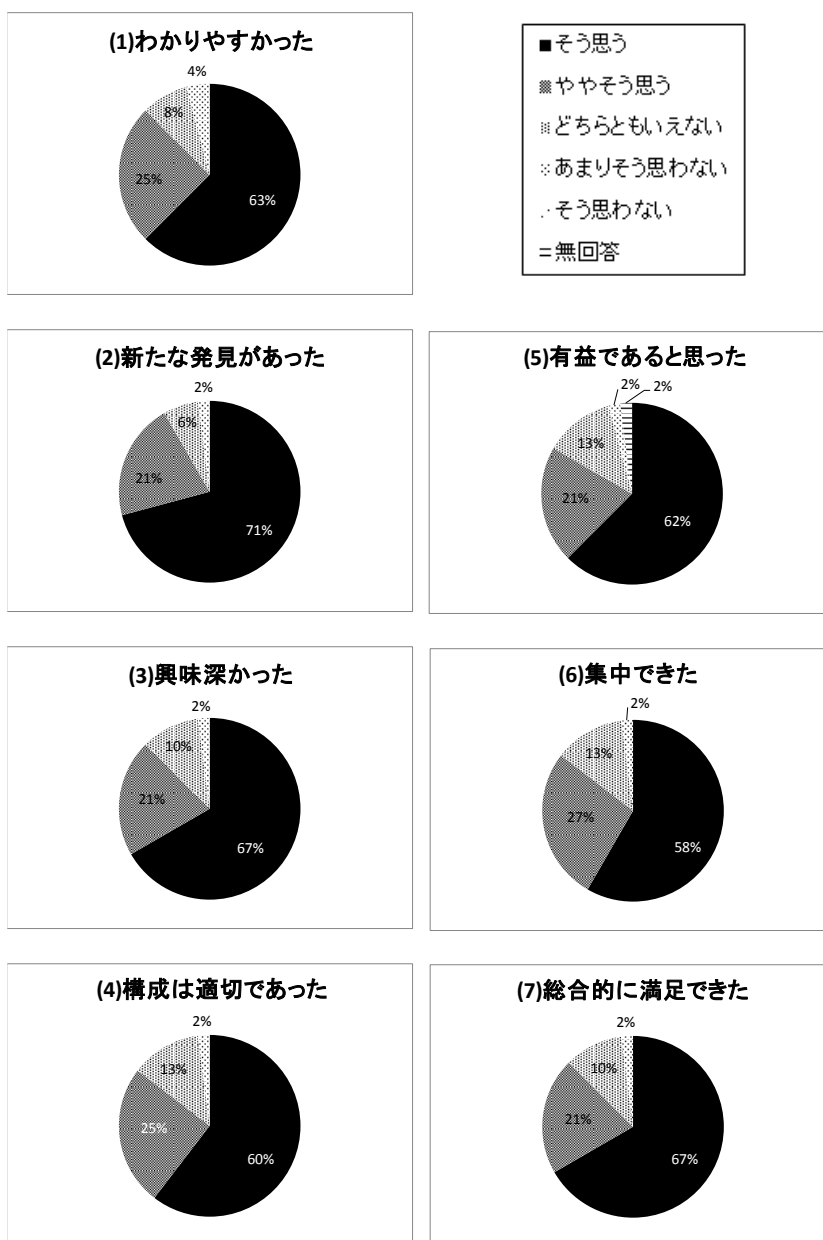
演題：入試改革・高大接続等

講師：株式会社 駿台教育研究所 進学情報事業部

部長 石原 賢一 先生

参加者数：教員51名

### FD終了後に実施したアンケートの結果



## 第2回

開催日時：平成29年12月6日(水)

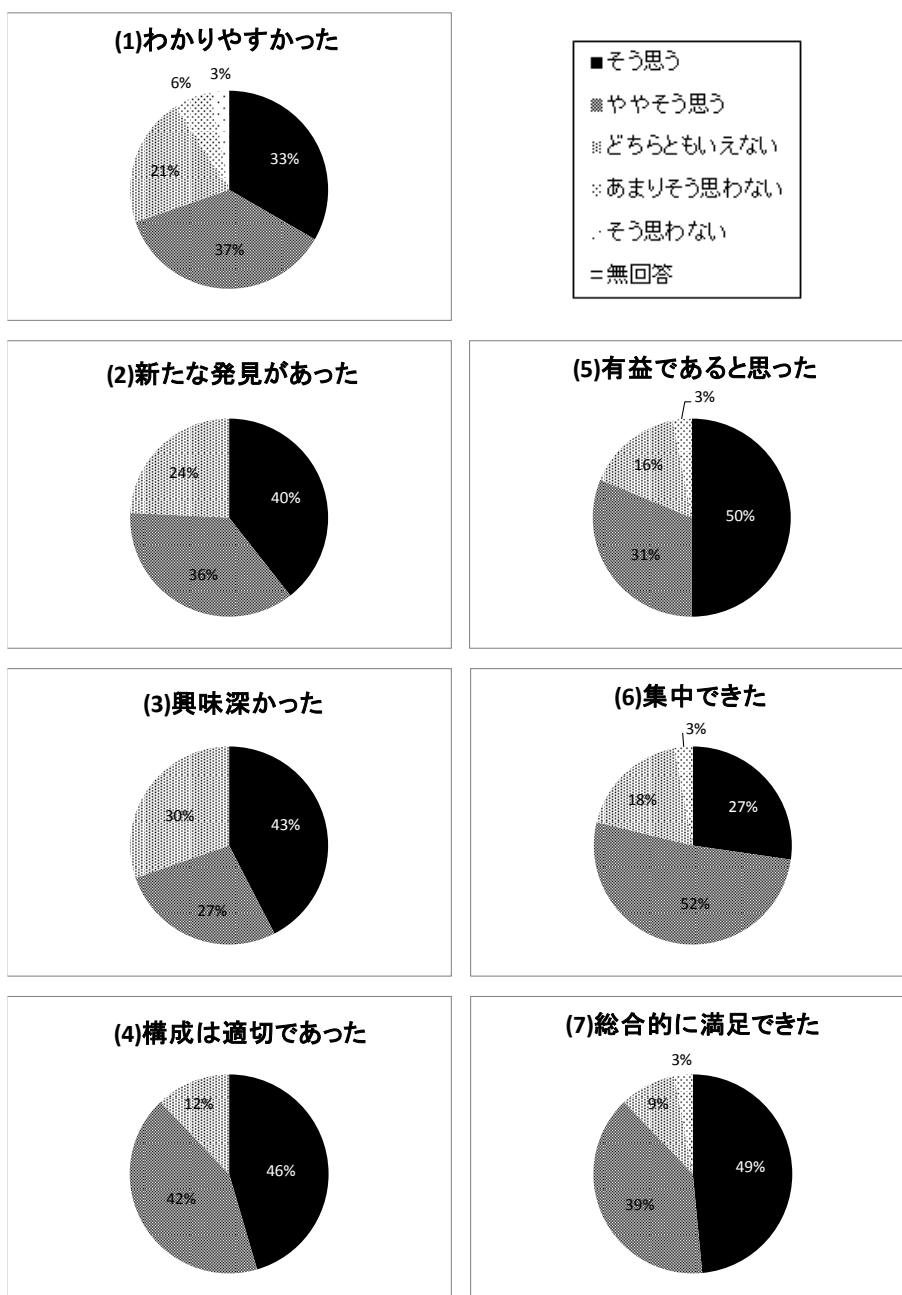
演題：甲状腺疾患における解剖学と分子診断との統合

講師：バーモント大学医学部病理学科

准教授 スコット・アンダーソン 先生

参加者数：教員33名

### FD終了後に実施したアンケートの結果



### 第3回

開催日時：平成30年3月26日(月)

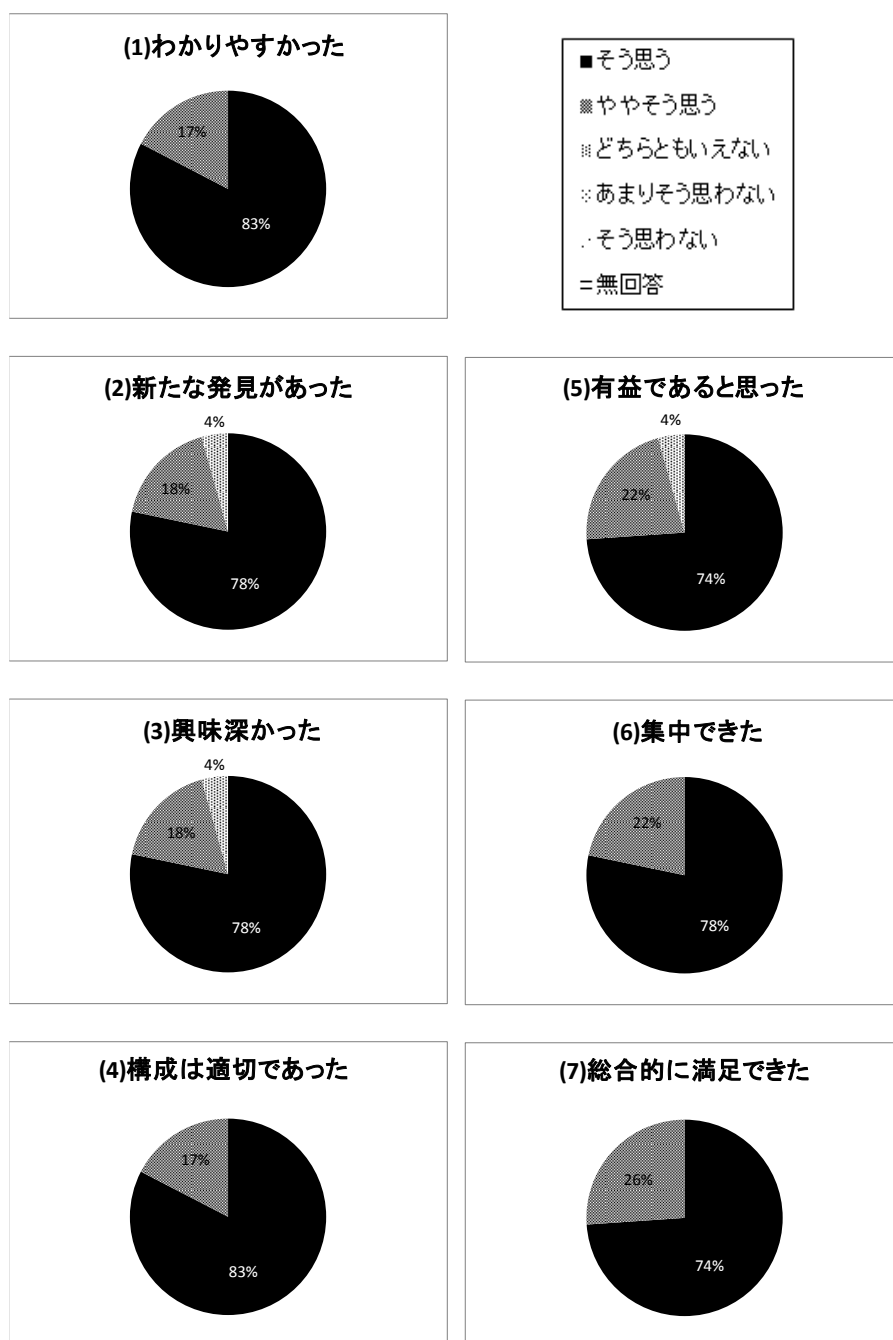
演 題：本年度卒業試験の概要について

講 師：教育研究開発センター

センター長 村田 顕也 先生

参加者数：教員23名

### FD 終了後に実施したアンケートの結果





## 平成29年度ベストティーチャー賞及びベストクリニカルティーチング賞

和歌山県立医科大学医学部の教育活動に貢献した教員及び診療科に対して  
それぞれベストティーチャー賞及びベストクリニカルティーチング賞を授与し、  
もって本学医学教育の向上に資することを目的とする。

### 平成29年度ベストティーチャー賞

#### 教養部門

教養・医学教育大講座

本郷 正武 准教授

#### 基礎部門Ⅰ

生理学第1

井辺 弘樹 講師

#### 基礎部門Ⅱ

薬理学

雑賀 史浩 助教

#### 臨床部門

輸血部

西川 彰則 助教



### 平成29年度ベストクリニカルティーチング賞

#### 診療部門

内科学第2

#### 個人部門

内科学第4

田中 篤 准教授

## 和歌山SPの会

SP (Simulated Patient : 模擬患者) は、医療従事者の研修などで患者さんの役をします。医療現場でのコミュニケーションを改善するために重要性が高まっており、ケアマインドを併せもった医療人教育を進めるためにも必要です。和歌山 SP の会は、平成 18 年度に設立され、臨床技能教育の効果を高めるよう研修を重ねています。

### 平成 29 年度の開催内容

|            | 開催日時                 | 内容                                                     |
|------------|----------------------|--------------------------------------------------------|
| 第 130 回研修会 | 平成 29 年 4 月 20 日(木)  | 薬学部 OSCE について<br>保健看護学部コミュニケーション演習について                 |
| 第 131 回研修会 | 平成 29 年 5 月 18 日(木)  | 教育研究開発センター新センター長の紹介<br>パーキンソン病についての講演                  |
| 第 132 回研修会 | 平成 29 年 6 月 15 日(木)  | 2017 年P-CC OSCE医療面接について                                |
| 第 133 回研修会 | 平成 29 年 7 月 6 日(水)   | 2017 年P-CC OSCE医療面接の練習                                 |
| 第 134 回研修会 | 平成 29 年 7 月 20 日(木)  | 2017 年P-CC OSCE医療面接の練習                                 |
| 第 135 回研修会 | 平成 29 年 7 月 26 日(水)  | 2017 年P-CC OSCE医療面接                                    |
| 第 136 回研修会 | 平成 29 年 9 月 15 日(木)  | 保健看護学部授業「コミュニケーション演習」の振り返り<br>2017 年P-CC OSCE医療面接の振り返り |
| 第 137 回研修会 | 平成 29 年 10 月 19 日(木) | 認知症についての講演<br>演者:村田 顕也センター長                            |
| 第 138 回研修会 | 平成 29 年 11 月 16 日(木) | 2018 年 OSCE 医療面接及び OSCE 直前医療面接練習の練習                    |
| 第 139 回研修会 | 平成 29 年 12 月 21 日(木) | 2018 年 OSCE 医療面接及び OSCE 直前医療面接練習の練習                    |

|            | 開催日時                | 内容                                  |
|------------|---------------------|-------------------------------------|
| 第 140 回研修会 | 平成 30 年 1 月 5 日(金)  | 2018 年 OSCE 医療面接及び OSCE 直前医療面接練習の練習 |
| 第 141 回研修会 | 平成 30 年 1 月 11 日(木) | 2018 年 OSCE 医療面接練習                  |
| 第 142 回研修会 | 平成 30 年 1 月 18 日(木) | 2018 年 OSCE 医療面接練習                  |
| 第 143 回研修会 | 平成 30 年 1 月 22 日(月) | OSCE: 医療面接                          |
| 第 144 回研修会 | 平成 30 年 3 月 8 日(木)  | 2018 年 OSCE の振り返り                   |

# 学 生 実 習 に つ い て

## 平成29年度1年生地域福祉関係施設実習

目 的：ケアマインドやコミュニケーションスキルを身につける。

介助体験等によって医師となる自覚、厳しさを身につける。

入居者・利用者を中心とした各スタッフの協調性の重要性を理解する。老人福祉施設の現場を介助体験等に通じて理解し、老人医療の現場を体験する。アーリー・エクスポージャーに続いて、地域医療の実態等を学ぶ。

実習内容：老人福祉施設の指導者や職員の指示に従い、入居者・利用者周辺における各種サービスの見学と体験を実施する。

実習期間：平成30年2月26日（月）～3月2日（金）

実習施設：竹の里園、紀伊松風苑、紀伊てまり苑、わかうら園、喜成会、紀三井寺苑、親和園、第二親和園、第五親和園、アンシアナトー、高陽園、ヴィラももの里、栄寿苑、天美苑、田鶴苑、美里園、愛光園、さくら苑、ゆら博愛園、ひだか博愛園みちしお、日高博愛園、ときわ寮川辺園、カルフル・ド・ルポ印南、熊野本宮園、白浜日置の郷、

## 平成29年度2年生地域実習

目 的：（保育園）医療人としての豊かな人間性涵養を育むため、乳幼児とふれあい、乳幼児の特長を理解し、乳幼児とのコミュニケーション能力を身につける。また、実習を通じて、育児を支援する保育園の現状を学ぶ

（障害者福祉関係施設）大学病院ではほとんど経験することの出来ない障害者福祉関係施設での実習を行うことにより、ケアマインドを育成し、障害者への医療・福祉の現状について理解を深めることにより、医療人としての資質の向上に努める。

実習期間：平成29年7月24日（月）～7月28日（金）

平成29年8月28日（月）～9月 8日（金）

（実習先、グループによって期間は異なる）

実習施設：（保育園）

さつき保育園、みちる保育園、さんた保育園、しょうぶ保育園、ようすい保育園

（障害者福祉関係施設）

愛徳医療福祉センター、和歌山つくし医療・福祉センター、南紀医療福祉センター・牟婁あゆみ園・牟婁さくら園、和歌山病院、障害者支援施設リハビリ橋本、琴の浦リハビリテーションセンター

## 平成29年度4年生看護体験実習

目的：看護体験を通じて医療現場を理解し、チーム医療のあり方を理解し、看護体験等によって医師となる自覚、モラル・人間性を身につける。

実習内容：病棟看護職員の指示に従い、患者周辺における看護サービスの見学と体験。

実習期間：平成30年2月6日（火）～9日（金）

実習施設：本学附属病院各病棟

### アンケート

- ・平成29年度1年生地域福祉関係施設実習において、実習先施設のご担当者さまに下記のアンケートにご回答いただきました。

#### 平成29年度 地域福祉施設体験実習 評価表

誠にお手数ですが、下記の項目について実習生の評価をお願いします。

※1 この評価表は、実習生の成績評価の際に使用いたします。

※2 評価の一部は後日学生へフィードバックいたします。

【実習生自身について】当てはまる番号にチェックをお願いいたします。

|                          | 悪い                         | 少し悪い                       | 良い                         | とても良い                      |
|--------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. 学生は時間を厳守していましたか。      | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> |
| 2. 学生の身だしなみ、服装は適切でしたか。   | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> |
| 3. 学生の実習態度は真面目でありましたか。   | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> |
| 4. 学生は積極的に実習に取り組んでいましたか。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> |
| 5. 貴施設職員と学生との関係は良好でしたか。  | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> |

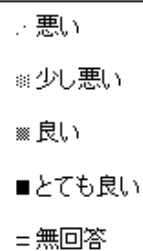
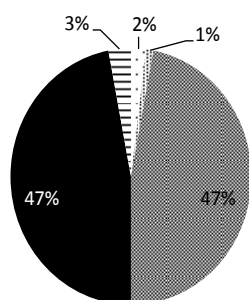
【入居者への対応などについて】当てはまる番号にチェックをお願いいたします。

|                                | 悪い                         | 少し悪い                       | 良い                         | とても良い                      |
|--------------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. 入所者の方の性格や個性は把握できていましたか。     | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> |
| 2. 入所者の方の精神状態や認知能力を把握できていましたか。 | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> |
| 3. 入居者の方と親しく接していましたか。          | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> |
| 4. 入所者の方の全身状態については把握できていましたか。  | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> |
| 5. 学生のコミュニケーション能力はどうでしたか。      | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> |
| 6. よい医師になれそうですか。               | ① <input type="checkbox"/> | ② <input type="checkbox"/> | ③ <input type="checkbox"/> | ④ <input type="checkbox"/> |

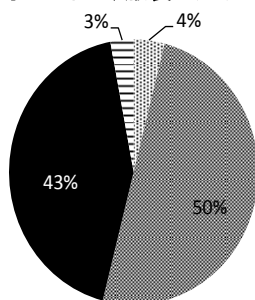
## アンケート結果その1

### 学生自身について

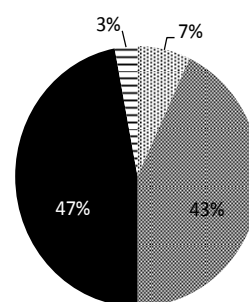
(1) 学生は時間を厳守していましたか



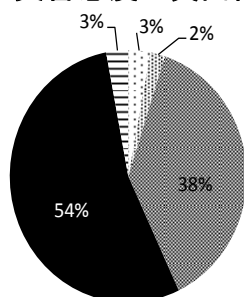
(2) 学生の身だしなみ、服装は適切でしたか



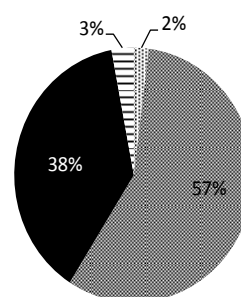
(4) 学生は積極的に実習に取り組んでいましたか



(3) 学生の実習態度は真面目でしたか

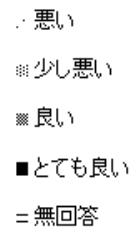


(5) 貴施設職員と学生の関係は良好でしたか

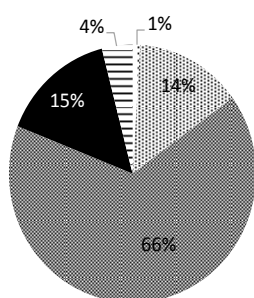


## アンケート結果その 2

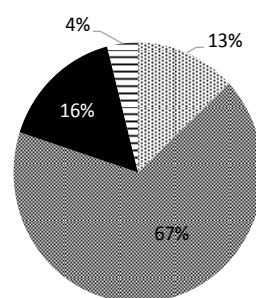
### 入居者への対応などについて



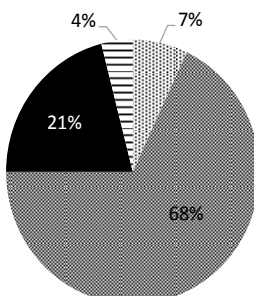
(1)入居者の方の性格や個性を把握できていましたか



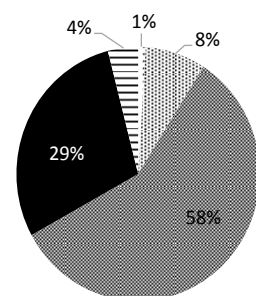
(4)入居者の方の全身状態について把握できていましたか



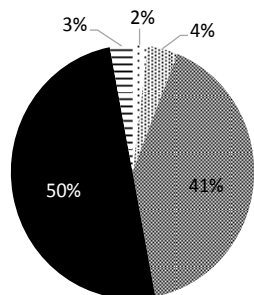
(2)入居者の方の精神状態や認知能力を把握できていましたか



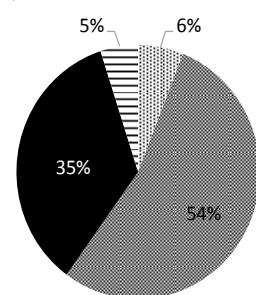
(5)学生のコミュニケーション能力はどうでしたか



(3)入居者の方と親しく接していましたか



(6)よい医師になれそうですか



- ・平成29年度4年生看護体験実習において、実習先各病棟のご担当者さまに  
下記のアンケートにご回答いただきました。

平成29年度4年生看護体験実習

2018年2月6日

G 学生氏名

病棟

今後の学生教育の参考にさせていただきますので、お手数ですが、下記の項目について学生の評価をお願いします。（①～⑤は番号をチェックしてください。）

（全く思わない————→とても思う）

1. 時間を厳守していた。

①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐

2. 身だしなみや服装に留意し、相手に不快感や不安感を与えなかった。

①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐

3. 関係者に礼儀正しく接していた。

①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐

4. 言葉使いは適切であった。

①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐

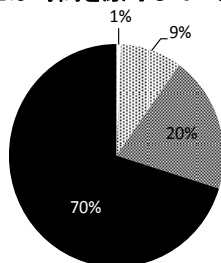
5. 積極的に実習に取り組んでいた。

①☐ ②☐ ③☐ ④☐ ⑤☐



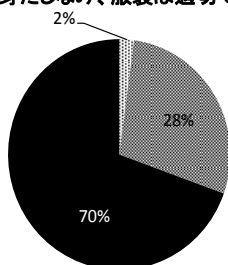
## アンケート結果

(1) 学生は時間を厳守していましたか

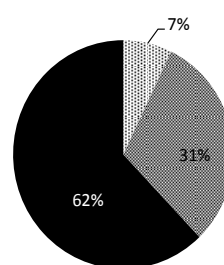


= 全く思わない  
 : 思わない  
 ■ どちらでもない  
 ■ 思う  
 ■ とても思う

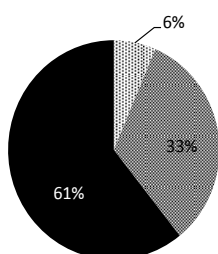
(2) 学生の身だしなみ、服装は適切でしたか



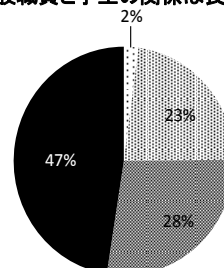
(4) 学生は積極的に実習に取り組んでいましたか



(3) 関係者に礼儀正しく接していた



(5) 貴施設職員と学生の関係は良好でしたか



## 学生の感想文から一部抜粋

自らが目指すのは「患者を親身に考えて、患者本位の医療行為を行える技術的、精神的側面を身に着けた医療従事者」であるがこのようにコミュニケーションが取れない場合はどうすべきなのか。例えば家族が無理に生かしたくないと考えていても本人が心の中では長生きしたいと考えているかもしれない。逆もまた然りではあるがこのようにコミュニケーションが取れないとどれが本当の意味で患者に寄り添った医療なのかわからない。このことを今後の医療者になるにあたっての課題として考えていく所存である。

.....

今回実践させていただいた介助などを実際医師になってから行うことはないのかもしれませんが、どのようなことを行うのか知っておく必要は確実にあったかと、実習後感じました。また、患者と将来接する上でも、検査の結果などの情報ばかりでなく、会話によって患者のことを知ることができるように、また、会話から信頼関係が築けるように、患者の悩みやさみしさを緩和出来るように、会話を大切にしていきたいと思いました。

.....

現在の医療現場においては従来の医師が頂点となって支持する家父長制の医療体制から、患者を中心として医療従事者が包括的に支えていくチーム医療の体制へと移り変わっている。とくに福祉施設は病院などの医療現場だけでは莫大な負担となる箇所をカバーしてくださる役割がある。今回の施設実習を通して和歌山県内の地域に密着した包括的な医療体制の一部を見学して、改めてその施設の重要性を認識することができた。

.....

定期的にケアプラン会議を行うことで一人一人のケアプランを定期的に見直し、本当にそのプランのまま進めても大丈夫なのか、最近の状況から考えてこのプランの方が良いのではないかと、などスタッフの方全員が状況を把握しており、最善のプランを模索しておられる姿が心に残った。将来自分が医者になった際には相手の立場、人生の背景などを捉え、一人一人の患者さんにしっかりと向き合っていかななくてはならないなと感じた。

## 第 49 回日本医学教育学会大会の発表内容

開催日 2017 年 8 月 18 日（金）・19 日（土）

開催会場 札幌コンベンションセンター

一般演題口演 カテゴリー「共用試験（CBT・OSCE）」

FileMaker と iPad を用いた共用試験 OSCE 評価者用採点システムの開発と運用

Development and operation of Scoring system for OSCE using FileMaker and iPad

和歌山県立医科大学教育研究開発センター 平野隆則、川邊哲也、羽野卓三、村田顕也

【背景】本学では 2012 年から共用試験「Pre Clinical Clerkship OSCE」と「Post Clinical Clerkship OSCE」にタブレット端末「iPad」とデータベースソフトウェア「FileMaker」を導入し、評価者採点端末として運用している。導入当初、評価者はタッチデバイスに不慣れで、運用面での課題が散見されたが、改良を重ね近年は安定した運用が可能となった。外部評価者にも好評で、慣れ不慣れに関わらず利用できるシステムとなった。

【目的】第 1 に評価用紙の記入漏れをなくすこと、第 2 に集計業務のヒューマンエラーを減少させること。

【方法】評価者に 1 台ずつタブレット端末を用意し、データベースサーバーソフトウェア「FileMaker Server」上のデータベースにデータを集約するサーバークライアント型のシステム構成で行った。タブレット端末数は約 50 台。端末は最大 3 台のアクセスポイントに分散して無線 LAN で接続する。入力画面には記入漏れチェック機能を実装した。

【結果】評価用紙の記入漏れはなくなり、集計業務も自動化され人の作業を減らすことでヒューマンエラーの発生頻度を減少させることに成功した。サーバークライアント方式ではリアルタイムでの集計が可能となり、試験中に採点状況を確認することができた。ただし、無線 LAN の通信エラーが原因と思われる不具合が発生しており、一部再入力や用紙も利用した。

【考察】サーバークライアント方式の構成はリアルタイムでデータを確認できる利点があったものの、通信エラーによるデータ損失のリスクを排除できなかったため、端末内にバックアップを作成して対処してきた。しかし本試験ではリアルタイムの状況把握より、より堅実なデータ保管が優先される。スタンドアロン型は通信を必要としないのでそれによるエラーの発生が抑えられ、より確実にデータ収集できると考えられるため、次期バージョンではスタンドアロン型の構成も検討する。

## FileMakerとiPadを用いた 共用試験OSCE評価者用採点システムの 開発と運用

和歌山県立医科大学教育研究開発センター  
平野隆則、川邊哲也、羽野卓三、村田顕也

## 背景

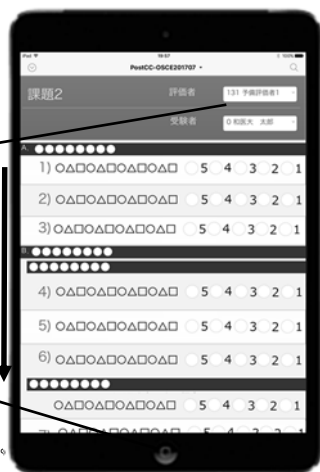
- 2012年のPostCC-OSCEより  
タブレット端末による評価を試験導入
- 2013年のPreCC-OSCEから全評価  
者が利用
- 2013年の第45回の大会で発表
- その後の全OSCEで運用

## 評価者用画面

評価者と受験者を  
一覧から選択

下にスクロール

ボタン無効化済



※画面は実際の採点用紙ではありません。

## 従来の実施方法

実施 → 休憩 → 実施 → 休憩 → ... → 終了



評価者50名 × 学生100人 = 5000枚

ヒューマンエラーなしの実施は難しい

## タブレット端末導入後の実施方法

実施 → 休憩 → 実施 → 休憩 → ... → 終了



記入漏れなし、即日合否発表  
(2017/7の実績)

## システム導入の目的

- 評価者の記入漏れをなくす
- 集計業務の入力ミスをなくす



ヒューマンエラーを抑止して  
より公正な試験を実施する

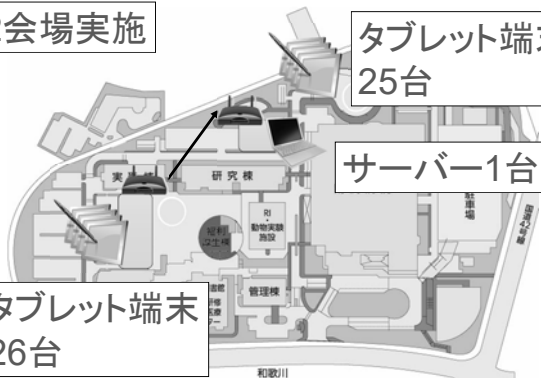
## 実施環境 (2017年PreCC-OSCE)

2会場実施

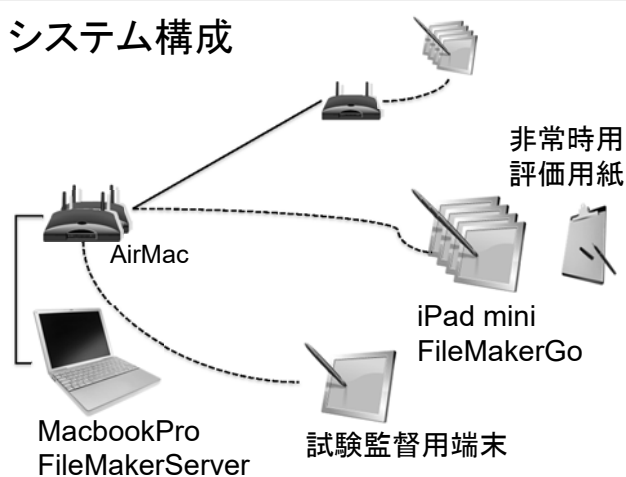
タブレット端末  
25台

サーバー1台

タブレット端末  
26台



## システム構成



## これまでに起きた不具合

- タブレットの電池切れ
- 受験者リストに非受験者の名前があった
- 交代した評価者の名前がない
- 学生を選択ミスして評価した
- レコードがロックされて書き込めない
- サーバー側の受信エラー
- 通信エラー

## レコード

| No. | 評価者 | 学生 | 問1 | 問2 | 問3 | 元気 | やる気 | 点数 |
|-----|-----|----|----|----|----|----|-----|----|
| 001 | 101 | 1  | 30 | 30 | 30 | 最高 | ◎   | 90 |
| 002 | 102 | 1  | 20 | 40 | 28 | 最高 | ○   | 88 |
| 003 | 101 | 2  | 10 | 20 | 20 | なし | ×   | 50 |
| 004 | 102 | 1  | 18 | 30 | 0  | なし | △   | 48 |
| 005 | 101 | 3  | 10 | 35 | 20 | 普通 | ○   | 65 |

## 要望で追加

- 成績一覧
- 成績修正



## ローカルバックアップ機能



## 2017年PostCC-OSCEの変更点

サーバーと無線LANの利用を廃止  
ネットワーク方式からスタンドアロン方式転換



## 2つの方式のメリット

### ネットワーク方式

- タブレットの破損
- データがリアルタイムで見える

### スタンドアロン方式

- 安定した動作
- ローコスト

## 2つの方式のデメリット

### ネットワーク方式

- ネットワークエラー
- サーバー、ルーターと機材が多い
- サーバー維持費が要
- 会場が離れると難

### スタンドアロン方式

- ハード破損時にデータの回収が困難
- セットアップに手間がかかる
- 途中経過がわからない
- データ回収に手間がかかる



## ネットワーク方式とスタンドアロン方式コスト比較

- ネットワーク方式 (FileMaker Server 12 の場合)  
約50万円 (うちレンタル費16万円)
- スタンドアロン方式  
約16万円 (うちレンタル費16万円)

サーバーソフトウェア代参考価格

FileMaker Server 12 128,000円 (100接続/永続)

FileMaker Server 16 1,787,400円 (100接続/永続)

FileMaker Server 16 95,400円 (10接続/年間)

## ネットワーク方式とスタンドアロン方式のまとめ

|           | ネットワーク | スタンドアロン |
|-----------|--------|---------|
| 安定性       | ×      | ○       |
| データ保護     | ○      | ×       |
| コスト       | ×      | ○       |
| セットアップの手間 | ○      | ×       |

スタンドアロン型は  
データ保護とセットアップコストが課題

## 次期構成案

- スタンドアロン方式 + ネットワークバックアップ
- ネットワーク経由でバックアップ  
→ データ保護向上  
→ データ回収コストダウン
- セットアップ用に配布サーバーを導入  
→ セットアップコストダウン

## FileMakerを運用を通して

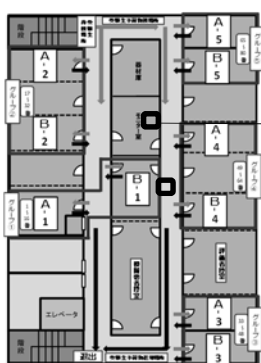
- FileMakerを学習することで、低コストで安定したOSCE評価システムを実現できる。
- 特定のベンダーに依存せず独自に改良可能
- FileMakerとiPadを他の用途に活用できる。

## 運用の実績

コスト比較

レコードのタイムライン(学生の選択ミスを見つける)

## 実施環境

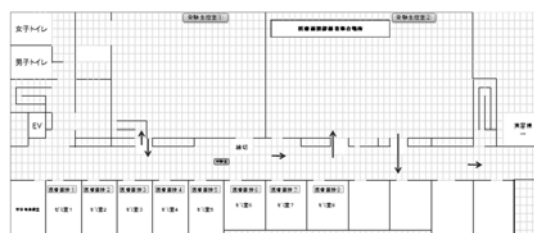


・2つの建物を使用

サーバ&無線AP

タブレット端末

- ・臨床実習後25台
- ・共用試験50台



## 評価者用画面



評価者と受験者を  
一覧から選択

下にスクロール

ボタン無効化済

※画面は実際の採点用紙ではありません。

## 試験監督用画面



成績を一覧

## 第2回 COC+合同 FD 研修会

開催日 2017年9月29日（金）15時～17時30分

開催場所 和歌山大学

### アクティブラーニングにおけるファシリテーション指導法

和歌山県立医科大学教育研究開発センター 平野隆則

#### 当日の流れ

- 1 インTRODakション（本日の狙い）
- 2 グループ分け
- 3 自己紹介
- 4 グループワーク
- 5 解説
- 6 振り返り





第2回COC+合同FD研修会  
アクティブラーニングにおける  
ファシリテーション指導法

和歌山県立医科大学  
教育研究開発センター  
特別研究員 平野隆則

ファカルティ・ディベロプメント  
(Faculty Development、FD)

一般には教員に授業の内容や方法を改善させるための組織的対策をいう。  
出典 | 小学館 日本大百科全書(ニッポニカ)

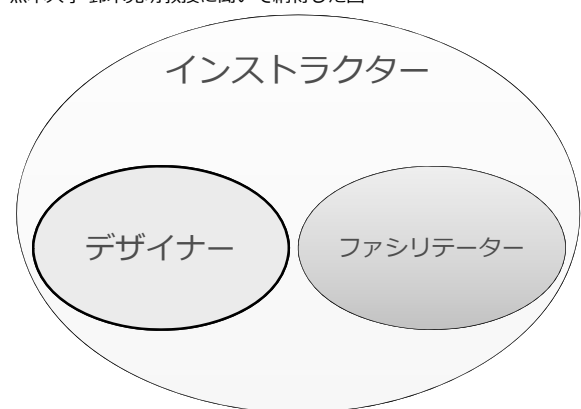
「先生、ファシリテーションってなんですか？」



ファシリテーション (facilitation) とは、人々の活動が容易にできるよう支援し、うまくことが運ぶよう舵取りすること。集団による問題解決、アイデア創造、教育、学習等、あらゆる知識創造活動を支援し促進していく働きを意味します。

ファシリテーター＝インストラクター？  
インストラクター＝ファシリテーター？

熊本大学 鈴木克明教授に聞いて納得した図



#### ファシリテーターからのお願い

- 「●●先生」→「●●さん」  
教室ではフラットな関係で学ぶ
- 発言者には感謝の拍手を  
皆さんのためにぜひ発言を
- いきなり分析せず、まずやってみる  
振り返りの時間は後ほど
- 私が手を挙げたら注目してください

POWERPOINT DESIGN

#### 本日の流れ

- 自己紹介
- イントロダクション（本日のねらい）
- グループワーク1  
「勉強会のルール作り」
- グループワーク2  
「アクティブ・ラーニングで困ったこと」
- 解説
- 振り返り

#### 自己紹介シート

|                 |                           |
|-----------------|---------------------------|
| 所属と名前           | 今まで住んだ土地                  |
| 研究テーマ<br>(専門分野) | 教員タイプ？<br>研究者タイプ？<br>その他？ |

発言が終わったら拍手で「よろしくお願いします」

#### 本日の狙い

#### ファシリテーション指導



ファシリテーターが存在する



グループワークが円滑に進む

それとなく  
ファシリテーションが  
行われる場を作る

## グループワーク1

### あいづち・質問カード (出典 ちよんせいこ「元気になる会議」)

#### あいづちの例

1. うんうん
2. なるほど、なるほど
3. スゴイですねえ
4. そうなんですかあ
5. へえ～
6. だよねえ
7. それで、それで？
8. ほかに？
9. わかるわかる

#### 質問の例 (オープン・クエスチョン)

1. ～という？
2. もう少し詳しく教えてください
3. ～って、具体的には？
4. たとえば？
5. ～って、どんな感じですか？
6. どんなイメージですか？
7. エピソードを教えてください
8. ほかに？

#### 質問の例 (クローズド・クエスチョン)

1. (数量をきく) いつから？いくつ？
2. (固有名詞) なんていう薬ですか？

POWERPOINT DESIGN

今日の勉強のルールを作しましょう。

よりよい学びを得るためには、どんなことを心がけるとよいでしょうか？

廊下は走らない

A4用紙に1案

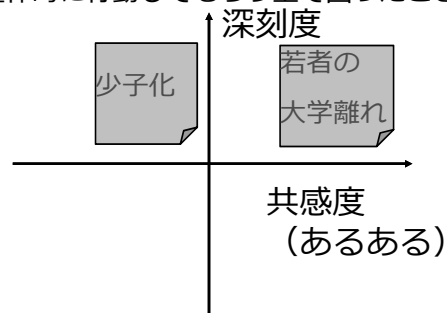
ペンは太い方で大きく書く

## グループワーク2

アクティブラーニングで困ったこと  
(学生に主体的に行動してもらう上で困ったこと)

### 模造紙の使い方

アクティブラーニングで困ったこと  
(学生に主体的に行動してもらう上で困ったこと)



## 解説

## アクティブラーニングにおける ファシリテーション指導法

### ファシリテーション4つのスキル

- 1.場のデザインのスキル
- 2.対人関係のスキル
- 3.構造化のスキル
- 4.合意形成のスキル

参考 堀公俊「ファシリテーション入門」

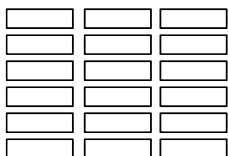
### 場のデザインのスキル

- レイアウト（教室選び）
- グループサイズ
- アイスブレイク
- 目標共有

POWERPOINT DESIGN

### 場のデザインのスキル

#### スクール形式

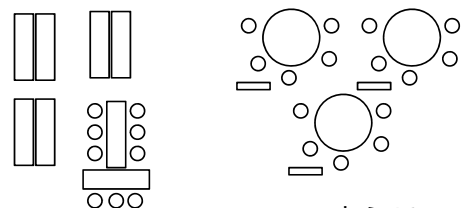


- 前世紀を通じて使われてきた伝統的なレイアウト。
- ファシリテーションに不向き
- ファシリテーターが注目を集め、学習者が中心になれない。
- 学習者はお互いの顔が見えず、話し合えない。

POWERPOINT DESIGN

### 場のデザインのスキル

#### 丸テーブル、アイランド



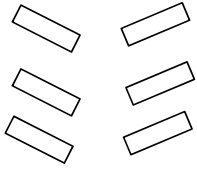
T字にすると  
より多く座れる

3/4座らせる  
前方を開ける

POWERPOINT DESIGN

### 場のデザインのスキル

#### V字、U字



ファシリテーターが  
動けるスペースがある

POWERPOINT DESIGN

### 対人関係のスキル

- 傾聴（あいづち）
- 質問（オープン＆クローズの使い分け）
- アイコンタクト
- ジェスチャー
- 相手のしぐさを読み解く

POWERPOINT DESIGN

### 構造化のスキル

- ホワイトボード、模造紙、付箋などの活用
- ファシリテーション・グラフィック
- 分類・整理するフレームワーク
  - 親和図
  - ツリー
  - KPT
  - 3C
  - SWOT

POWERPOINT DESIGN

### 合意形成のスキル

- 発散、収束のプロセスを見極める
- 意見をまとめる
- 共通項を見いだす
- 対立解消のため解決策を模索する
- 相手の真意を読み取る
- 多数決も1つの合意形成

POWERPOINT DESIGN

### ファシリテーションのコツ

参加を促すために質問する  
ブリッジをかける  
ディスカッションをコントロールする  
中立性を保つ  
協道にそれない  
肯定する  
ボディランゲージに着目して対応する  
沈黙を恐れない  
十分にデブリーフィングする

POWERPOINT DESIGN

### 提案

入学後のオリエンテーションなど、  
早期にファシリテーション研修を導入する。

## 学生自主カリキュラムの取組

### 災害追悼イベントとそれに向けた学び

#### ～追悼キャンドル、稲村の火の館、広村堤防、廣八幡神社～

和歌山県立医科大学

医学部 3 年 佐々木 亘

保険看護学部 3 年 中谷 晏菜

指導教員 加藤正哉先生

#### 1. 活動の概要

2018 年 1 月 28 日(日)に和歌山県立医科大学の学生 9 名は、和歌山県有田郡広川町にある稲村の火の館の見学と周辺の視察を行った。稲村の火の館には濱口梧陵記念館と津波防災教育センターがある。濱口梧陵は安政地震津波の襲来時に稲むらに火を放ち、この火を目印に多くの村人を救った。この実話「稲むらの火」には現代の防災の基本である応急、復旧、予防の手本が示されていた。津波防災センターでは 3D 津波映像シアター、津波シミュレーションなどを通して津波や災害に備える知識を得た。

その後、濱口梧陵が 100 年後の津波に備えるために巨額の資産を投じて建設した広村堤防、避難先であった廣八幡宮を視察した。



津波防災教育センター、防災体験室にて。

また、津波防災教育センターでの事前学習とともに平成 27 年度まで奈良県立医科大学の学生災害医療ボランティアサークル（NARA Will）と合同で行っていた東日本大震災の追悼キャンドルイベントを和歌山にて行う新しい企画を計画した。和医大の敷地内で行おうという新しい試みである。直近の平日である 3 月 9 日(金)にキャンドルを用いて「3.11」「絆」の文字を形作ることによって犠牲者への弔意を示すとともに、震災を風化させないでほしいという被災者の想いを、通りかかる学生及び大学関係者にキャンドルを見てもらうことや、SNS で事後報告を拡散することで一人でも多くの人に伝えることを目的とした。さらに、イベントを通じて災害に対する認識を改める自己啓発も目的とした。

#### 2. 企画参加学生

大江直(医 4)、川端公貴(医 4)、富山まりな(医 4)、中井真衣(医 4)、北崎裕敬(医 3)、北林快(医 3)、小山翼(医 3)、佐々木亘(医 3)、中谷晏菜(看 3)、津田亜沙(看 3)、辻本楓(看 3)、濱田和真(看 2)

なお、下線を伴う学生が津波防災教育センターの見学に参加した。

### 3. 活動内容と感想

#### ① 稲村の火の館

津波防災教育センターの防災体験室は「応急ゾーン」「復旧ゾーン」「予防ゾーン」の3つのブースに分かれており、防災川柳や解説グラフィック、体験映像、ゲームによって楽しみながら災害に備える知識を身につけられる施設が整っていた。特に体験映像からは当時の被災者の方々のリアルな体験が語られており、当時の状況が鮮明に描かれていた。

3D 津波映像シアターでは臨場感あふれる映像で地震と津波の恐ろしさを感じながら対処法を学び、また、稲むらの火の実話についても理解を深めることが出来た。

津波シミュレーションは長さ約 16mの津波実験水槽で、津波の伝わり方を学ぶことが出来るものである。波が陸に上がるにつれて波の速度が低下し、次の波と重なり合っ次第に大きくなる様子が見て取れた。また、波の正面に設置されたビデオの映像から、正面から波の上昇を認識することの困難さに気づけた。

濱口梧陵記念館では、梧陵の生い立ちから晩年までをたどりながら梧陵の社会的偉業を紹介している。

#### ② 広村堤防

安政地震による津波の被害によって、広村住人の多くが家や職を失い、他の村に移住する村人も出るようになった。このままでは村が廃れてしまうと感じた濱口梧陵は自らの資産を投じて広村堤防の建設を決意した。広村堤防建設は広村の地を津波から守るだけでなく、村人の雇用を増やし、広村の復興にも大きな役割を果たした。

この広村堤防はコンクリート補強され、現在も災害対策に活用されている。



広村堤防。現代では地震発生時には赤い扉を閉めることになっている。

#### ③ 廣八幡神社

安政地震の際に村人が避難した廣八幡神社にも訪れ、佐々木宮司に様々なお話を伺った。毎年 10 月末には参加者が松明をもち、広川町役場前の「稲むらの火」広場から津波の際の避難場所となった廣八幡神社まで歩いていく稲むらの火まつりが行われる。

境内には、梧陵の友人である勝海舟が梧陵の功績を書き記した「梧陵濱口君碑」がある。濱口梧陵は広村堤防の築造だけでな



廣八幡神社境内にある、梧陵濱口君碑。

く、若者の教育や政治家としてもすぐれた才能を発揮し、活躍したことが記されている。

#### ④ 追悼キャンドル

サークル内では12月から日にちの選定、デザインなど計画を始動した。初の試みということもあり、企画段階から学生課をはじめ多くの方々にご協力をいただきながら進んでいくことができた。特に、和歌山市役所観光課からはイベントで使う竹燈籠の貸し出しを快諾していただき、本団体の活動を知ってもらえる良い機会となった。用いるのが竹素材であるということから雨天での中止は当初から懸念されていた。直前まで準備を進められてありながら、悪天候の予報により中止の決断するしかなかったことは遺憾であるが、企画を進めていくうえで得たコネクションやノウハウは次年度以降の活動に大いに役立ていきたいです。

#### 4. 全体の振り返り

和歌山県出身の学生以外は「稲むらの火」の話を知らない人がほとんどで、身近な場所に地震や津波について学べる場所があることを知り、いい経験になった。過去の教訓から学び、これからの災害対策につなげていきたい。

企画を具体的な話まで持ち込んでいく際に、多くのことに気づかされました。当初は院内の患者さんやそのご家族にも見てもらいたく、広告の掲示なども考えていた。しかし、実際に広報掲示をして患者さんに来ていただいて、火災などが発生したときにどのように対処すればよいのか、あるいはお見えになる最中に何らかの怪我をしてしまった場合の責任の所在など、一団体として活動するにあたって付随する責任や防災意識の重要性などを改めて痛感した。今回、気が付いたことや感じたことなどは、来年度以降同様に企画を行う場合に、より良い方向へ修正するための指針となるよう何らかの形で残していきます。



## ～被災地視察、傾聴、ボランティア活動～

和歌山県立医科大学  
医学部 3 年生 小山翼・北林快  
指導教員 加藤正哉先生

### 1. 活動の概要

和歌山県立医科大学の学生 2 名は、奈良県立医科大学の学生 5 名とともに 2017 年 8 月 22 日（火）～24 日（木）に福島県でボランティア活動を行い、災害医療や放射線の人体へ影響を学んだ。

震災の爪痕を残す部分や着実に復興、さらには次なる災害への備えを目の当たりにした。また、今年は特に現地の方々との交流に時間をかけたことで東日本大震災から 6 年が経つ被災地の現状について学び、今後の自分たちの活動について考える良い機会となった。

### 2. 本学参加学生

北林快（医 3）、小山翼（医 3）

### 3. 活動内容と感想

#### ① 現地での視察（8 月 22・23 日）

被災地での視察は海沿いを中心に富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、南相馬市、飯館村、川俣町を視察した。福島第一原発事故後、風下となった富岡町や大熊町のあたりではまだまだ放射線量が高く、帰還困難区域が多く存在していた。幹線道路からわき道に入る部分でのバリケードや、手つかずのまま朽ちていく最中の家屋は目に見えぬ放射線の二次被害も物語っていた。自分たちの家なのに自由に帰れない現地の人々の思いをメンバーで話し合う機会となった。

その他の地域では復興が進んでいたが、いたるところに放射性廃棄物が山積みとなっていた。津波により付近一帯の家が流された地域



帰宅困難地域への立ち入りを制限するバリケード。防犯の役割も。



南相馬市消防・防災センター。左図の真ん中の一筋の布は津波の高さを表す。右上図は本震災のメカニズム、右下図は発災からの 72 時間の対応を時系列に内容ごとに色分けして紹介している。

では盛土がなされ町は再生され始めていた。海岸部は 3.11 以前よりも高い防潮堤の建設に入っており、完成部分の風景はどこか殺風景というか、津波で何もかもが流された跡地に一筋の高めな壁を建てただけであった。以前の海のある風景の中で暮らす様子からは想像しえない景色となっていた。



笑いヨガの様子。

## ② 傾聴ボランティア（8月22・23日）

2 日間とも同じデイサービスを行う福島県社会福祉協議会が運営する施設にご協力をいただいた。22 日は「笑いヨガ」の講師の先生がお見えになっており、一緒に「笑いヨガ」を体験した。上手く傾聴活動をできるか不安はあったが、どんな気持ちであってもとにかく笑うことで自然と気持ちが前向きとなり、楽しくなって話も弾むことができた。

23 日はクイズ大会やアロママッサージを行った。クイズ大会で場が和んでからアロママッサージで一人一人の利用者さんとゆっくりお話させていただく中で、利用者さんの方から津波の時の話やその後どのようにして避難して今に至るのかを話してくださる方もいらっしゃった。震災直後の落ち込みきった様子とは違い、これだけ時間がたった今だからこそ伝えられ、一方では心の奥のケアもまだまだ必要な状態であることには変わらないと感じた。

## ③ 福島県立医科大学での災害医療セミナー（8月24日）

毎年お願いしている福島県立医科大学主催の災害医療セミナーに参加した。少人数であったこともあり、講義の中にもディスカッションの場が多く設けられていて参加者の理解や感想をリアルに聞くことができた。放射線被ばくによる人体への影響、避難所運営ゲーム（HUG）、リスクコミュニケーションの 3 本立てで行われた。



福島医大にて。セミナーをしていた  
だいた先生方と参加学生。



リスクコミュニケーションのグループワーク。

放射線被ばくの人体への影響は基礎医学の講義をほぼ全て受けた段階の私たちにとっては、これまで学んできたことの復習や応用となる内容であった。私たちも含め、多くの一般の方が漠然と誤った知識を持っていることを実感した。HUG では今では災害医療を扱う多くの団体が導入している避難所運営本部を模して発災後の避難所立ち上げから数日間の運営を机上にて実演する。災害の発生自体に驚き不安になる中での運営は難しく、HUG を通しての練習は重要であった。リスクコミュニケーションでは実際の場面を想定し、グループでディスカッションをしながらどのように立ち向かっていくかを考えた。

お互いのグループの意見を出し合うことで全く違う切り口から同じ物事を見ていて面白いと感じる部分があった。

#### 4. 全体の振り返り

3日間というあっという間の期間であったが、まさに百聞は一見に如かず、言葉にはしがたい感じるものがあつた。3日間どの場面においても今見ているものとそこにいる人たちの声や表には現れえない気持ちについてどこまで思いをはせることができたかはわからない。だが、少なからずまだまだ3.11の被害に苦しむ方がいらっしゃり、まずは地元和歌山にて近いうちに発生すると予測される南海トラフによる地震・津波に向けた対策に活かすことが重要でこの点に今後も継続して取り組んでいきたい。継続して福島へと足を運ぶことによりその時の自身の状況も併せて様々な考えが現れるかと思うので、この企画自体を守っていきたい。

## ～学生メディカルラリーと防災下敷きづくり～

和歌山県立医科大学  
医学部 4 年生 川端公貴  
指導教員 加藤正哉先生

### 5. 活動の概要

和歌山県立医科大学の学生 5 名は、2017 年 11 月 5 日（日）に大阪府済生会千里病院及びその周辺にて行われた第五回千里学生メディカルラリーに参加した。医看問わず、日頃の講義、実習の実践を目的としつつも、他大学や、専門学校の医師、看護師、救急救命士を目指す学生との交流を重視した。

また、交流を通して和医大学生間での防災啓発を目的として、平成 29 年度から新入生への配布を開始した防災下敷きの編集を行い、平成 30 年度の新入生への配布を行った。

### 6. 本学参加学生

福島純一(医 6)、川端公貴(医 4)、中井真衣(医 4)、富山まりな(医 4)、竹村友香(医 4)、板井茉佑(看 4)、北林快(医 3)、小山翼(医 3)、田中茜(看 2)、濱田和真(看 2)、高木麻友美(看 1)、丸山愛珠(看 1)、西本彩乃(看 1)

なお、下線を伴う学生が第五回千里学生メディカルラリーに参加した。



ST1 Dr.シナリオの様子

### 7. 活動内容と感想

#### ① 第五回千里学生メディカルラリー

昨年度までは一部有志学生の個人申し込みによりプレーヤーあるいはボランティアとして参加していた。今年度は初めて災害医療・防災サークルである **Wakayama Will** のチームとして出場した。出場に当たり東洋医療専門学校の学生と合同チームを結成した。メディカルラリーとは医師や看護師、救急救命士がチームを組み、模擬患者を時間内にどれだけ早く的確に治療できるかを競う競技会のことであり、千里学生メディカルラリーでは、医学、看護学、救命士学を学ぶ学生がチームを組み、シナリオでの



ST3 救命士シナリオ終了後のフィードバック



対応の正確性を競います。競技以外にも医学、看護学、救急救命学などを学ぶ学生の交流の場でもある。チームは6人1組（医学生2人、看護学生2人、救命士学生2人 多少の前後有り）です。シナリオは病院前診療、内因性疾患・外傷・集団災害などで全6シナリオをプレーし、

合計点を競った。関東から沖縄の学生まで計16チームが集まり、多数のボランティアが参加した。

結果は14位と下位に終わり、日頃からサークル活動として訓練を積んでいる関東のチームとの差がはっきりと表れた。各シナリオの合間やイベント終了後の交流ではチームに関係なく多くの学生と災害について、さらには防災のために何が必要なのかをよく考える良い機会となった。

## ② 防災下敷きづくり

平成29年度入学学生の感想からはこういった企画を行っている団体があるということ



新入生研修での下敷き配布自主力リ発表

を知ってもらい、もしものときの対処が書かれてある点、純粋に下敷きとして使える点については上々の評価が得られた。内容についておもて面は見やすくて良かったが、うら面については字が多くイラスト等もなかったために少し見にくいとの指摘があった。今年度は内容面については特に編集を行わず、裏面のフォントや配置などの細かい部分について編集を施し、平成30年度入学学生へ配布することとした。

## 8. 全体の振り返り

学生メディカルラリーでは全国各地から多くの医療系学生が集まり、みな日頃の鍛錬の成果を発揮する、全力で患者役を演じ切るなど気迫のこもった雰囲気圧迫された。私たちは今回初のチームとしての参加で学部学年の異なる中それぞれの持つ知識や技術もバラバラであり準備不足な感が否めなかった。次回以降の出場に向けてはより知識技術を身に着け共有して参加していきたい。

防災下敷きでは2度目の配布となり、少しずつではあるが若い世代から学内での防災意識の種をまくことができた。平成27年度より学生課、危機対策管理室のご協力いただいた皆様にここに感謝の意を表します。

# 抗炎症作用薬による自閉症モデルマウスの行動への影響検討

和歌山県立医科大学 医学部 4 年 尾関隆広

医学部 5 年 中塚瑞記

指導教官 松崎伸介

## 背景

自閉症スペクトラム (Autism Spectrum Disorder : ASD) は、(1)対人関係の障害、(2)コミュニケーションの障害、(3)パターン化した興味や活動、という 3 つの特徴が 1 歳頃より出現する障害であり、100 人に 1~2 人存在していると報告されている。前述のように、ASD 児はいわゆる定型発達児とは異なる個性を示しており、周囲の人々から理解を得ることが困難である。そのため、定型発達児にとっては通常環境が ASD 児にはストレス環境であること、成長の過程で他者との違いを認識しストレスを感じることで、うつ病等の二次的な精神疾患発症のリスクになると考えられている。近年の調査により、ASD は ASD 本人並びにその周囲で悩みを持つ人々の数は計り知れない。

一方、近年全身・脳内炎症が神経精神疾患発症に関与している可能性が多数報告されるようになってきた。一方、ASD 発症機構においても炎症の関与が示唆されるようになり、抗炎症作用を示すと考えられているグレリンの異常がその発症に関わることも報告された。

## 目的

アンギオテンシン 2 (以下 AII) の受容体に注目して研究を行うこととした。AII 受容体はサブタイプとして AT2type1 (以下 AT1)、AT2type2 (以下 AT2) の 2 種類がよく知られており、中でも AT1 の阻害が降圧効果を示すことから、広く臨床でも応用されている。一方、AT2 は血圧への効果が弱く、現状では抗炎症作用が示唆されている。これまで AT2 アゴニストとしていくつかの薬物が市販されているが、完全な AT2 特異的アゴニストではなく一部 AT1 への影響を示すものがほとんどであった。この度、新規合成された AT2 特異的アゴニストを用いて抗炎症作用を誘導し、ASD における抗炎症作用の影響を明らかにすることが本研究の最終目的である。薬物の薬効評価を行うにあたりモデルマウスの構築は必須である。そこで、疫学的リスクとなっているバルプロ酸投与モデルおよび、心理要因モデルとしてしられる隔離飼育マウスの構築を第一の目的とした。ASD モデル構築の評価方法として、3 チャンバー社交性テストを指標に用い、薬効についても 3 チャンバー社交性テストを行うこととした。

## 実験方法及び準備)

### 1) ASD モデルマウスの構築

#### ・ 隔離飼育マウス

出生後 21~35 日目までの社交性構築のゴールデンタイムとして知られている。そこで、出生後 20~22 日 (離乳時期) から 1 ケージ 1 匹として飼育した隔離飼育マウスと 1 ケージ 3~4 匹として飼育した集団飼育マウスを作成した。

### ・バルプロ酸投与マウス

妊娠 12.5 日目に腹腔内にバルプロ酸または生食を投与し、生まれてきたマウスを 1 ケージ 3 ～4 匹で飼育し、行動実験に用いた。

### 2) AT2 アゴニスト投与方法

溶媒としてカルボキシメチルセルロース（以下 CMC）を用いて AT2 アゴニストを溶かし、飲水にて投与した。投与時期については、①離乳直後から、②1 回目の行動実験後から、の 2 通りを実施した。

### 3) 3 チャンバー社交性試験

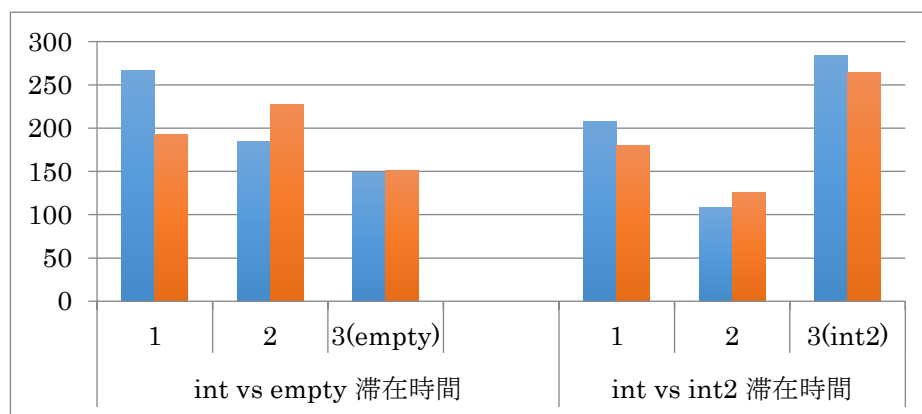
グリッド箱に入れたマウスと、別のケージで飼育したマウスを入れ、初対面のマウス（侵入マウス）を見たときの行動を指標とし、ストレスの度合いを測定する。まずは、侵入マウス 1 に対する接触時間・ボックス内滞在時間を測定し、次に侵入マウス 2 に対する反応を検討する。侵入マウス 1・2 への反応性の変化を検討することで、社交性を判定する。本実験では、各群 N=8 以上で検討を行っている。



## 結果)

### 1) 隔離飼育マウスは不安作用の増強を示した。

隔離飼育マウスについては、3 チャンバーテストにおいて侵入マウス 1 に対しての有為な反応性低下を示すものの、侵入マウス 2 に対する差は認められなかった。そのため、社会性の低下については明確な結果を得ることができなかった。しかしながら、侵入マウスのいない中心部屋に滞在する時間は顕著に増加しており、新規領域に対する不安作用の増強と考えられた。  
（青：集団飼育、赤：隔離飼育）

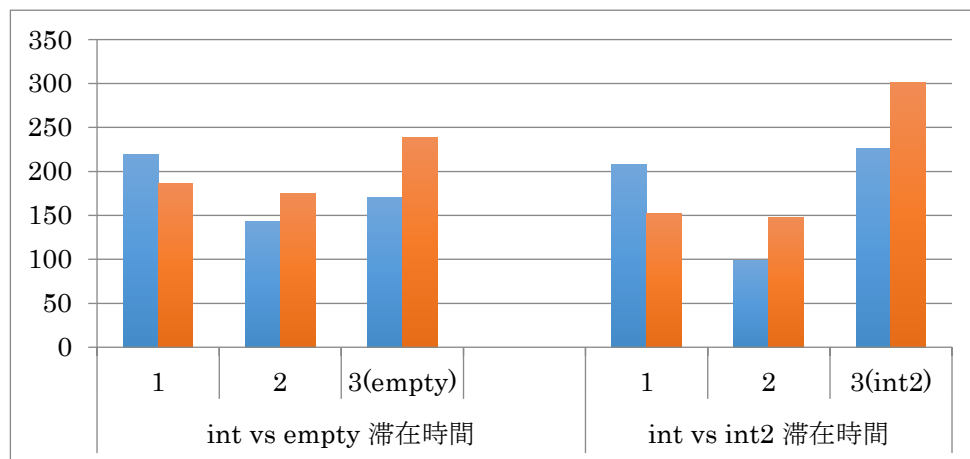


### 2) AT2 アゴニストは隔離飼育マウスの中心滞在時間を短縮した。

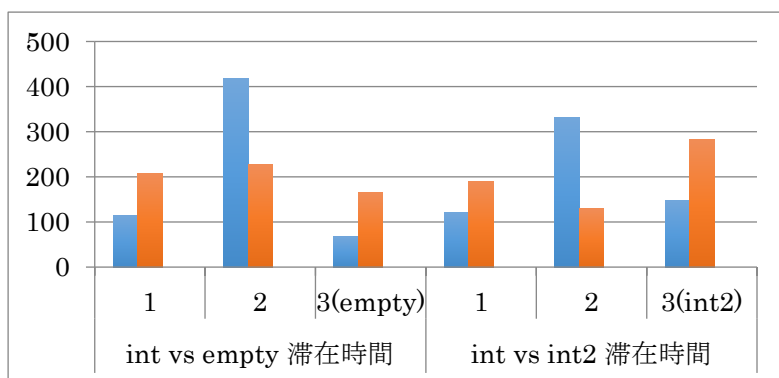
上記に示すように隔離飼育マウスは中心ボックスに滞在する時間が顕著に増加しており、不安作用の増強が予想された。そこで、隔離飼育群に対して AT2（青色グラフ）または CMC（赤色グラフ）投与を 3 週間行い、その効果を確認するため再度 3 チャンバーテストを実施した。その結果、侵入マウスに対する結果から社交性についての変化を確定することはできなかったが、

中心ボックスに滞在する時間が AT2 投与群では顕著に減少しており、AT2 による抗不安作用が予想された。

### 3) バルプロ酸投与マウスは ASD 様の社交性の低下を示した。



隔離飼育マウスによる ASD モデルマウスの構築が困難であるため、バルプロ酸投与マウスの作成を開始した。現時点で、N=5~8 程度の検討ではあるが、社交性の低下を示す結果を得た。



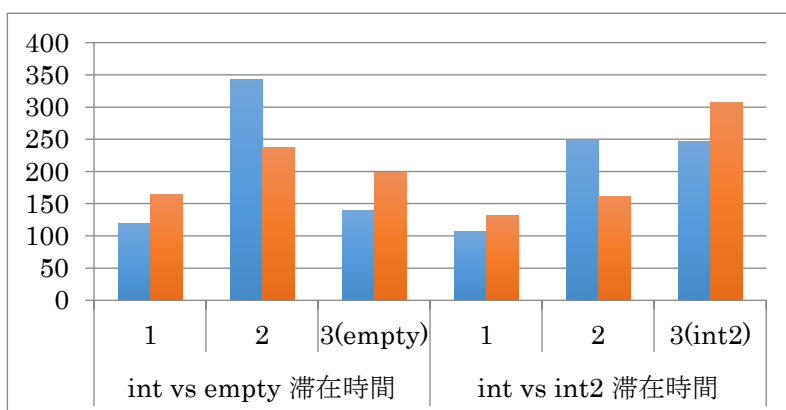
左上図

オスマウスを用いた検討

青：バルプロ酸

赤：コントロールマウス

顕著な中心滞在時間の増加  
侵入マウスへの反応性低下  
を認めた。



左下図

メスマウスを用いた検討

青：バルプロ酸

赤：コントロールマウス

顕著な中心滞在時間の増加  
は認めるが、オスに比べて  
明らかな侵入マウスへの反  
応性低下は認めない。

#### 考察)

我々が実施した 3 チャンバーテストにおいて、隔離マウスは明確な ASD モデルとして構築することはできなかった。今回は示していないが、隔離期間を長期 (6 週以上) にした場合、ASD 様の行動様式が増強することは確認しているが (N=4)、実際の実験を計測する意味では困難であるため、ゴールデンタイムを軸とした 3 週間隔離を行ったが、隔離期間が不足していた可能性が予想された。一方、隔離による孤独感やうつ・不安を誘導している可能性があり、こちら



については検討する必要があるため、AT2 による抗不安作用について検討する予定である。

一方、隔離マウス以外のモデルマウスとして、疫学的に報告されているバルプロ酸妊娠中に投与し作成したモデルマウスにおいては、とりわけオスモデルにおいて、きれいな行動異常を認めた。疫学的にも男性の発症率が高いことから、性差による発症率の違いの背景に、性差によるバルプロ酸感受性の違いが関与している可能性が示唆された。しかしながら、こちらについては AT2 アゴニストを現在投与中で、行動解析を終了していない。今後は、AT2 アゴニストによる行動変化を解析するとともに、バルプロ酸投与により生じる性差の違いについて検討を進める予定である。

#### 文献)

- 1: Mitochondrial angiotensin receptors in dopaminergic neurons. Role in cell protection and aging-related vulnerability to neurodegeneration. Valenzuela R, et al. Cell Death and Disease 2016
- 2: Upregulation of ERK1/2-eNOS via AT2 receptors decreases the contractile response to angiotensin II in resistance mesenteric arteries from obese rats. Hagihara GN, et al. PLoS One. 2014
- 3: Prenatal interaction of mutant DISC1 and immune activation produces adult psychopathology. Abazyan B, et al. Biol Psychiatry. 2010 Dec 15;68(12):1172-81.

# GPCR 多量体形成の疾患への関与

## ～皮膚損傷治癒における AT2 アゴニストの効果～

和歌山県立医科大学 医学部 5 年

大江 直

和歌山県立医科大学 医学部 5 年

川端 公貴

指導教員 松崎 伸介

### 目的

今回表題にあるように GPCR の多量体形成と疾患をテーマとして挙げている。GPCR の中でもアンギオテンシン 2（以下 AII）の受容体に注目して研究を行うこととした。AII 受容体はサブタイプとして AT2type1（以下 AT1）、AT2type2（以下 AT2）の 2 種類がよく知られており、中でも AT1 の阻害が降圧効果を示すことから、広く臨床でも応用されている。一方、AT2 は血圧への効果が弱く、現状では抗炎症作用が示唆されているものの研究が進んでいない。

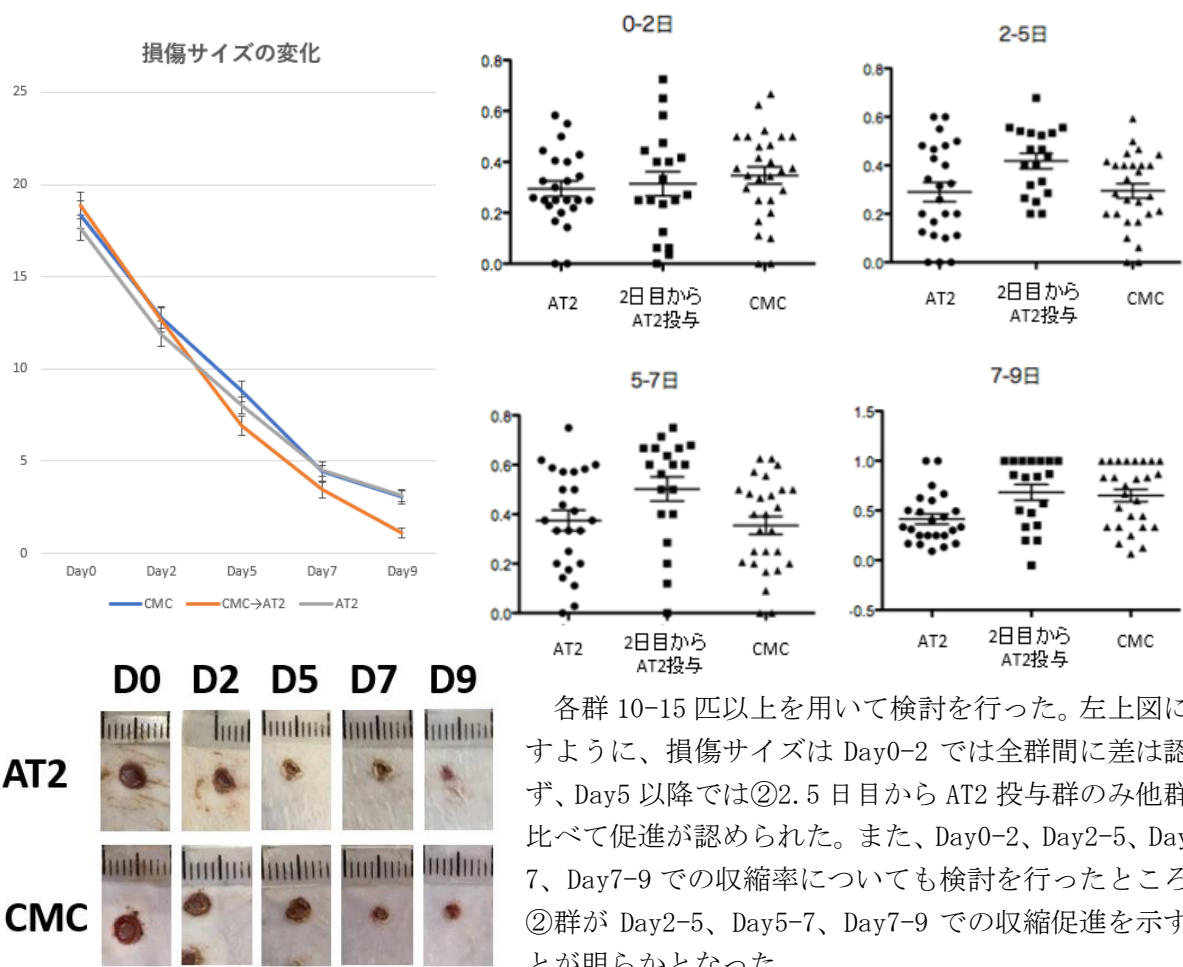
近年の報告で、AT1 阻害作用が創傷治癒を促進する可能性が示唆され、そのシグナルとして AT2 刺激が関与する可能性が示された。そこで本研究では、第一段階として新規 AT2 アゴニストが創傷治癒に及ぼす影響を明らかにすることを目的とし、さらには、それらの結果に基づき、AT2 多量体形成の意義を検討することを目的として検討を開始した。

### 方法

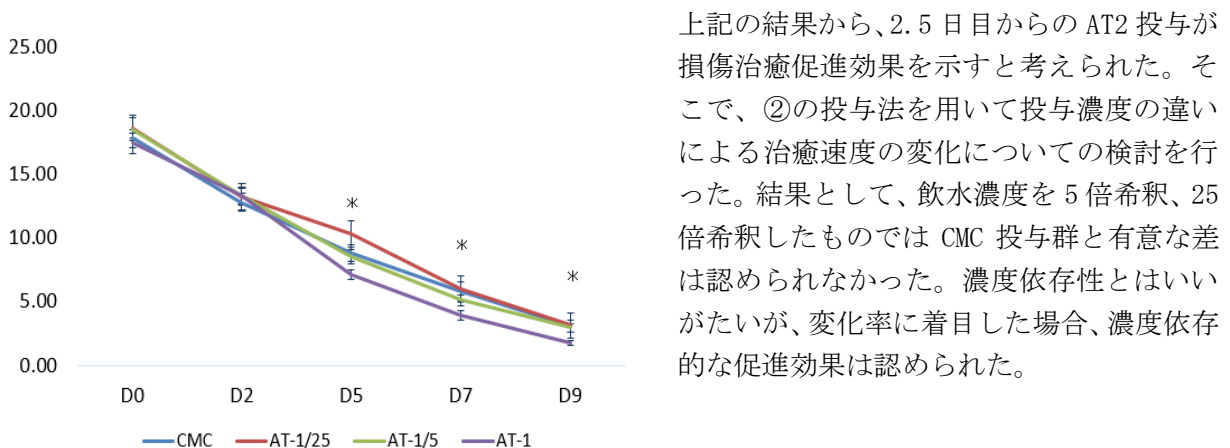
- ICR 8-12 週齢雄マウスを使用した。
- 創傷モデルとして生検用パンチを用いて皮膚に 4mm 大のパンチアウトを行い安定したサイズの傷を作製した。損傷は、1 匹あたり 4 か所程度とした。
- 創傷領域の改善速度を創傷サイズの変化は各タイムコース（Day0.5, Day2, Day5, Day7, Day9, Day12）で計測した。
- 各タイムコース（Day0, Day0.5, Day2, Day5, Day7, Day9, Day12）で免疫染色用、蛋白質サンプル用、RNA サンプル用の組織を採取した。サンプル採取は一定範囲を取るため生検用パンチを用いて皮膚に 8mm 大のパンチアウトを行った。
- スクラッチ、ファイティングにより明らかに傷が悪化しているものは除外した。
- AT2 アゴニスト投与方法は飲水による経口投与とし以下のタイムスケジュールで実施した。
  - ① 損傷直後から投与
  - ② 損傷 2.5 日目から投与（2 日目の朝の測定を終了後、夕方から AT2）
  - ③ コントロールとして CMC のみ投与

### 結果

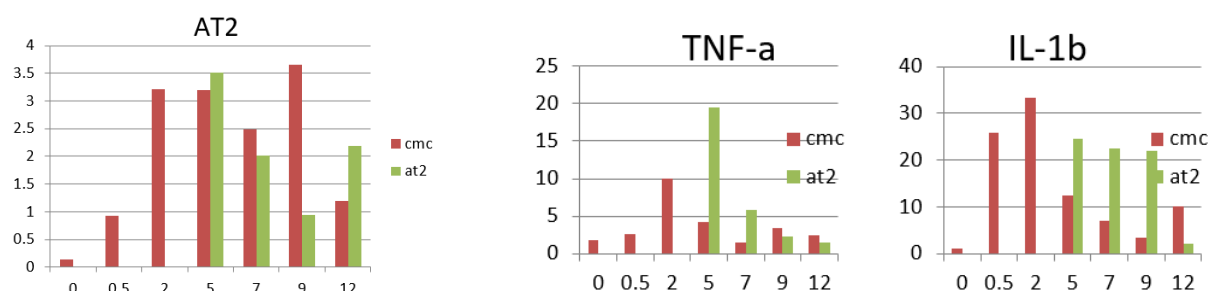
## 1) AT2 アゴニスト投与のタイミングの違いが損傷治癒への効果に影響する



## 2) AT2 アゴニストは濃度依存的に損傷治癒を促進する（傾向を示した）



### 3) AT2 アゴニスト投与による損傷部での発現変動因子の探索



各タイムポイントで回収した皮膚サンプルを用いて real time RT-PCR を行い、炎症関連因子および、AT2 発現についての検討を行った。その結果、過去の報告と同様、損傷後 AT2 発現は上昇し、D9 ごろまで高発現量を維持した。一方、炎症因子については、データのばらつきもあるが AT2 投与後に一過性の炎症促進 (TNF- $\alpha$ 、IL1 $\beta$ ) 上昇傾向を示した (現状では N=5 ずつ)。AT2 アゴニストが抗炎症作用を示すという予想と反するデータであった。現在のサンプルが倍になったとの試算では有意差がつくことから、N 数を増やして確定させる必要があると考えている。

### 考察

損傷治癒過程での AT2 アゴニストが促進的に作用する可能性が示された。このことから、AT2 多量体形成の検討の重要性が予想された。一方、AT2 の治癒促進効果として予想された抗炎症作用については、TNF- $\alpha$  および IL-1 $\beta$  のデータより否定的な結果であり、むしろ炎症が惹起されている傾向を示していた。近年の報告では TNF- $\alpha$  の一過性投与が間葉系幹細胞を刺激し創傷治癒を促進すること (Ueda M, et al., *Stem Cell Res Ther.* 2014) が報告されている。これらのことから、AT2 アゴニストにより炎症性サイトカインが一過性に上昇することで治療が促進したと考えられた。さらに、皮膚においても CD271+幹細胞が損傷治癒に関与することが報告されていることから、AT2 アゴニスト投与後に誘導された TNF $\alpha$  の一過性上昇が、CD271+幹細胞等に作用し損傷治癒を促進した可能性が考えられた。一方、線維芽細胞からの細胞外基質の合成を刺激したり、血管新生や肉芽組織の形成を促進したり、表皮細胞による再上皮化を誘導することが知られているため、これらの作用による可能性も十分考えられる。また、創傷治癒過程で必要となる神経突起の侵入など、他の要因が創傷治癒を促進している可能性は十分に考えられる。さらに、創傷部の縮小においては myofibroblast の作用が重要であることも知られており、fibroblast の分化に関与する TGF- $\beta$  の分泌 (主にマクロファージ) についての検討も必要であると考えている。今後は損傷部での組織学的検討を追加し、現在予想される仮説についての検証を進めていく予定である。

### まとめ

今回の結果から、創傷部での AT2 の作用として損傷治癒を促進させる可能性を見出した。その作用過程として、炎症性サイトカインの制御に関わる可能性が示唆された。

### 謝辞

本研究の遂行にあたり、終始ご指導ご鞭撻を賜りました和歌山県立医科大学医学部薬理学教室の松崎伸介准教授に深甚なる謝意を表します。また適切なご助言ならびにご指導を頂きました同教室の岸岡史郎教授、木口倫一講師、雑賀史浩助教、小林大地研究員に厚く御礼申し上げます。

### 最後に

本研究成果については平成30年度和歌山医学会総会で発表させていただきます

### 参考文献

Candesartan prevents resiniferatoxin-induced sensory small-fiber neuropathy in mice by promoting angiotensin II-mediated AT2 receptor stimulation. Bessaguet F, et al., *Neuropharmacology* 126 (2017) 142e150

A short-term treatment with tumor necrosis factor- $\alpha$  enhances stem cell phenotype of human dental pulp cells. Ueda M, et al., *Stem Cell Res Ther.* 2014

# Australia1, Monash, University,

## Dandenong Hospital での医学実習

和歌山県立医科大学医学部 6年生

勝山 苑香 中 美咲

指導教員 教育研究開発センター長 村田 顕也教授

私たちはこの度、自主カリキュラム計画という制度を利用し、11月6日から1か月間、オーストラリアのメルボルン郊外にある、モナッシュ大学の関連病院の Dandenong Hospital にて臨床実習を行いましたのでご報告をさせていただきます。

オーストラリアでの医療を実際に見て自らの視野を広げること、また実習を通して医学英語や患者さんとの英語でのコミュニケーションの能力を向上させることを目標に、インターネット上の情報を活用し実習先を選定し、直接問い合わせをして実習の申し込みをしました。

以下に現地で行った実習の内容についてご報告をさせていただきます。私たちはより患者さんと関わり、科にとらわれず様々な疾患を診たいと考え、総合診療科にて1か月間実習をさせていただきました。また総合診療科だけでなく、現地の先生方のご厚意により、heart failure clinic, transgender clini, diabetic foot clinic, gestational diabetes clinic 等の clinic でも実習をさせていただきました。

### ➤ General Medicine department (総合診療科)

診療科にはいくつかの medical team があり、それぞれのチームは指導医、senior doctor、junior doctor、研修医から構成されており、私たちもその中のチームに所属させて頂き実習をさせていただきました。毎朝8時半から、全チームの先生とコメディカルの方々が病棟のすべての患者さんについて情報を共有するカンファレンスがあり、その後それぞれのチームに分かれて3時間程をかけて所属チームの患者さん約25人の回診を行いました。カンファレンスには看護師さんだけでなく、栄養士さんやソーシャルワーカーの方々も参加されており、患者さんを退院後の生活も含めてまるごと診るところが総合診療科ならではのかなと感じました。



写真 1. Dandenong Hospital の外観

回診では、先生方が、一人一人の患者さんと時間をかけて話し、時に患者さんのベッドサイドに腰を掛けながら、世間話も交えて診察をしているのが日本と異なり、とても印象的でした。また、医療のこと以外の話もするからか、医師、患者共に気持ちにゆとりを持っているように見えました。公立病院という事もあり、患者さんは日本の実習では見たことがないくらい重症であったり、既往歴が多く複雑で、難しい患者さんも多かったですように思います。さらに、ドラッ

グーザー等、日本ではあまり経験しない患者さんも日常的にいらっしゃるようでした。毎日診察や問診させて頂く機会があり、身体診察や聴診等、より実臨床に近い形の実習ができたのではないかと思います。さらに、毎日問診をすることで、患者さんとのコミュニケーションの取り方、英語力にも自信が持てるようになりました。

#### ➤ HEART FAILURE CLINIC

毎週火曜日の午後に、Dandenong hospital の中にある心不全外来を見学させて頂きました。心不全を患った方専門の外来で、午後だけでも多くの患者さんが受診されており、心不全の方がこのように多いのかと驚きました。実際に調べてみると、日本人の死因としては、心血管疾患は悪性新生物に次いで第二位ですが、世界的にみれば第一位の死因であり、オーストラリアもまた然りでした。心血管疾患の発症には、やはり食生活や肥満、高血圧、高コレステロール血症などの生活習慣病が関係しており、糖尿病や肥満の人を日本より格段に多く見かけるオーストラリアの地では非常に合点がいました。



写真 2. HEART FAILURE CLINIC

この外来実習を通して学んだことは、主に慢性心不全に対する治療薬の選択についてです。本学の授業やポリクリでは、病態や薬の種類については深く学びますが、薬剤の選択すべき順番や、それら薬剤の副作用、さらにそれぞれのエビデンスの有無などについてはあまり勉強していなかったもので、とても良い機会になりました。実際に複数の患者さんへの問診、診察を見学させていただきながら、それぞれの診察毎に薬剤の選択について先生が指導して下さり、実践的に学べたことで非常に勉強になりました。例えば、慢性心不全に用いられる薬剤で、生命予後改善のエビデンスがあるのは、ACE 阻害薬、ARB、β 遮断薬、抗アルドステロン薬のみで、それ以外の利尿薬や血管拡張薬等には実は生命予後改善のエビデンスがないこと、そして、心不全の重症度分類に基づいてまず ACE 阻害薬、ARB、β 遮断薬が第一選択になることなど、一から本当に多くのことを教えて頂きました。また HFrEF (Heart Failure reduced EF) と HFpEF (Heart Failure preserved EF) の分類やそれぞれの特徴について、さらに、有効性があるとされる薬剤がほぼないとされている HFpEF に対して、有効性が示された新規薬剤、Angiotensin Receptor neprilysin inhibitor(ARNI)についても教えて頂き、日本ではまだ未承認の薬剤ですが、最先端の知識を得ることもでき、非常に勉強になりました。

#### ➤ TRANSGENDER CLINIC

この1か月の実習を通して最もお世話になった Dandenong Hospital の Hunter 医師が、毎週第二水曜日に Monash Medical Center (Monash University の大学附属病院)で Transgender clinic を担当しているとのことで、見学に行かせて頂きました。LGBT とは Lesbian, Gay, Bisexual, and Transgender などのセクシャルマイノリティの総称ですが、その中でも身体の性と心の性が一致



しないが、外科的手術は望まない **Transgender** の人に対して、ホルモン剤を使用して希望する性に近づける、というのが目的の **Clinic** でした。

ちょうどこの見学の日、オーストラリアの国民投票結果が発表され、61%が同性婚の合法化を



写真 3. Monash Medical Center の外観

支持したことで外来ではその話で持ち切りでした。ちなみに投票率は 79.5%だったそうで、国民全体の **LGBT** への関心度の強さを感じられ、まだまだそれほど **LGBT** や同性婚に対してオープンではない日本との違いを肌で感じました。

また、現地で生活についても触れたいと思います。**Dandenong Hospital** 付近には寮などはなく自分自身で宿を手配しなければならなかったため、**Airbnb** で宿を予約しま

した。病院から徒歩15分、バス停までは徒歩1分、スーパーやショッピングモールも近く非常に便利な場所に建つ家で、ホストさんは

**Best host** にも認定されており、口コミでは、過去に私たちと同じように実習で来た医学生も使用していたようだったので、こちらにお世話になることになりました。私たちのほかには、インド人医師とマレーシア人も住んでおり、非常に楽しい環境でした。また、ホストの **Cook** 夫妻は非常に良い方々で、部屋を借りるだけの **Airbnb** のはずなのに、まるで家族のように信頼して接して下さり、色々な所へ連れて行ってくださったり、食事を作ってくださったり、困ったときは助けてくれたりと本当にお世話になりました。また、食事に関してですが、基本自分たちで朝食、昼食、晩御飯を用意せねばならず、非常に苦労しました。オーストラリアは言うまでもなくパン食文化で、お米を炊いて食べるという選択肢がなかったので、お米が非常に恋しかったです。毎回パンを大量にスーパーで買い、朝昼晩異なる種類のパンを食べ、晩御飯はパンに加えて一品おかずを作り、サラダとスープというメニューでなんとか一か月を乗り切ることができました。

以上の通り、オーストラリアのメルボルンにて、オーストラリアの総合診療を見学するという本当に貴重な経験をする事が出来ました。海外で働くことに興味がある私たちにとっては、オーストラリアで医師として働くという感覚が非常に身近なものになり、そのプロセスについても知ることができ、医学を学ぶという面だけでなく、視野を大きく広げることが出来ました。また、医学英語や患者さんとの英語でのコミュニケーションについても非常に学びが多く、自分を成長させることができたと感じています。今回の経験を糧にこれからも日々精進してまいりたいと考えております。

最後になりますが、この度は自主カリキュラム計画にてご支援を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。また、今回の実習を実現するにあたり、お忙しい中にも関わらず、ご協力、ご支援を賜りました、教育研究開発センターの村田教授、医学部長の村垣教授、また生体調節機構研究部の改正教授、平松さんはじめ学生課の皆様、国際交流センターの林さん、この度は本当にありがとうございました。



# ドイツと日本の社会的・科学的な法医学について学ぶ

和歌山県立医科大学 医学部

6年 秦 聡

4年 岡田美里

指導教員 近藤稔和 法医学教室教授

## 【研修目的】

社会の高度成長や複雑化，超高齢化とともに，異状死の数は増加の一途をたどっている．近年では児童虐待が大きな社会問題となっており，医師を目指す医学生として死者だけではなく生きている人の「尊厳，人権」を守るためにも法医学を学ぶことは不可欠であると考ええる．

本学法医学教室の MD・Ph-D コース生である我々は時計遺伝子（Biological Clock）について研究しており，今回 10<sup>th</sup> International Symposium Advances in Legal Medicine（以下，ISALM 2017）にて発表する機会を得た．ISALM 2017 は日本のみならずドイツの法医学の著名な先生方が参加される学会であり，我々が発表する経験を得るというだけでなく，他の諸先生方の発表を通して最先端の法医学を学ぶことを目的として参加した．

また，今回の研修では Bonn 大学法医学教室の Professor B. Madea のご厚意で Bonn 大学内の施設を見学させていただいた．広大な敷地を誇る Bonn 大学に立地する法医学教室の施設とドイツにおける法医学についても報告する．

なお，本研究には秦・岡田が参加させていただき，学会には秦が参加した．

## 【研修期間】

2017 年 9 月 10 日（日）～2017 年 9 月 18 日（月）

## 【研修地・デュッセルドルフについて】

ノ르트ライン＝ヴェストファーレン州の州都であるデュッセルドルフはライン川河畔に位置する人口約 61 万人の都市である．金融やファッション，世界的な見本市の中心都市の一つであり，日本企業の進出も盛んにおこなわれておりデュッセルドルフ市内には約 5,000 人の日本人が居住していることは有名で，日本総領事館などのあるインマーマン通りは日本人街の様相を呈している．

今回はデュッセルドルフ市南部に立地する Heinrich Heine University Düsseldorf (HHU) にて開催された ISALM に参加した．



外務省 HP より

## 【研修内容】

以下の二つの項目についてそれぞれ報告する.

I 10<sup>th</sup> International Symposium Advances in Legal Medicine

II Bonn 大学 施設見学

### I 10<sup>th</sup> International Symposium Advances in Legal Medicine

#### ① 学会概要

5 日間にわたり, 6 つの会場で 103 の講演と 186 のポスター発表が行われ, 会場前のロビーには各ポスターが展示されていた. 講演・ポスター内容としては大きく "Forensic morphology", "Forensic genetics", "Clinical forensic medicine", "Forensic anthropology", "Forensic toxicology" の 5 つのテーマに分けられて発表されていた. 内容としては, 症例報告, 特定の疾患・死因に関する考察, さらに人類学的なものまで多岐にわたっていたため, 非常に多くのテーマに関して学ぶことができた.

#### ② 学会趣旨: New impulses of Forensic Medicine and the emergence of new cooperations and friendships across borders.

#### ③ 開催日程: 2017 年 9 月 11 日 (月) ~ 2017 年 9 月 15 日 (金)

#### ④ 開催場所: Heinrich Heine University Düsseldorf (HHU) Building 23.01

#### ⑤ 我々の発表内容

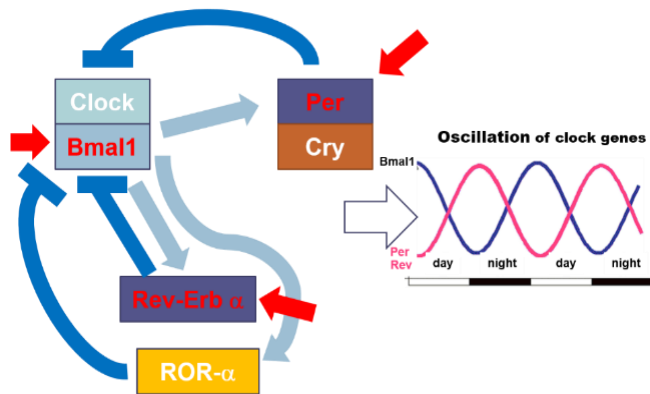
演題名: "Acetaminophen-induced fulminant hepatic failure altered the biological clock in mouse heart"

#### ・緒言

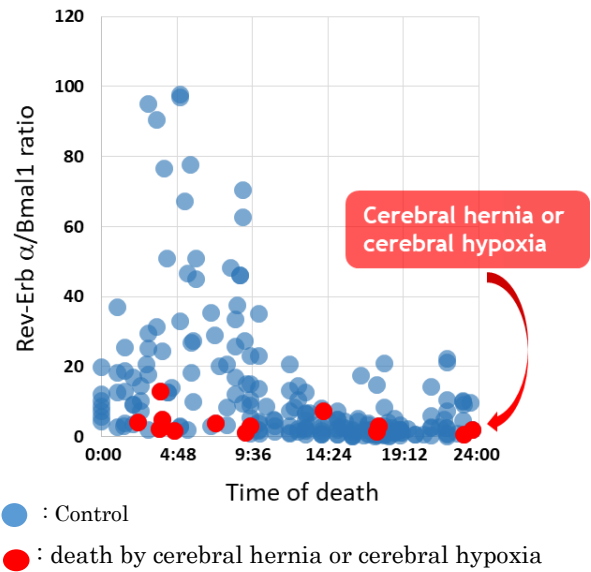
死亡時刻は社会における権利主体としての人の終止を意味する重要な瞬間であり, 社会的・民事的に重要な意味を持つ. 死亡時刻の推定は死体现象を中心に死後経過時間を推定することから始まり, 具体的には死斑・死後硬直・直腸内温度などから総合的に考察する. また死因についても同様で, 死者の人権・臨床領域へのフィードバック・死因統計作成といった面から死亡時刻と同様に社会的・法医学的に重要な事項の一つである.

しかしながら, 死後から発見まで時間がかかった遺体や, 通常とは異なった環境に置かれていた遺体では, 死後経過時間や死因の推定が困難となることがしばしば経験される.

本学法医学教室では時計遺伝子 (Bmal1, Per2, Rev-Erb  $\alpha$ ) 用いた死亡時刻の推定方法について長年研究を重ねている. 時計遺伝子とは, 概日リズム (体内時計) をつかさどる遺伝子群を指し, その多くに発現に顕著な 24 時間リズムが見られる遺伝子のことを言う. 各臓器での時計遺伝子の発現は視交叉上核にあるとされる中枢時計が支配している. 我々が着目している時計遺伝子, Bmal1 や Per2, Rev-Erb  $\alpha$  は Fig. 1 に示すようなフィードバックループを形成しており, 体内時計のパラメーターとして Rev-Erb  $\alpha$ /Bmal1 比を用いることで, 死亡時刻を推定することができることを我々は 2011 年に報告した<sup>1)</sup>.



**Fig. 1** 体内時計における転写のフィードバックループ.



**Fig. 2** 小脳ヘルニアもしくは低酸素脳症を伴った剖検例での Rev-Erb α/ Bmal1 比.

しかしながら当教室での剖検例の中で小脳ヘルニアや低酸素脳症などの脳損傷を伴った症例では心筋細胞中の Rev-Erb α/Bmal1 比が著明に低下することを我々は見つけた (Fig. 2). このことから、脳の損傷があった場合は脳の中樞時計から末梢の臓器への伝達が正常に行われず、時計遺伝子の発現が変化していることが示唆される. このような背景を踏まえ、今回我々は末梢の時計遺伝子に対する脳損傷の影響を検討するために劇症型肝炎マウスと急性水中毒マウスを用いて心臓の時計遺伝子の発現の変化を調べた.

#### ・方法

##### 「アセトアミノフェンによる劇症型肝硬変マウス」

オスの 8-10 歳の C57BL/6 マウスに対して、一日絶食状態にしたのちに腹腔内にアセトアミノフェンを体重当たり 600 mg/kg 投与した. アセトアミノフェン投与から 24 時間後の血中 ALT 値と AST 値, そして肝臓の HE 標本から肝障害の程度を評価した.

脳と心臓の組織をアセトアミノフェン投与から 24 時間後に採取し, 脳は浮腫の状況について, また心臓は時計遺伝子の発現量についてそれぞれ分析した.

##### 「急性水中毒マウス」

オスの 8-10 歳の C57BL/6 マウスに対して, バソプレシン(0.4 μg/kg body weight)を含む蒸留水(19 % body weight)を投与した. 投与から 2 時間後, 麻酔薬を過量投与した後, 脳と心臓の組織を採取し, 脳は浮腫の状況についてまた心臓は時計遺伝子の発現量についてそれぞれ分析した.

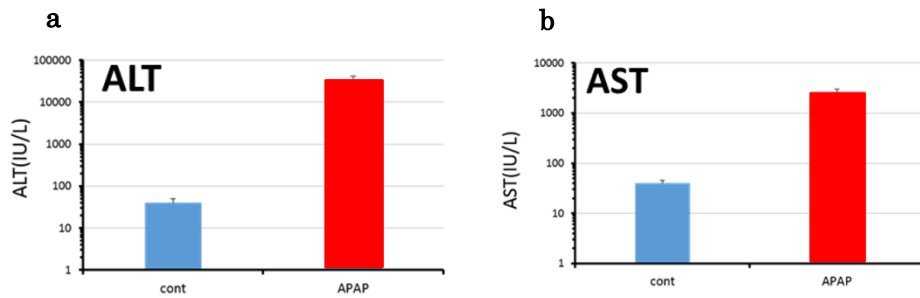
##### 「全 RNA の抽出と real-time RT-PCR」

全 RNA は製造元の指示通りに ISOGENE (Nippon Gene)を用いて組織サンプル (100mg) より抽出したのち, PrimeScript RT reagent Kit (TAKARA BIO) を用いて 1 μg の抽出した RNA を 6 種類の primer で cDNA へ逆転写した. その後, cDNA を特異的な primer を用いて SYBR® Premix Ex Taq™ II kit (TAKARA BIO INC.) にて real-time

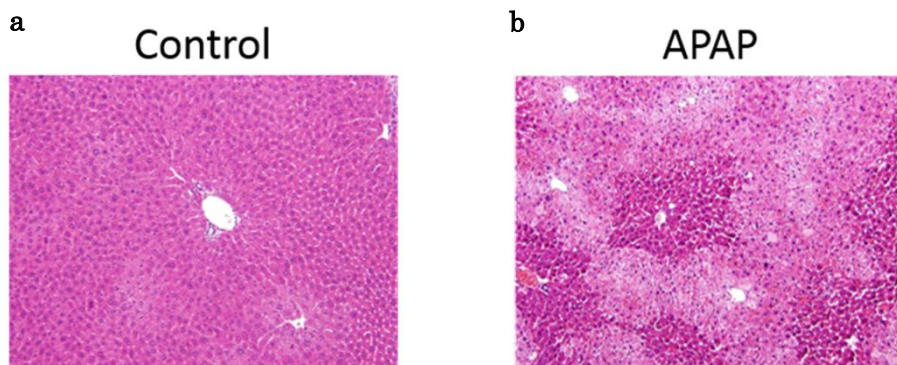
PCR による分析を行った。そして、個々の時計遺伝子の発現量を *b-actin* 遺伝子の発現量との比較 Ct 法を用いて測定した。

#### ・結果

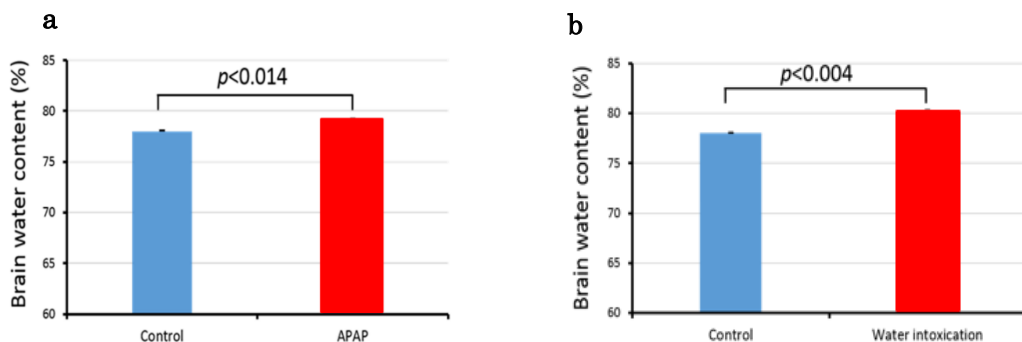
アセトアミノフェンによる劇症型肝硬変マウスではコントロール群と比較して血清中の ALT, AST が非常に高値となり (Fig. 3 a-b), 肝臓では重篤な組織障害が生じていた (Fig. 4 a-b)。また採取した脳における水分含有率はコントロール群と比較して有意に上昇しており脳浮腫の状態となっていた (Fig. 5 a-b)。



**Fig. 3** アセトアミノフェンによる劇症型肝炎マウスにおける血清中の ALT (a), AST (b) の変化。

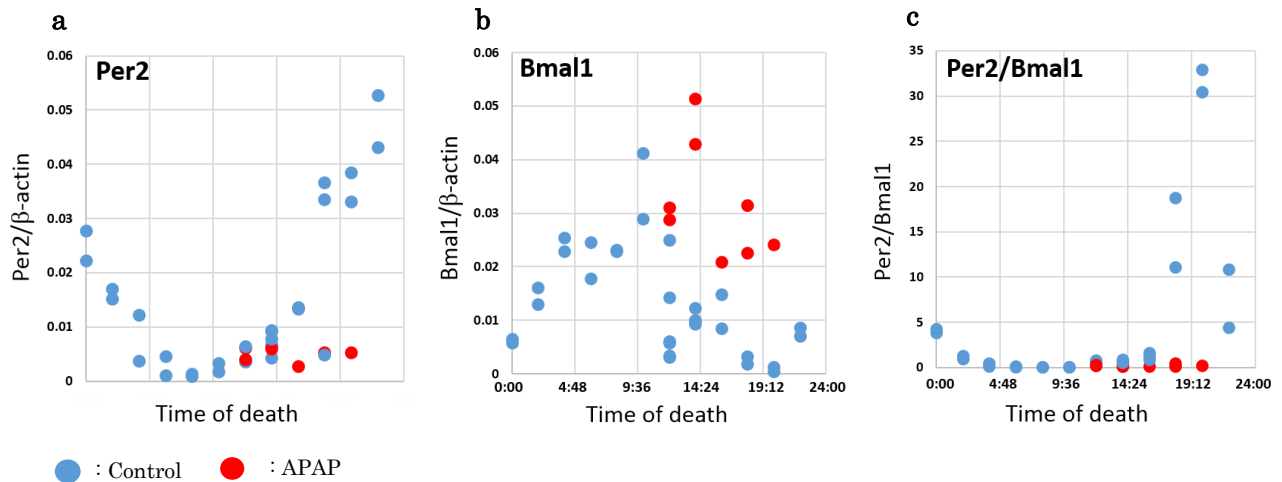


**Fig. 4** アセトアミノフェンによる劇症型肝炎マウスにおける肝臓の変化。アセトアミノフェン投与マウスでは広範な肝細胞の壊死を認める (b)。

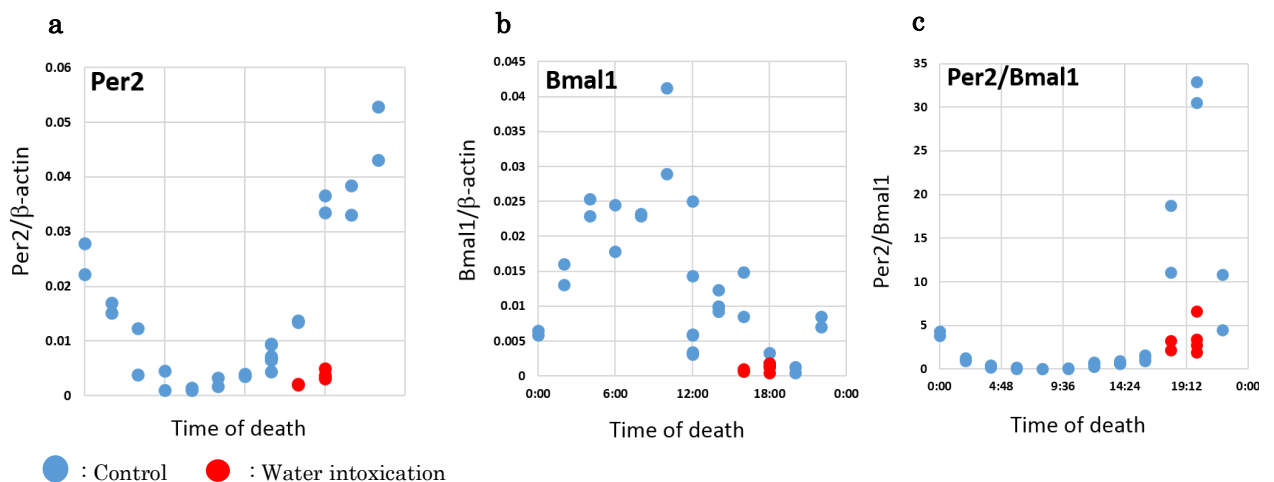


**Fig. 5** アセトアミノフェン投与マウス (a), 急性水中毒マウス (b) とともに、コントロール群と比較して脳の水分含有率は有意に上昇しており、脳浮腫の状態となっていた。

アセトアミノフェン投与マウスにおける心筋細胞では Bmal1 の発現は亢進し, Per2 の発現は低下したため, コントロール群と比べ Per2/Bmal1 ratio が著明に低値となった (Fig. 6 a-c). また, 水中毒により脳浮腫を引き起こされたマウスにおいても心筋細胞内の時計遺伝子がコントロール群と比較して低下していた (Fig. 7 a-c).



**Fig. 6** アセトアミノフェンによる劇症型肝炎マウスにおける時計遺伝子の発現. 心筋細胞での Per2 の発現が上昇し (a), Bmal1 の発現が増加したため (b), 体内時計のパラメーターである Per2/Bmal1 比がコントロール群と比べて著明に低下した (c).



**Fig. 7** 急性水中毒マウスにおける時計遺伝子の発現. 心筋細胞中の Per2 の発現が著明に低下し (a), Per2/Bmal1 比はコントロール群より低値となった (c).

## ・結論

劇症型肝炎により引き起こされた脳浮腫は時計遺伝子の発現を変化させた. このことは, 急性水中毒により引き起こされた脳浮腫においても同様に心筋細胞内の時計遺伝子が変化していることから言える. したがって, マウスにおいて重篤な脳浮腫などの脳損傷は心筋細胞の時計遺伝子を変化させることが分かった.

法医実務において重篤な脳浮腫・脳損傷を呈する症例に出会うことは多くあるが、そのような症例に対して時計遺伝子を用いた死亡時刻の推定を行う際には注意が必要であるといえる。

分子細胞生物学的メカニズムを用いることにより、より正確に死後時間や死因を推定しようとする試みについて、我々の演題のほかにいくつか印象に残った演題があったためそのうち二演題についてここに紹介する。

A. 演題名：“Differential diagnosis between freshwater drowning and saltwater drowning based on intrapulmonary miRNA expression regulating the translation of aquaporin 5”

演者：K. Maeda (Kagoshima/JP)

溺死体においては海水溺死か淡水溺死かは法医学的に重要である。この演題では、マウスを用いた実験において淡水では aquaporin 5 (AQP5) の発現が down-regulation されるために AQP5 の発現の低下とそれに伴う miR-185-3p の発現上昇がみられる、と報告されている。海水溺死と淡水溺死では血液検査で電解質濃度に差が生まれることなどは広く知られているが、遺伝子の発現に差がみられることは興味深く感じられ、将来的には溺水の判定に有用であると考えられる。

B. 演題名：“Identification of novel diagnostic markers for fatal hypothermia by body temperature dependent gene expression analysis in animal model”

演者：T. Umehara (Nagasaki/JP)

致死的な低体温症は特徴的な組織所見がないことや、寒冷環境が直接的な死因とはならないためにその診断は難しい場合もある。そのため演題では低体温症のモデルラットを用いて、その腸腰筋の mRNA 発現量を見ることで致死的な低体温症と判断できるマーカーを検索しようと試みられている。結果として、種類は明らかにされてはいないものの、mRNA の発現量が全体として増加していることが示されており、どのような遺伝子に関係があるのかその分析が待たれる。

⑥ 感想

今回私は初めて国際学会に参加したが、本学会参加の私の主な目的は英語で発表するという経験を得ることにあった。実際の発表では、どのような話し方をすれば聴衆に意味付けを行うことができるかということを考えながら発表ことができ、非常に貴重な体験となった。今回は発表の機会をいただいたが、将来的には自分自身で発表の機会を作りたいという強い意志が芽生えた。

学会を通じて特に感じたことは英語の重要性である。本学会の趣旨に“the emergence of new cooperations and friendships across borders”とあるが、これを達成するためには英語で自由に会話できることが不可欠である。日本ではなかなか英語を話す機会を持つことはできないが、将来的には必要な能力であることから積極的に学んでいこうと思った。



また、本学会では症例発表，診断方法の探索，あるいは遺伝子学的な側面から見た人類学についての発表等，非常に多くの口頭演題を見ることができた．私は医師となったのち，臨床のみならず何かテーマを持って研究にも携わっていきたいと考えているため，今回の経験を生かして勉学に励んでいきたい．

---

## II Bonn 大学 施設見学

学会終了後の 9 月 16 日には，本学法医学教室 近藤教授の 20 年来友人である Bonn 大学法医学教室の Professor B. Madea のご厚意により Bonn 大学内の施設を見学させていただいた．

ボン (Bonn) はデュッセルドルフの南約 70km に位置する都市で，1949 年から 1990 年まで西ドイツの首都であり，ドイツ再統一後も首都機能を分担している．作曲家ベートーヴェンの生誕地・シューマンの終焉の地としても知られている．

Bonn 大学は 1818 年に設立され，現在は 31000 人の学生が通う歴史ある総合大学である．今回，我々は Bonn 大学本館周辺と，法医学教室の施設を見学させていただいた．

### 1. 大学本館周辺

始めに大学本館周辺を案内していただいた．和歌山県立医科大学に限らず，日本の大学では大学の敷地が区切られている印象であるが，Bonn 大学はそのような区切りがなく，街の中に大学が溶け溶け込んでおり大学を中心として街が発達してきたという歴史を感じた．また，建物内には石像が設置されていたり，歴史館も作られていたりしていたので実際にその歴史を体感することができた．

大学本館（写真 1）前の広場（写真 2）は開放的で学生も何名かりラックスして過ごしていた．このような広大な憩いの場所を持つ Bonn 大学を大変羨ましく感じた．



写真 1 大学本館



写真 2 本館前の広場大

## 2. Bonn 大学法医学教室

続いて法医学教室の施設へ案内していただいた。まず、敷地への入り口は通常シャッターで締め切られており、施設全体のプライバシーがしっかりと守られるような構造となっていた。Bonn 大学の法医学教室には 5 階建ての建物が二棟あり、非常に大きな施設であった。建物内は中毒学、病理学、といった分野ごとにフロアが分かれており、研究者が日々の実務・研究を集中して行いやすいような構造となっていた。また解剖室には解剖台が二台備え付けられていたが、台の間が広く開けられており、支障なく同時に二台で解剖が行えるような作りとなっていた。

ドイツでは、死体は病死、異状死に関係なく火葬前に法医学者の死体検案を受けなければならない。死体及び死亡診断書の再検索・再審査があり、傷害事件においても法医学者が裁判所で医学的見地から意見を述べることも多く、法医学の実務において得られた情報を公衆衛生、あるいは臨床にしっかりと還元している。このような法医学の社会への貢献・還元が需要を生み、施設の充実につながっているのでは、と施設見学を通じて感じた。

### 【おわりに】

今回私は法医学教室 近藤稔和教授より、ISALM 2017 で発表をするという本当に貴重な機会を与えていただき、ポスター発表をさせていただきました。これまで国内の学会にも参加させていただきましたが、ポスター、ディスカッションともに英語でやり取りされており、国際学会ならではの雰囲気を感じることができました。そして何より壇上に上がり英語で発表したことは、何物にも代えがたい、言葉では言い表せないほどの経験となりました。この経験を生かし、将来的には自分の手で国際学会での発表の機会を掴むことができるよう努力していこうと思います。

本研修の一部は学生自主カリキュラムの助成を受けて行いました。ご支援いただき大変ありがとうございました。

最後に、大学内の施設を案内してくださった Bonn 大学の Madea 先生、そしてこの研修・研究を通じて様々な面でご指導いただきました本学法医学教室の近藤稔和 教授、木村章彦 先生、國中由美 先生、石田裕子 先生、野坂みずほ 先生、川口真理子 さん、橋爪佑示子 さんに感謝の言葉を述べさせていただきますと思います。本当にありがとうございました。

### 【参考文献】

1. Kimura A, Ishida Y, Hayashi T, Nosaka M, Kondo T (2011) Estimating time of death based on the biological clock. Int J Leg Med 125:385-91



平成29年度事業実績

保健看護学部

## 開催した委員会一覧

### 入試制度検討委員会

#### 第1回

開催日時：平成29年4月12日（水） 16：00

議 事：1. 副委員長の推薦について  
2. 平成30年度入試について

### FD委員会

#### 第1回

開催日時：平成29年4月21日（金） 13：00

議 事：1. 副委員長の選出について  
2. 平成29年度年度計画について

#### 第2回

開催日時：平成29年5月31日（水） 13：30

議 事：1. FDアンケートについて  
2. 特別講義について  
3. 平成29年度年度計画について

#### 第3回

開催日時：平成29年8月2日（水） 14：00

議 事：1. 平成29年度年度計画について  
2. FD教員相互授業参観について

#### 第4回

開催日時：平成30年2月14日（水） 14：50

議 事：1. 平成29年度のまとめについて  
2. 平成30年度に向けて

### FD委員会名簿

委 員 長一志波 充

副委員長一森岡郁晴

委 員一山口雅子、山口昌子、早川博子、堀内宏昭

## 開催したFD一覧

### 第1回

開催日時：平成29年5月24日（水）13：00

演 題：学士課程卒業者の看護実践能力獲得状況と生涯学習支援

演 者：保健看護学部 教授 岩村 龍子

参加者数：教員31名

### 第2回

開催日時：平成29年7月5日（水）13：00

演 題：科研費の使い方

演 者：研究推進課 主事 田村 麻友

参加者数：教員32名

### 第3回

開催日時：平成29年9月6日（水）13：00

演 題：HOW TO GET 科研費

演 者：保健看護学部 教授 上松右二、 研究推進課 主事 田村 麻友

参加者数：教員26名

### 第4回

開催日時：平成29年10月4日（水）13：00

演 題：クリーンルーム入室患者の適応に関する研究

演 者：保健看護学部 准教授 山田 忍

参加者数：教員33名

### 第5回

開催日時：平成29年11月1日（水）13：00

演 題：私の看護管理 より良い関係作り

演 者：保健看護学部 教授 岡本 恭子

参加者数：教員30名

### 第6回

開催日時：平成29年11月29日（水）16：30

①演 題：訪問看護ステーションにおける独居高齢者の看取りの現状と課題

演 者：保健看護学部 准教授 前馬 理恵

②演 題：対話法を用いた演習による学生のコミュニケーションスキル学習への動機づけの変化

演 者：保健看護学部 講師 坂本 由紀子

③演 題：電気加熱型タバコ製品の有害性に関する調査

演 者：大学院保健看護学研究科 川村 晃右

参加者数：教員 26 名

#### 第 7 回

開催日時：平成 29 年 12 月 6 日（水） 13：00

演 題：“出会ったことの不幸”と“出会えないことの不幸”の 2 つのキーワードでまとめる対人  
援助の問題

演 者：保健看護学部 教授 増田 匡裕

参加者数：教員 30 名

#### 第 8 回

開催日時：平成 30 年 1 月 10 日（水） 13：00

演 題：過ぎ去りし方を振りさけ見れば

演 者：保健看護学部 教授 西村 賀子

参加者数：教員 27 名

#### 第 9 回

開催日時：平成 30 年 2 月 7 日（水） 13：00

演 題：看護ケアの深化を求めて—皮膚・排泄ケア認定看護師活動に焦点をあてて—

演 者：保健看護学部 教授 藤本 由美子

参加者数：教員 30 名

#### 第 10 回

開催日時：平成 30 年 3 月 7 日（水） 13：00

演 題：故きを温ねて新しきを知る

演 者：保健看護学部 教授 内海 みよ子

参加者数：教員 37 名

## FD特別講演会一覧

### 第1回

開催日時：平成29年11月16日（木） 18：00

演 題：滋賀医科大学医学部看護学科と看護部とのユニフィケーションの実際について

演 者：滋賀医科大学 臨床看護学講座 教授 桑田 弘美 先生

参加者数：教員27名

### 第2回

開催日時：平成29年12月13日（水） 18：00

演 題：病院と大学が協働して取り組む看護師のキャリア開発

演 者：神戸大学医学部附属病院 看護実践・教育開発センター 看護師長 大原 彰子 先生

参加者数：教員32名

### 第3回

開催日時：平成30年1月31日（水） 18：00

演 題：「サイチンゲールを泣かせないで」臨床研究の進め方

演 者：京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター EBM推進部 特定教授 上嶋 健治 先生

参加者数：教員28名

## 発 行 し た 冊 子

保健看護学部では、平成 29 年度に以下の 1 冊の冊子を発行しました。

### 平成 29 年度保健看護研究Ⅱ 報告書

平成 29 年度 4 年生による保健看護研究Ⅱの報告書（22 編）です。

発行年月：平成 30 年 3 月

編 集：和歌山県立医科大学保健看護学部

発 行 者：和歌山県立医科大学保健看護学部



保健看護研究Ⅱ 報告書は、平成 16 年の 4 年制大学への移行以来、毎年刊行されています。

平成 29 年報告書は、保健看護学部第 11 期生がほぼ 1 年間かけて取り組んだ報告書・論文を取りまとめたものであります。研究の過程において、自ら感じた疑問や問題をこれまで学んだ知識を活かして論理的な思考で解決方法を考えること、あるいは自ら主体的に取り組んでいることがわかる報告書です。

## 平成29年度に取り組んだ事業

### 第9回和歌山県立医科大学保健看護学会

和歌山県立医科大学保健看護学会は、保健看護学の進歩発展と会員相互の研鑽・親睦をはかり、保健・医療の向上に貢献することを目的として設立されました。第9回 の学術大会は第1回から継続している「連携・研鑽・飛躍」をメインテーマとして、「実践と研究の融合」をサブテーマとして開催しました。

1) 日 時：平成29年8月5日（土）9：30～

2) 会 場：保健看護学部

3) 日程表： 9:30～ 開会挨拶  
9:40～12:00 一般演題発表  
12:00～13:00 交流会  
13:10～14:10 特別講演

テーマ：「臨床で働くくくった看護師にとっての、研究の持つ意味」

講 師：宮子あずさ（東京女子医科大学 大学院非常勤講師  
精神科病院訪問看護師）

14:20～15:50 シンポジウム

テーマ：実践知を高める研究への飛躍

<シンポジスト>

尾崎 裕美（和歌山県新宮保健所保健福祉課長）

田村 直子（和歌山県立医科大学附属病院看護師長）

藤本由美子（和歌山県立医科大学保健看護学部教授）

三島みどり（和歌山県立医科大学助産学専攻科）

座 長：水田真由美（和歌山県立医科大学保健看護学部教授）

16:00～16:30 総 会

16:30～ 表彰式  
閉会挨拶

4) 参加者：教員、卒業生等 計 170名



**連携  
研鑽  
飛躍**

**第9回  
和歌山県立医科大学  
保健看護学会  
実践と研究の融合**

**8.5** 平成29年 SAT.

会場・和歌山県立医科大学保健看護学部内  
学生会館 有田 幹雄 第5回大会長 宮井 信行

**特別講演**  
「臨床で働くと腹をくくった看護師にとっての、研究の持つ意味」  
講師 **宮子あずさ** 東京女子医科大学大学院非常勤講師 精神科病院訪問看護師  
「看護師という生き方」「あたたかい病院」など多くの著書を執筆中

**シンポジウム**  
「実践知を高める研究への飛躍」  
シンポジスト (左+右順)  
尾崎 裕美 和歌山県新宮保健所  
田村 直子 和歌山県立医科大学附属病院  
藤本 由美子 和歌山県立医科大学保健看護学部  
三島 みどり 和歌山県立医科大学助産学専攻科  
座長 水田 真由美 和歌山県立医科大学保健看護学部

**夕食交流会**

**6.7** 平成29年 WED. 演題(抄録) 申込締切

**7.10** 平成29年 MON. 参加・交流会 申込締切

和歌山県立医科大学ホームページに演題申込などの詳細を掲載しております。ご確認ください。  
<http://www.wakayama-med.ac.jp>  
→ 卒業生の方へ → 各種情報: 保健看護学会

和歌山県立医科大学 WAKAYAMA MEDICAL UNIVERSITY  
保健看護学会 SOCIETY OF HEALTH AND NURSING SCIENCES  
(和歌山県立医科大学保健看護学部内)

[www.wakayama-med.ac.jp/usermenu/alumni/hokenkango-gakkai/index.html](http://www.wakayama-med.ac.jp/usermenu/alumni/hokenkango-gakkai/index.html)  
和歌山県和歌山市三差580 T:041-0011 TEL 073-446-6700 FAX 073-446-6720  
E-Mail: hokenkag@wakayama-med.ac.jp



## 平成29年度学生自主カリキュラムの取組

### 乳幼児の訪問看護を学ぶ

和歌山県立医科大学 保健看護学部 3年

笠井 瀬奈 辻 裕美子

指導教員 石井 敦子

#### 1. 目的

今回の学生自主カリキュラムで、私たちは乳幼児の訪問看護について取り組んだ。この自主カリキュラムに取り組きっかけとなったのは、授業の中で東京都に乳幼児専門の訪問看護ステーションがあること、加えて和歌山県ではまだまだ乳幼児の在宅看護が発展途上であることを知ったことである。そして、母性・小児看護に関心のある者として乳幼児の在宅療養について学んでおきたいと思った。

目的としては、乳幼児の在宅看護の特徴と、その特徴を踏まえて質の高い看護を行う上で重要となることを学ぶことである。

#### 2. 乳幼児看護の現状と Bebeano の概要

1日目は、東京都新宿区にある、「Bebeano～ベビーのための訪問ステーションベビーノ～」(以降 ベビーノと記載)の事務所に行き、ベビーノについての情報や、東京の乳幼児看護の現状を学ばせていただいた。以下に学んだ内容を述べる。

ベビーノは平成22年5月5日にNICUで働いてきた看護師3人で立ち上げられた。「ベビーのため」の訪問看護ステーションということで「ベビーノ」と命名された。専門は就学前までの乳幼児である。特別な疾患以外は週3回、1回90分以内の訪問と決められている。訪問地域は23区であり、事務所から約1時間以内の場所である。保険適応は医療保険のみである。保険証を提示することにより、2割負担である。交通費やオプションに関してはステーションの設定である。ベビーノの理念は「医療ケアの有無に関わらず各ご家庭ごとに楽しい育児ができるよう支援する」というものであり、ベビーノの使命としては、①安全・安心で楽しい在宅生活を構築する②育ちをともに考える③地域に根付いた生活を考えるである。ベビーノの利用者は、医療ケアのある子どもと、医療ケアの無い子どもは半分ずつの割合である。特に医療ケアの無い子どもに対して、ベビーノでは、本当に医療ケアがなくて大丈夫かどうかの判断や、母親の精神面での支援を行っている。医療ケアの割合としては、2017年6月現在経管栄養が58人と一番多く、次いで在宅酸素、人工呼吸器、気管切開、人工肛門である。訪問開始までの流れとしては、主治医または家族の直接の連絡により相談を受ける。その後、子どもの状態に合わせ、主治医が訪問看護の指示を行う。次に、事前訪問とカンファレンスを行う。希望を得てから、看護プランの提案を行い、契約後、訪問が開始される。活動内容としては、人工呼吸器の管理・在宅酸素・経管栄養などの医療的ケア、清潔ケアなどの日常生活の援助、ご家族の精神的支援、リハビリテーション指導、育児相談、授乳介助、お留守番看護、看取り(ターミナルケア)が行われている。訪問のフィードバックでは、病院には、訪問看護報告書、計画書を、保健センターには、訪問看護情報提供書を、月1回、担当看護師が記載し、送付している。訪問開始後の連携会議では、①顔の見える連携・関係作りの大切さ②継続性のある振り返りと課題の整理③変化する成長に合わせた支援の3つを重視している。また、会議以外でも、他のステーションと同時利用をされているご家庭に対し、2つのステーション間で、1人の子に対して1つのノートを作ったり、電話をして、情報を共有している。連携会議などを行うことで、どんどん関係者が増えていく強みや、皆が同じ方向で支援を続けることの大切さが生まれるのだ。また、ベビーノでは、退院時の合同カンファレンスも大切にしていた。内容としては、訪問看護指示書・退院時サマリーをいただく、入院中の経過の説明をする、退院後の在宅生活の計画や必要となるサービスの確認、地域の関係者からの要望の確認を行う。これらは、病院の主治医、地域の保健師、そしてベビーノの看護師といった多職種で行われる。これは、今後の看護の中で、「お互いの顔が見えるこ

と」が大切という考えから生まれた取り組みである。さらに、ベビーノでは、利用者との交流会「グリーンピースの会」も行っている。この会は年2回行われ、家族が専門家の話を聞く機会や、家族同士の交流や子どもたちの発達を促すという目的がある。また、卒業後も「ベビーノカフェ」という集いがあり、卒業生の親が企画を行うなど、未長い交流が行われている。

### 3. 訪問への同行を通して学んだこと

2日目は、午前9時15分～午後6時まで、笠井、辻それぞれが、担当の訪問看護師さんに付き、それぞれ3件の都内にあるご家庭の訪問に同行させていただいた。笠井は、1件目：先天性気管狭窄症、動脈管開存症、心房中隔欠損症、喉頭軟化症、右鼠径ヘルニアの4歳男児、2件目：先天性横隔膜ヘルニア、肥厚性幽門狭窄症、胃食道逆流症、逆流性食道炎の0歳男児、3件目：滑脳症、喉頭軟化症の2歳女児、のご家庭を担当の看護師に同行し訪問させていただいた。辻は、1件目：18トリソミーの2歳女児、2件目：VACTERL連合症候群の1歳男児、3件目：脳性麻痺、出血後水頭症、慢性肺疾患の3歳男児である。

訪問では、患児のバイタルサインの測定をはじめ、それぞれの児に必要な医療的ケアの実施、補助を行うとともに、児の母親が気になっていることや最近の児の様子について聞き、それに対して看護師はその家庭にあった対処法を提案し母親と共に今後どのようにしていくのか考えている様子も見学することができた。訪問させていただいたご家庭は、日中はお母さんと子どもの2人で過ごしているご家庭、患児にきょうだいがいるご家庭、お母さん方の祖父母・曾祖父母と同居しているご家庭など、それぞれに異なった家族構成であった。家族構成が異なれば、在宅療養の在り方も異なる。病院では、なかなか出会う機会のない患児のきょうだいや祖父母・曾祖父母とも関わる機会があることが訪問看護の特徴であると教えていただいた。また、患児にきょうだいがいる家庭では、日頃、ケアを必要とする子どもの世話につきっきりになってしまい、きょうだい寂しく思うということもある。そのため、訪問看護を受けることで、きょうだいの世話を母親が出来る時間を作れるようにしているということも分かった。

子どもへのケアとしては、バイタルサイン測定や気管内吸引などの医療的なものや、沐浴、おむつ交換、遊びなど育児的なものが行われていた。訪問看護師は、気管内吸引など、子どもが少し苦痛を感じる行為の終了後、「えらいね、頑張ったね。」と声をかけていた。単に黙々とケアをやるのではなく、子どもへの配慮を行うことで、子どもの気持ちを思いやっていることが伝わった。また、人見知りが始まり訪問時に泣いてしまうことを想定して訪問に臨み、実際に泣いてしまっても冷静に対応したり、年齢的に周囲との調和が必要となってくる子どもには障がいをもっている、もっていないに関わらず、注意すべきところは母親と一緒に注意したりするなど、患児の発達段階に合わせた関わりを行い、成長発達を促していることも印象的であった。また、患児へのケアは訪問看護師が全てするのではなく、母親ができるケアは母親におこなっていただいていた。その間、訪問看護師は安全に行えているか見守り、きちんとできているということを母親に伝えていた。こうすることにより、母親の育児への自信を向上させたり、親子の関わりを増やす役割があると考えた。



母親への関わり方として、世間話を交えつつ、治療の状況が医師からどう言われているかや、訪問に來ていない時間の様子などを話していた。どのような制度を使うべきかなどの疑問に関しては、適切にアドバイスが行われていた。母親にとって、ベビーノの看護師は信頼がある様子だった。訪問するそれぞれの家庭のことを把握し、その子に合ったケアだけではなく、その家庭にもあったケア、制度を紹介していた。そこから、毎回のかかわりの大切さを知り、そこで関係を深めて、よく知ったうえでケアを提供することの大切さが分かった。また、医療的ケアを行っている間だけでなく、遊んでいるときにも「こんなことができるようになった」「身体がしっかりしてきた」などちょっとしたことでも母親にお伝えしていた。そのことは、子どもと毎日一緒にいるからこそ気付にくい子どもの成長を母親にも気付いてもらい、育児への喜びや楽しさを感じてもらうことにつながっているのだと感じた。



多職種連携については、保育士が来ているご家庭では、保育士ともお互いがケアや世話をする時の情報交換をしていた。また、リハビリテーションが必要な患児に対しては理学療法士、作業療法士、言語聴覚士といった看護師以外の職種との協力が必要となる。さらに看護師さんのお話では、部屋がごみであふれてしまっている家庭に対して、行政や保健師とも連携して仕事をしたことがあったそうだ。訪問看護は、病院のように1つの施設に様々な職種がいるような場ではないこと、そして、地域で生活する患児とその家族を対象としていることから、それぞれの職種がより責任をもって患児やその家族と向き合い、知り得た情報をより正確により多くの職種に提供することが必要となるのだと学んだ。

#### 4. まとめ

Bebeano での経験を通して、障がいを持って自宅で生活をする子どもたちとその家族の生活、そしてそれを支える訪問看護について実感として学ぶことができた。乳幼児の訪問看護においては、対象となる患児のことだけでなく患児が生活する家庭全体のことをとらえる必要性があることが特徴的であり、家庭全体のことをとらえておくことが患児やその家族に質の高い看護を提供することにつながるのだということが分かった。子どもが障がいを持ちながら、家庭で生活することには心配なことや不安なことが伴うが、その悩みよりも家族と一緒に家で生活できることの喜びを強く感じられるようにサポートしていくことが訪問看護の大きな役割の一つである。私たちは、今回の自主カリキュラムで乳幼児の訪問看護について学んだものとして、これからの乳幼児医療に様々な形で貢献していきたいと思う。

# 三葛の子どもたちを対象とした健康教室

保健看護学部 小倉理沙 呉羽陵 坂口瑠衣子 坂本苑香 櫻井貫太 佐藤美月  
神藤 紗也子 新山智尋 林晶斗 福嶋千晴 山川愛由  
担当教員 内海みよ子

はじめに

私たちは、2018年3月29日(金)に三葛の子どもたちを対象に「みんなで楽しく健康づくり」というテーマのもとで健康教室を開催した。日常で行っている食事や、運動、歯磨きや手洗いがどのように健康に繋がっているのかについて子どもたち自身に考えてもらい、今後も家族や友達など周りの人と楽しく健康づくりに取り組んでもらう機会となるように実施した。

## 1. 目的

- ・クイズや、歯磨き・手洗い指導や料理を通じて、健康な体作りの大切さに気づいてもらう。
- ・学生たちとともに健康づくりに取り組むことで、自分で健康をつくることを知ってもらい、今後少しでも自分で健康を意識した行動ができることを目指す。
- ・学生が子どもとのかかわり方や子どもの健康について学ぶ機会をもつ。
- ・大学のある地域で暮らす子どもたちと学生が交流する。

## 2. 開催日程

日時：2018年3月29日(金)

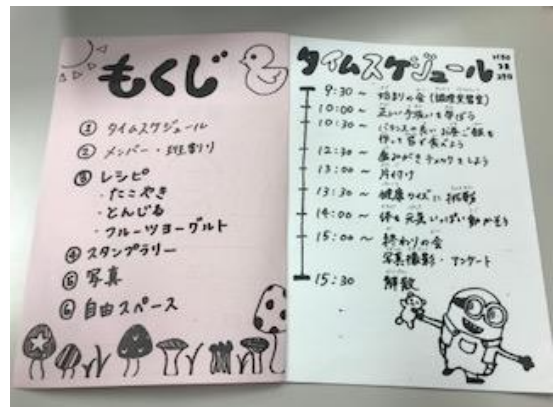
場所：保健看護学部

～タイムスケジュール～

- 09:30～ 始まりの会(調理実習室)  
10:00～ 正しい手洗いを学ぼう！  
10:30～ バランスのいいお昼ご飯を作ってみなで食べよう！！  
12:30～ 歯磨きチェックをしよう！！  
13:00～ 片づけ  
13:30～ 健康クイズに挑戦・写真撮影  
14:00～ 体を元気いっぱい動かそう  
15:00～ 終わりの会・アンケート  
15:30～ 解散

## 3. 参加者

小学生 17人 大学生 9人 内海先生



## 4. 開催の流れ

- 1月：昨年度の振り返り 目的決定
- 2月：三葛地区子ども会長さんに連絡 日程調整 申込用紙配布
- 3月：申込用紙回収 保険の申し込み(名簿作成) 参加者の名札作成  
各担当(運動・健康・クイズ・料理)に分かれて、模造紙・プラ板等の作成  
メニュー決定 しおりの作成 試作



前日：食材の買い出し 計量 試食会 体育館準備 掃除

当日：食材の振り分け

4月：写真としおりの配布（御礼文を添えて）

## 5. 開催にあたり気を付けること

- ・子どもの安全を第一に考え、主体的な行動を尊重し、子どもに学生を常に配置して配布物を管理することで作業中の危険防止に配慮した。
- ・前年度の反省点を生かし、歯磨きは学生を配置して子ども一人一人に対して丁寧に教えることに努めた。
- ・保護者の方々に合わせて、終了時刻に終了できるようにその場で臨機応変に、内容や時間の変更を行った。
- ・当日学んだ内容や思い出が形として残るように、しおりを作成した。
- ・申し込み用紙に、食物アレルギーの欄と保護者の連絡先を設けた。
- ・包丁、コンロを使用する子どものそばには必ず一人ずつ学生が付く体制をとった。



## 6. 考察

### 1) 手洗い

調理前に手洗いを全員で行った。手洗いの実施はわかりやすいよう絵を用いて、歌を歌いながら正しく行えるよう指導した。実際にみんなで歌いながら実施することで覚えてもらいやすくなると思い、生活の中でも取り入れてもらえるよう工夫した。しかし、実際に歌いながら手洗いをする子どもが少なかったもので、1人ずつ歌いながら手洗いできるように見届けることが必要であると考えた。

さらに、各グループのシンクにハンドソープを設置したことによって、水洗いではなく石鹸を用いて手洗いすることにより、清潔を保つことやその意味を意識させることができたのではないかと考えた。

### 2) 調理

学校給食の学年別必須カロリー表などを用いて、おいしくて健康にも良い、子どもの能力に適した工程数の献立を作成した。また、仲間と協力して楽しんで作れることも重視した。

〔献立〕

#### ・たこ焼き

生地（たこ焼き粉、水、卵）

具材（たこ、ウインナー、チーズ）

トッピング（紅ショウガ、ネギ、天かす、たこ焼きソース、マヨネーズ、ポン酢、醤油）

#### ・豚汁（味噌、本だし、水、油、人参、大根、豚バラ、こんにゃく、さつまいも、白菜）

#### ・フルーツヨーグルト（加糖ヨーグルト、いちご）



子どもたちは、調理がスムーズにいくように自分に与えられた役割を果たし、また友達のことを手伝うなどの様子が見受けられた。さらに、片づけにもすすんで取り組むなど調理から片づけまで全体を通して主体的に取り組んでいた。アレルギーを持つ子どもがいなかったため、使う食材に制限がなかったため、さまざまな食材を献立に取り入れることができた。しかし、チーズや紅ショウガ、ネギなどは好き嫌いが分かれ、残す子やはじめから食べない子もいた。その子たちに、どのくらい食べるように勧めるのかなどの食育のやり方の難しさを感じた。参加人数が多く、見回る学生が少なかったため、事前に学生の担当を決め火元と包丁を使う子どもに必ずつくことで、安全面に配慮できた。

### 3) 歯磨き

食事の後、歯磨きを行った。どこに汚れがたまりやすいかを説明し、自宅でも毎日丁寧に歯磨きできるように指導した。鏡を用意したことで、普段は簡単にしか磨かないという子も積極的に鏡と向き合い、熱心に歯磨きをする姿が見られた。

### 4) クイズ

クイズは去年と同様に調理実習室で実施した。チームで話をして意見を出し合い、メンバー全員が納得した1つの答えを導き出すために、グループごとに分かれて行った。クイズは、子供たちの生活に近く、新たな発見となるような内容になるよう考えた。また、学生は、チームの中で意見が分かれたときに、少数派の意見にも耳を傾け、ただ単に多数決にならないようきちんと話し合いをした上で、答えが出せるような介入をした。さらに、○×問題や選択問題にすることで、低学年も考えやすく、みんなが興味を持って参加できるよう工夫した。学生たちが知らない、子供たちが学校で習得した知識を教えてくれるなど、子供の知識の多さや発想の豊かさに感心させられ、自分たちも共に学べるよい機会となった。

改善点としては、クイズの中には、特に低学年にとって少し難しい問題も含まれていたことが挙げられる。そのため、次回はもっと問題の意味を理解しやすい問題にするべきであると思う。

アンケート結果からもわかるように、クイズの内容に関して、「知らなかった」や「驚いた」という反応もあったので、子供たち自身が、健康について周りのお友達や学生たちと楽しく考えながら学ぶことができるよいきっかけとなった。

クイズの内容としては、以下のようなものである。

- ・一番砂糖が含まれている飲み物はどれか。
- ・人間の体の中で、最初に目覚めるのはどこか。
- ・ポテトチップスを一袋を体重 40 kgの人が食べると、食べた分のエネルギーを消費のためどれだけ運動しないといけないのか。
- ・永久歯が作られるのは、お母さんのお腹にいるときであるか、そうでないか。



## 5) 運動

今年は体育館でコーン取りと怪獣・ヒーローゲームを行った。コーン取りとは、2チームに分かれて、それぞれのチームの陣地にコーンを3つずつ用意する。各チームで出場者を決め、出場者は自分の陣地にあるコーンを守りながら、相手のコーンを取り合う。最終的にコーンを多く持っていた方が勝ちとなる遊びである。怪獣・ヒーローゲームは、怪獣役とヒーロー役に分かれる。コートの中にコーンを並べ、怪獣役はそのコーンを倒していきヒーロー役は倒れているコーンを起こしていく。最終的に起きているコーンと倒れているコーンの数を比べて、数が多かったほうが勝ちとなるゲームである。この遊びを選択したのは、チーム内で協力して行える運動にすることでチームワークの重要性や協調性の大切さを知ってもらうのと同時に、運動することの面白さを感じてもらいたいと考えたからである。子どもたちにゲームを説明するにあたり、学生が実際に行ってルールや注意事項などを伝えた。実際に行いながら説明することで、子どもたちがその場面を想定しやすくなり、理解してもらいやすくなった。

去年も同じようなものを実施していたため、経験者が手本となる動きをしてくれることで全員の理解がスムーズに行えたので、みんなで楽しく実施することができた。しかし、学年や性別を考慮してチーム分けを行ったが、個人の能力によりチームの強さに多少の差が生じたが、学生で調節することで対応することができた。これを改善するために、事前に参加を希望する子どもに対して、「普段どのような運動をするか、何か習い事をしているか」のアンケートを実施する必要があると考えた。運動の合間にはこまめな水分補給を促すことで運動中の水分補給の重要性について感じてもらうことができた。

# 「流しそうめん交流会」

保健看護学部 泉順己 苔口彩乃 小西偲乃 田原和佳 辻本楓 中谷晏菜 前田有里  
小倉理沙 坂本苑香 坂口瑠依子 新山智尋  
担当教員：内海みよ子先生

はじめに

春の健康教室に加えて今回は夏に流しそうめん体験での交流会を実施することにした。

## 1.目的

春だけでなく夏も行うことでより地域との交流や、学年間の交流を促すことを図った。また、幼いころの体験は今の自分を作ってくれと思い行った。大人になったときに懐かしんでもらえるような、そして、次の世代の子どもを思いやり、繋げてくれるような体験を提供したいと思い今回実施に至った。

## 2.開催日程

日時：平成29年8月25日(金)

場所：三葛キャンパス

## 3.実施内容

①流しそうめんの体験

②体育館内でのレクリエーション

## 4.開催にあたり気を付けること

流しそうめんの台作りから子供たちが安全に取り組める範囲で参加してもらった。流しそうめんの台は、3台用意し、高さや長さを工夫し、全員が楽しめるよう配慮した。トッピングやそうめん以外にも変わり種を用意して、飽きない工夫をした。熱中症のリスクを考え、日陰で実施し、スポーツドリンクとお茶は常に用意して、水分補給や休憩をこまめにとった。

## 5.よかったこと

まず、子ども同士の協力がみられた点である。体験したことある人は、初体験の子どもにどうすればそうめんが流れてきやすいかななどを教えあったりした。そして、準備から片づけまで子どもたちに積極的に取り組んでもらい、子ども同士で注意しながら実施できた。また、自分たちで作上げたものでお昼を食べたり、水遊びをしたりしたので、達成感も得られたと思った。このようなことから、楽しかった、来年もやりたいねという声が多数あり、子どもたちにとって夏の印象的な思い出を作ることができたと感じた。

## 6.反省点

まず、着替えの用意、更衣室の用意が事前にできていなかったことである。これに対しては、実施する時期に応じて準備物品再度確認していく必要があると感じた。また、食べ終わった後の活動を決めていなかったこともあげられた。この点においては、この流しそうめん体験をより印象付け、これらの経験を通して学びへ繋がるような計画を立てる必要がある。例えば、普段食べているもの、遊んでいることが工夫や手間次第でより楽しめることや手間をかけることの大切さである。





## 7.考察

今回地域交流と、日頃体験できない体験をしてもらうということを目的に流しそうめん体験を実施した。子どもと学生間の交流、さらには保護者の方々の協力を得ることから地域交流を促すことができたと思う。また、近年子どもの遊び場の減少や、習い事の増加などにより、外遊びも減っている。子どもがのびのびと遊べる場の提供を行えるという意味でも、今後も継続していくべきであると考えている。また、今回の実施を通して子どもの好奇心に着目した計画が重要であると学んだ。現在便利な世の中で、私たちも知らず知らずのうちに考えることやひらめきが減っているように思う。子どもたちに、好奇心をかきたて、自ら考える機会を増やせるような体験をしてもらうことで、子供のころから発想力や思考力を伸ばすことが出来るようになる。流しそうめん体験のように、既存の物を使わず、子どもたち自身に準備から取り組んでもらって、どう遊ぶか考えてもらうような体験をこれからも推進していけたらいいと思った。



# 哲西町の地域医療について学ぶ

和歌山県立医科大学 保健看護学部 2 年  
浦佑歩 叶迫里穂  
指導教員 岡本光代

## 1. はじめに

私たちは、平成 29 年 3 月に行われた岡山県哲西町での特別実習に参加し、地域医療においては他職種と連携してチーム医療を行うことの重要性と、住民と医療者の親密な関係によって、かつて無医町だった哲西町の地域医療が発展してきたことを学んだ。私たちは、地域医療に強く関心を持つとともに、哲西町のような診療所で働く看護師の役割をもっと学びたいと思った。そこで、地域医療の先進地である哲西町での医療の実験を体験することで、地域で暮らす人々に密着した医療および、診療所における看護師の役割についての理解を深めることを目的とする。

## 2. 実習内容

岡山県新見市哲西町診療所を拠点に、医師や看護師に同行し、診療・看護の実験を体験する。また、哲西町民と交流し、暮らしや生活についてインタビューする。

<スケジュール>

|    | 8 月 22 日 (火) | 8 月 23 日 (水)                                            | 8 月 24 日 (木)                           | 8 月 25 日 (金)              |
|----|--------------|---------------------------------------------------------|----------------------------------------|---------------------------|
| 午前 |              | 診療所で血圧測定、<br>CT や 3D 画像、胃カメラファイバー<br>の見学<br>看護師業務の見学、体験 |                                        | ミニデイサービスに参加               |
| 午後 | 哲西町内<br>地区踏査 | 訪問診療同行<br>学生カンファレンス                                     | 訪問診療同行<br>保健医療福祉<br>担当者会議<br>学生カンファレンス | 訪問診療<br>訪問看護<br>学生カンファレンス |

## 3. 哲西町の概要

哲西町は、平成 17 年 3 月、1 市 4 町が合併して新見市となった。新見市は岡山県西北端にあり、哲西町はその新見市の西端に位置する。哲西町の人口は平成 27 年において 2,536 人、高齢化率 43.5%、面積は 7,629ha となっている。平成 13 年、「行政サービスの中心に医療を」という住民の希望を実現する、全国的にも全く新しいタイプの複合施設「きらめき広場・哲西」を新設した（写真 1）。きらめき広場は役場庁舎・診療所・歯科診療所・保健福祉センター・生涯学習センター・図書館・文化ホールがワンフロアでの回廊による機能構成で来訪者や住民、職員が自由に行き来しやすい構造となっている。この広場ができたため、1 年 2 か月続いた無医町が解消された。きらめき広場は、従来、連携が困難であった行政・保健・医療・福祉・教育・文化などの各種機関を、一つ屋根の下に集約することができた。また、きらめき広場の運営は、住民主体の NPO により行われ、住民・行政・医療の橋渡しがスムーズに行われている。

診療所が役場の中に設置されているのは全国的にも珍しい。これは、「町民が一番望むものを行政サービスの中心におくのだ」という当時の町の考えによるものである。



写真1 きらめき広場

#### 4. 哲西町の医療

哲西町診療所は町内唯一の医療機関として、歯科を含めあらゆる科の一次医療を24時間体制で行っている。スタッフは医師2人、看護師4人（うち一人は産休）、事務3人で、年間約1万人の外来患者を診療している。ヘルカルCT、胃・大腸電子内視鏡など高度医療機器を設置しているため、適切な診断が可能となり、早期がんの発見につながっている（写真2）。また、病院での受診が必要と判断した患者さんのために、月30～40例の紹介状を書くなど、病院との情報交換を大切にし、病診連携にも努めている。さらに、訪問看護や往診を行い、在宅での終末期医療への対応や、特別養護老人ホームの嘱託医療機関としての役割も担っている。



写真2 大病院に負けない高度医療機器（CT）

月1回開催される保健医療福祉担当者会議（地域ケア会議）では、保健師やケアマネージャー、民生委員の他に、医師、歯科医師、看護師も参加して、個々のケースを検討し情報の共有化を図りケアの方針や方向性を話し合っている。

#### 5. 実習を通して学んだこと

##### 1) 地区踏査

哲西町の地形は、周囲を山で囲まれた盆地である。きらめき広場は哲西町の中心部にあり、近隣には中学校やスーパー、グラウンド、体育館などがあった。田んぼなどが整備されており、空き地が見られなかったことも印象に残った。また、広島とつながる高速道路が近くにあるため、交通量が多く、きらめき広場に隣接する道の駅鯉が窪に立ち寄る観光客が見られた。そして、西の尾瀬といわれている国の天然記念物「鯉ヶ窪湿性植物群落」があり、観光地としての一面も感じられた。このように中心部は利便性が高いことが分かった。



写真3 整備された鯉ヶ窪湿原

一方、中心部から離れた家が四件しかないような過疎地域には、店や体育館などの施設が見られなかった。中心部のスーパーが三軒しかなく、過疎地域にはスーパーが移動販売をしてくれる。そして、哲西町の中心地から隣の広島県まで車で十分程度であるため、車を持っている人は広島県のスーパーで買い物をしている。



この地区踏査を通して、同じ町であっても地区によって利便性の違いが大きいことが感じられた。それぞれの地区で生活が異なることを十分に理解し、医療を受けるための不公平をなくす必要がある。

## 2)診療所の役割

診療所の待ち合いやミニデイサービスで住民にお話を伺った（写真 4,5）。診療所について、「町に診療所があるから安心できる。」「近くで見てももらえるから楽。」と話してくれる人が多かった。また、「他の病院に紹介してもらうときは自分（住民）が望む病院に紹介してもらえるから助かる。」と話してくれた人もいた。遠くの病院に行かなくても診療所で検診を定期的に受けられるため、病気を見つけやすいことも分かった。24 時間いつでも医師がいて、専門外の科でも見てくれることが、住民の安心に繋がっているようであった。このことから、いつでも、どんなことでも気軽に相談できるような診療所があることにより、住民は安心して生活することができ、生活の質が向上することが分かった。

哲西診療所のスタッフによると、哲西町の住民は、医療者に医療を求めるだけでなく、診療所に花を持って来てくれたり、「ありがとう。」と声をかけてくれたりすることが多く、住民に支えてもらっていると感じるそうだ。哲西町では、医療者が住民を支えるだけでなく、住民も医療者を支えていることが分かった。

また、診療所での実習の際に、認知症の検査である長谷川式テストと CT 検査の見学を行った。そこでは、看護師が一人ひとりに対して、丁寧に説明をしながらテストを行う様子や、医師が CT 検査の結果について本人と家族に対して丁寧に説明している様子が見られた。また、本人と家族への説明では、地域の集会所で行われているミニデイサービスへの参加を進め、できるだけ人と関わったり、外に出て脳に刺激を与えたりすることの重要性などを話していた。このことから、診療所から福祉サービスにつなげる職種間の連携によって、住民の健康が保たれていると考える。

また、薬や検査の説明は、必ず一人ひとりに対して丁寧に行い、次の来院日を患者と必ず相談してから決めていた。もし、患者の予定（デイサービスへの参加や畑仕事など）と重なっている場合、できる限り調整していた。また、バスで診療所に来る患者に対しては、ちょうど良いバスの時間で帰れるように調整し、医療だけではなく、その人の生活に不便ができるだけ出ないように対応していた。このことより、哲西での医療は住民の生活が第一優先であると感じた。また、哲西では、病院を選ぶことができないからこそ、住民にとって最良の医療を行わなければならないという考えが診療所全体にあり、住民の健康のためには、診察を断らないという姿勢に繋がっていた。また、地域によって住民の生活状況は異なり、治療の目的や方法など患者によって、病気や治療に対する理解も様々であるため、医療だけでは住民の健康は守れないことも分かった。しかも、子供は離れて住んでいて高齢者だけの家も多い。このような状況では、健康を維持する生活や薬の管理が難しく、孤立してしまう場合もある。これらを防ぐためには、医療者は他職種や家族と協力して、その人の生活の支援をしなければならない。また、医療者は、患者の認知度や身体能力をアセスメントして、必要な社会資源を提案することも必要である。このように、地域における医療は、病気だけではなく、他職種や周りの人達と連携して、患者の生活を支えることも一つの大きな役割であると分かった。



写真 4 住民と話す学生



写真 5 診療所の待合

### 3)看護師の役割

哲西町診療所での看護師の業務は、診療の補助以外に、医師の指示の元、薬の調剤や検査、診療所の掃除など多岐に渡る。限られた医療スタッフのなかで、できる限りのことを行う必要があるからである。看護師は様々な業務を通して、患者の健康面だけでなく生活面すべてを把握することができるため、住民が地域で健康に暮らすことを身近で支える役割が発揮される。例えば、薬を自分で管理して服用することが難しいと思われる人には、薬袋の文字を大きめに書き、一回に処方する薬の量を少なくして月に2回来院してもらうといった工夫をしていた。服用するタイミングが変わる場合は赤ペンで分かりやすく表記したり、訪問診療や訪問看護の時にカレンダーに薬を付けたりして、薬の飲み間違いや飲み忘れの防止を行っていた。

当初、私たちは、薬剤師や検査技師が行う業務を看護師が行うことに疑問を感じていた。しかし、調剤業務や検査業務を行うことで、患者の体の状態をより詳しく診ることができ、適切な診療と患者の生活に適した生活指導ができると感じた。ただ、調剤業務を行う場合は、医師の指示の元に行い、基本的な調剤についての知識を習得しておく必要がある。例えば、薬局であまり使用されない薬を処方する場合や、複数の薬を処方する際の飲み合わせに注意が必要な場合がある。また、レントゲン検査などにおいては、患者によっては腰が曲がっているなど姿勢を適切に保持できない場合がある。看護師でも対応できるが、慣れないため時間がかかってしまい、患者を不安にさせてしまう。このように、看護師としての業務を行いながら専門外の業務を行うことは、看護師の仕事量が増え、負担や責任が大きくなる。これにより、医療ミスなどのリスクが高くなるため、ダブルチェックを徹底すると共に、疑問や不安があれば医療者同士で相談して医療ミスを防ぐ必要があると考える。このように、診療所の看護師の業務には、大変な点もあるが、オールマイティーな知識や技術が身に付き、スキルアップできる良い点もあると学んだ。また、診療所では、大病院よりもより、生活に近い看護ができるため、住民の力になっているとやりがいを感じることができる。

### 4)訪問診療・訪問看護

二日目から四日目の午後には、訪問診療や訪問看護に同行させてもらった。その際に私たちは、バイタルサインの測定、診療の補助・見学、飲水や入浴の指導などを行った。バイタルサインの測定では、寝たきりで腕が上がらない患者の体温測定が難しかった。血圧は上手く巻けず、患者の家族さんに教えてもらう形になったしまった。確かな知識と技術がないと、患者と家族に不安や不信感を与えてしまい、信頼関係を築けないことが分かった。このことから、学校や病院実習では比較的バイタルサイン測定をしやすい状況で行っていることに気付いた。患者によっては測定が困難な場合もあることを想定して、関節拘縮がある場合はどうするかなど、日頃から様々な状況を考えて演習する必要があると感じた。

訪問診療は、病院でなく患者の家で診療するため、十分な医療器具がない状況で、治療を行わなければならない。私たちが同行させてもらった家庭では、点滴のスタンドをハンガーで代用していた。このように在宅での医療や看護は、病院にあるものがそろっていない場合もあるため、柔軟に代用できるものを考える必要があると感じた。

また、訪問診療では夫婦ともに認知症で、夫が入浴を拒む住民の家にも同行させてもらった。入浴介助はホームヘルパーの仕事でもできるが、看護師が入浴介助を行っていた。その理由の一つとして、時間の問題がある。ホームヘルパーの利用時間は限られていて、家事、入浴などすべてを時間内に終わらせるのは難しい。その上、対象者は入浴を拒み不衛生になるため、肺炎や感染症のリスクも高くなる。それを防ぐために、診療所の看護師は本来の役割以外にもできることは行い、多職種間でカバーし合って、対象者にケアを提供していることがよく分かった。また、医療を提供する以前に、清潔や食など生活を整えることも重要だと学んだ。

家族によって介護の方法は様々であったが、環境の整っている家のほうが患者には安楽であることが分かった。少しでも看護しやすいように住宅改修の提案や説得をすることも医療者の役割だということを学んだ。

## 5)保健医療福祉担当者会議

この会議では、気になる住民の支援について検討が行われていた。診療所の医師や看護師だけでなく、地域包括支援センター、行政、民生委員などの様々な職種が参加するため、一人の住民を様々な角度から見ることができる。私たちが参加した会議では、地域包括支援センターの方が、ある住民の義歯の件について、歯科医師に「また、協力お願いします。」と言っていた。このように、電話での連絡だけでなく、直接顔を見て連携を進められるため、連携がより円滑になる上に、信頼関係を築きやすくなると感じた。また、一つの職種でできない支援を他の職種に補ってもらうことが可能になるため、住民のためにできることも広がる。

会議の最後に、新しい市の制度について市の職員が説明していたことが印象的であった。それは、日常生活自立支援事業の案内で、認知症高齢者や知的障害者などの金銭管理に不安のある人が対象となっている制度である。この説明を聞き、他の参加者が「まず、この事業の内容を理解することも難しいのではないか？」と質問していた。住民の身近で関わっている人が住民の立場になって質問等を行うことで、制度を住民側の感じ方や求めるものに近づけていくことが可能となる。また、住民の生活に関わる医療者や保健師たちが、生活サービスの1つ1つを理解しておくことが大切だと感じた。

このように、会議での連携は重要であるが、地域住民のことにについてあらゆる職種が情報を共有する上では、個人情報保護の意識をより一層持ち、外部に漏らさないようにすることが求められる。

## 6)ミニデイサービス

哲西町では町を11地区に分け、それぞれの地区で月に一度住民同士で集まるミニデイサービスがある（写真6,7）。ミニデイサービスでは、皆で運動をしたり、住民同士でお話をしたり、看護師が無償で血圧を測定したりしていた。私たちは二つの地区のミニデイサービスに参加し、血圧測定や住民の皆さんと一緒に生活に取り入れられる体操を一緒に行い、住民とコミュニケーションをとった。A地区では男性の参加が他の地区に比べて多いこと、皆で昼食後はゲームをして遊んでいて住民同士のつながりが深いことを知った。それに対して、B地区は哲西の中心部からは離れたところにあり、一回の参加は三十人程度と多かった。このように、地区によって参加の状況や住民同士の関わりが異なることが分かった。また、A地区とB地区では生活の利便性も異なり、B地区の方が買い物や通院が大変だと言う人が多かった。



写真6 ミニデイサービスの様子

地域住民との交流では生活や住民同士のつながりについて教えてもらった。地域に関することから、いつからその地域に住んでいるのか、家族構成や普段の交通手段や生活する上で困っていることまで、医療がメインとなる診療所では時間的にも聞くことが難しいこともミニデイサービスでは聞くことができた。そして、住民同士のつながりという点では、ミニデイサービスにいつも来ている人が来ない時は、参加者がミニデイサービスの帰りに様子を見に行くなどをして、住民同士で支える意識が高いと感じた。また、ミニデイサービスに参加したり、病院に通ったりすることの難しい住民がいることが分かったが、その住民の現状は診療所にいる医療者には見えにくいことを知ることができた。そのため、参加できない、病院に行けない住民の対応や往診の必要があると感じた。

NPOの人や看護師、保健師が地域に出向くことで、その地区の住民が何に困っていて、何に関心を持っているのか知ることができる。その情報を地域ケア会議などで共有することで、住民のニーズに応じていくことができるし、住民の信頼を得ながら、住民と医療、福祉、行政がつながって地域を良い方向にもっていきけるのだと感じた。





写真7 参加者の運動の様子

ミニデイサービスを行うことの利点は、月に一度ではあるが、人と関わり運動することで、生活のメリハリができ、新しい刺激を受けられることだ。また、住民は月に1度は血圧を測定し、血圧手帳をつけていた。毎月血圧を測定しているため、自分の血圧を把握し、血圧の変化に気づくことができる。加えて、血圧手帳にこれまでの血圧の経過があるため、病院や診療所での診察が正確かつスムーズに行えることが分かった。ミニデイサービスで行われる体操は、新見市健康推進課の職員が講師となり行っていて、市の協力も大きいことが分かった。具体的な内容としては、転倒予防を目的に、ラジオ体操や足腰の筋力やバランスを維持するための運動をした。その時に、運動が難しい人や腰や足が悪い人にも、座りながら

でも効果があることや、自分のペースで良いことなど声掛けをして、無理をせず自分の体に適した運動を行いやすいようにしていた。また、その後に写真7のように歩きながら腕を動かしたり、脳の運動も取り入れたりしながら、転倒予防や認知症予防につなげていた。

## まとめ

私たちが今回の実習で学んだことは大きく分けて4つある。1つ目は、病院と診療所の違いだ。大学病院は主に病気を診て、病気を治す役割を持っている。一方、診療所は地域で生活する住民の健康を支える役割を持つ。地域で生活し続けることを望む人は多く、診療所で見られた生活を優先させながら健康を守ることのできる医療がこれからより必要になってくる。また、現在は、入院日数の短縮化のため、治療のめどが立つと在宅医療に移行するため、地域での診療が求められる。そのため、病院で働く医療者は、病院から地域に医療をスムーズに移行できるようにサポートしなければならない。また、退院予定のある患者と関わる時には、患者の地域での生活をイメージしてサポートし、病院から地域だけでなく、地域から病院にもスムーズに移行できるようにする。そして、ミニデイサービス住民が記録していた血圧手帳のように、日ごろから健康状態を住民自身が把握できるような工夫が必要だと感じた。

2つ目は、哲西町の医療の対象には高齢者が多いことだ。また、これは哲西町に限らず、高齢化が進んでいる我が国ではどの地域にも言えることである。認知症高齢者の人も増加している中、独居や認知症の夫婦だけで暮らしている家庭だけで自立した生活を送るのは難しいと感じた。哲西町診療所では、一人ひとりの性格や生活、家庭環境などの特性を考慮し、分かりやすく説明したり薬や検査の方法を工夫したりすることが重要であった。また、医療者は、福祉や遠方の家族と連絡をとって協力しながら、医療以外の視点も持って支援していく必要があると考えられる。

3つ目は、地域による医療格差だ。国民は皆、同じ医療費を払っているが、進んだ医療は都市部に集中し、地方に住む人は受けにくい傾向にある。例えば、ほかの地域にはCTなど高度医療機器を持たない診療所もある。しかし、哲西町診療所は、CTや内視鏡検査などを用いた医療を提供することができる。国民はどこに住んでいても同じレベルの医療を受ける権利を有することは言うまでもない。よって、地域医療を考える際には、すべての国民が平等な医療を受けるための視点が大切だと感じた。

4つ目は、住民を多角的に知ることの重要性だ。そのためには、診療所での受診時だけ患者を診るのではなく、ミニデイサービスなどの地域のイベントに医療者や役場の職員が参加し、住民の生活について知り、理解する。また、得た情報を多職種で共有し、問題が起こらないよう、予防的に地域で住民に関わっていく必要がある。そうすることで、住民の生活を捉えた医療を提供でき、住民にとって医療を生活の一部にできると考えられる。

これらのことを、まずは医療者が理解し、地域医療の重要性を医療者の中で広げる。そして、それを医療者から住民に広げることにより、地域医療の理解が増し、哲西町のような住民とともに地域医療を作り、生活を支える医療が展開できるようになると考えられる。

参考文献

- ・国土計画協会、「小さな拠点」きらめき広場・哲西の取組、人と国土 21、2010,5、p11
- ・全国国民健康保険検診療施設協議会、地域包括ケアのなかでの健康づくり、地域医療、2007,9、p36~39



# 在宅での看取りにおける家族の体験と 訪問看護師による支援を学ぶ

和歌山県立医科大学 保健看護学部 3 年  
小松綾実 豊田満莉安 濱田和真 前田美紅  
指導教員 岡本光代先生 米島望先生

## 1. はじめに

私たちは、在宅に関する授業で、多くの人は住み慣れた自宅で人生の終焉を迎えることを希望していると学んだ。また、超高齢社会を迎え、医療機関や介護保険施設などの受け入れにも限界が生じることが予測されている。そのため、在宅医療体制の整備が進められている。しかし、実際に在宅で最期を迎えることができた人は、3 割に過ぎないことが明らかにされている。そこで、私たちは、在宅での看取りが進まない要因や背景と、看護師として在宅での看取りにどのように関わることができるのか、深く学びたいと思った。

## 2. 目的

訪問看護師は、在宅での看取りに対してどのように関わっているか、また、療養者の最期の時をよりよいものにするために、実際にどのような工夫や配慮がなされているかを学ぶ。また、家族の在宅での看取りの体験を明らかにし、訪問看護師に求められる支援について検討する。

## 3. 方法

有田市立病院訪問看護ステーションで4日間体験実習し、在宅看護の実際を訪問看護師、ご家族、それぞれの視点から学ぶ。

- 1) 訪問看護師の訪問に同行し、療養生活や在宅看護の実際の様子を見学する。
- 2) 訪問看護師へのインタビュー
- 3) 実際に看取りを体験されたご家族へのインタビュー

実習期間は平成29年8月の4日間で、下記の日程である。

- 1日目：オリエンテーション・訪問看護師に同行し、ケアを見学
- 2日目：訪問看護師に同行し、ケアを見学・訪問看護師へのインタビュー
- 3日目：看取りを経験されたご家族へのインタビュー
- 4日目：看取りを経験されたご家族へのインタビュー

## 4. 研修での学び

### 1) 有田市立訪問看護ステーションの概要

有田市立病院訪問看護ステーションは、平成19年に開設し、訪問看護師2名、看護助手1名の3名で開始した。また、平成27年度には、訪問リハビリ部門を設立した。現在のスタッフは、常勤訪問看護師5名、非常勤訪問看護師5名、常勤セラピスト2名、事務1名である。

営業時間は、月～金、土日祝日は午前中まで対応している。

24時間体制であり、地元密着を掲げ、山間地の僻地まで訪問エリアとしている。有田市立病院と連携している。特に、入退院時の連携が取りやすく、継続看護が円滑にできる。



有田市立病院訪問看護ステーションの外観

## 2) 訪問看護ステーションでの見学

### (1) 訪問看護師へのインタビューを通じて学んだこと

在宅での看取りを推進するために必要なこと、看護の工夫、姿勢、大切にしている事を学ぶことが出来た。以下に記す。

- ・自分がどのような看護をしたいかという看護観を持つことが一番重要である。
- ・家にあるもので対応するため個別性が求められる。
- ・在宅療養期間は人それぞれなので、その人の状況に応じた信頼の築き方をする。そのためにも、ご家族の協力が必要である。
- ・ご臨終が近づいた時の対処法や臨終の確認方法を記載した看取りのパンフレットを、特に看取りの場合、在宅での療養期間が短いこともあるため、入院中の早期から療養者・家族と関わってゆく。タイミングをみて家族に配付し、死の準備教育を行うことで、最期まで在宅で看取ることができるように支援する。
- ・看取りは、看護師が手技を身に着けて行なうものではなく、家族が行う者である。そのため、人として療養者・家族と向き合い、どう最期の時を過ごしたいかという気持ちが大切にする。
- ・療養者とご家族の生活の質の向上を一番に考えている。
- ・病院勤務の時には業務に追われていたが、訪問看護師は最期にいい人生だったと療養者やご家族共に思ってもらえるように関わる。
- ・家族への経済的負担を考えつつ、療養者にとって安楽な方法を考えるようにしている。
- ・療養者やご家族を支えているつもりが実は支えられていることが多い。
- ・在宅療養はご家族の協力が必須であり、日々信頼関係を築くことを意識している。
- ・訪問看護ステーション内で行われている工夫を記載したスマイル通信を作成し、在宅療養を行う前に入院していた病棟へのフィードバックを行う。
- ・看取りのパンフレットを配布するだけでなく、一緒に見ながら、かみ砕いて説明することでご家族が本当に理解できるようにする。
- ・夜間の急変での呼び出しにも対応しているが、昼間の訪問時に今後こういう症状が現れたらこのようにしてくださいなどの情報を伝えることで、夜間に家族さんが困ることを防いでいる。
- ・夜間の呼び出しがあったら看護師の伝達不足だと意識しながら仕事をしている。

### ③連携

- ・医療従事者や地域のソーシャルワーカーとの連携が重要である

- ・診療所の主治医が在宅での看取りに消極的だと、より良い在宅療養を提供することができないため、チーム医療が重要である
- ・訪問看護師は、基本的には一人で訪問を行うため、在宅での看護を、もし何か問題が起きると苦情が直接来るからこそ、スタッフ間の報・連・相や協力が大切である。

## （２）訪問看護師に同行して学んだこと

### ①連携

- ・在宅療養においてケアを提供するのは訪問看護師であるが、医師や薬剤師、地域のケアマネージャーといった多職種が連携し療養者・ご家族を多方面から支えていた。
- ・栄養に関して、病院の栄養士や薬剤師とともに、どのような食事形態が良いか試食を行い、療養者に一番合うものを考えていた。療養者の生活の質を高めるためには、最期の時まで好きなものを食べられるよう、支援することはとても重要である。

### ②在宅での看護の工夫

- ・使用する物品は家庭にあるもので代用することで、経済的負担などを考慮していた。
- ・ケアを実施する時に、必要な手技を見学してもらうこともあるが、訪問時にご家族が体を休めてゆっくりしていただくようにして、介護負担を減らしていた。
- ・その場限りの看護を行うだけでなく、何か不安や困ったことがあれば、すぐに電話対応でご家族をサポートすることで、在宅療養をより良いものにしていく。
- ・身の回りの整理、治療に必要な日々の記録などができる自立した療養者にも、生活習慣への指導や、治療や生活に対する不安を傾聴するといったケアを多面的に行っていた。
- ・生活の場である在宅だからこそ、火の元の確認など、療養環境に対して十分注意してケアに当たっていた。

### ③在宅療養時に求められる姿勢

- ・療養者と家族一人一人に向き合って、それぞれのニーズをとらえて看護を行うことが重要である。
- ・医療という観点を必ずしも優先するのではなく、療養者の好みや生活スタイルをできる限り尊重する。
- ・コミュニケーションが取れない療養者には、僅かな表情・行動の変化やバイタルサインから気持ちを読みとる。
- ・ご家族の気持ちを何気ない会話から読み取り、今後の看護ケア計画を立てることに役立てる。

## 3) ご家族へのインタビュー（看取りの体験）

### （１） A さん

#### 【概要】

80歳代男性、妻（70歳代）が末期がんで入院していたが、在宅療養に切り替え、自宅で看取った。近くに住む息子夫婦の協力を得られていた。在宅療養期間は約1ヶ月。

#### 【内容】

入院中、在宅療養に向けて、看護師さんにたくさんお世話してもらった。在宅療養について主治医から話を聞いた。今までは健康で、病気をしたことがなかったため、説明を受けるまではほんまに心配した。しかし、訪問看護ステーションからの説明を受けたことで、自宅でも療養できるかなと感じた。妻に「在宅療養したほうが、病気がよくなるかもしれない。」と相談すると、了解してくれた。当時、点滴を行っていたため、自宅ではどういう風にすればいいのかわからない不安だったが、病院の看護師さんが、家族でも行うことができるとアドバイスをもらい、いろんな人がついてきてくれ説明を受けた。点滴の交換、抜去方法を一度看護師さんで行い、「これだったら、自分でもやっていける。」と思い、退院した。

在宅療養に移り、毎日訪問看護師さんに感謝でいっぱいだった。訪問看護師さんはほぼ毎日来てくれて、いろいろなことをしてくださった。特に、寝たきりだったため、排泄に関してサポートをしてくださった。自宅では、お風呂も入ることができ、車いすで入浴介助をしてくれた。在宅療養に切り替えて9ヵ月、妻も元気になったと思っていたが、ある日妻から「入浴してもらうのは気持ちいいが、非常にくたびれる。なん

とかならないか。」と相談があった。妻は、痛い、しんどいなどあまり言わない辛抱強い人だったため、その話を聞いたとき、「そんなにしんどいのか。」と思った。それから訪問看護師さんに相談し、今後の方針についてどうするか考えた結果、入浴を中止し、ベッド上での清拭に変更することになった。便秘の時は、下剤を飲んでしたが、それでも排便がない場合は、訪問看護師さんが排便をしてくれた。家族の自分でさえ、そういうことをすることはできないのに、訪問看護師さんが行ってくれて頭の下がる思いだった。「あんなことまでしてくれるのか。」と思った。汚れた下着もきれいに洗ってくれ、家族ができないことも進んでやってくれて、本当に毎日感謝感激だった。おむつの取り換えも最初は自分で行っていたが、腰痛のためどうにかならないか相談したところ、尿道カテーテルによる排尿に切り替えるという提案をしてもらった。妻もそうすることで私に気を遣わずに済むようになり、互いに楽になった。介護負担が減ったことにより、他の援助をすることができた。服薬管理やその記録をするなどの工夫はしていた。在宅療養に切り替える前に点滴の手法について指導してもらっていたが、自宅に戻ってから丁寧にも何度も教えてくれた。何か問題があった場合は、訪問看護ステーションに電話し相談すると、夜でもすぐに来てくれて対応してくれた。そういうこともあり、なんとか自宅で看取ることができた。本当に助かった。80年生きてきて初めて訪問看護を利用しいろいろ助けてもらったため、このようなシステムがなければ、患者、家族はどのようなになっていたのだろうかと思う。今思うに、入院中と異なり、看護師や医師がそばにいない在宅療養に対して、当初不安があったが、十分な説明を受け、大丈夫だと確信したため、退院することができたのだと思う。自身の腰痛もあったが、急なことがあれば病院に戻れるという病院側からの支援もあったため、安心感があった。亡くなる3日前までは、妻と話すこともできていたし、歯を磨いてあげることもできた。まだ少し話ができるときに、妻が、「おとうちゃん、ありがとうよ。」と言ってくれた。普段そのようなことをいう人ではなかったため、もうお別れが近いと感じた。最期は、点滴もできず、薬も飲めなかったが、病気について受け入れることができていたため、ものすごく不安ということは感じなかった。亡くなる前に、パンフレットを用いた指導を受けていて、遠方の家族を呼ぶなど準備はできていた。訪問看護師さんから「なにかあればすぐ電話してください」と言われていたため、息遣いがおかしくなった時、落ち着いて訪問看護師に連絡をした。看護師さんはすぐに来てくれ、医師も往診してくださり、無事に看取ることができた。40日ほど在宅で介護をすることができたため、自分は満足することができた。妻もそれなりに思ってくれていたと思う。病院の顔と家での顔が全く違って、あともう5年ほど生きていてほしかったが、亡くなることは仕方がない。そういうことで、私は妻に「最期はやっぱり双方うまいこといったな。」とお別れすることができた。

## (2) Bさん

### 【概要】

60歳代女性、母親(80歳代)が橋本病で入退院を繰り返しながら最期は、自宅で看取った。介助者は娘一人のみであった。母親は生来、最期の場合は家がいいと話していた。祖母を在宅で看取っていたため、家で介護する設備は整っていた。在宅療養期間は約3ヵ月。

### 【内容】

自宅に帰る前は病院で1、2ヵ月お世話になっていて、本人の意思で家へ帰ることになった。私は以前主人の母を看取った経験があったので、介護用ベッドを手配するぐらいで済んだ。こうして、在宅療養がはじまり、訪問看護師さんが家に来るようになって、その存在へのありがたみを痛感した。わからないことを教えてくれるだけでなく、心が苦しいときに相談に乗り、励ましてくれた。在宅で療養を行っていくために必要な技術の指導や相談、励ましを行ってくれたのだ。一人で介護を行っていた当時を振り返ると、全部心配だった。つらいことも多々あって、感情的になって毎日泣いていた。そんな自分を前向きにしてくれたのは、訪問看護師さんの影響が大いにあったと感じた。家族の中でほかに介護の協力者はおらず、世の中のもっと多くの人が介護の担い手になることを願っている。そして、やはり家で最期を迎えたいという本人の意思があったからなのか、途中、母を病院に預けたときに、入院先での表情と家での表情との違いに驚いた。家が好き、というのもあるけれど、娘の私が介護することに大きな安堵を感じていたのだろう。少しの間であったが、最後に褥瘡ができたこと以外に悔いはない。悲しい気持ちもあったけれど、母親が静かに、静かになくなっていくその姿に感動した。在宅で母を看取ることを選択し、覚悟を決めたのは私だったが、途中つら

いこともたくさんあった。しかし、その時に私を支えてくれたのは、在宅で看取することを勧めてくれたお医者さん、訪問看護師さんだった。さまざまな人々が頑張ってくれたおかげで、母は安らかに亡くなった。看取った後もグリーフケアを行ってもらったり、本当に最初から最後まで支えてもらい、すごいよかったなって、嬉しいなって思っている。最期の場所は家でと考えている人はきっと多いのだろうが、それをかなえることができない状況、要因は世の中に沢山ある。本人が希望されても家族にしたらすごい大変なこと。それを一つずつ取り除いて、みんなが最期はどうありたいか、自由に選択することができるように、制度の充実やサービスの拡大がこれからもっとあればいいと思う。亡くなった後、ほんとに毎日泣いてばかりいた。娘にそんなに泣いていたらおばあちゃんも困ると言われた。でも、この前の初盆に実家へ行き、写真を見ると昔の記憶みたいにだんだん思った。

### (3) ご家族の看取りの体験から学んだこと

#### ①病院から在宅療養への移行

「説明を受けるまではほんまに心配した。」(A氏)という言葉から、初めての在宅療養に不安を感じていた。

訪問看護師の役割は、療養者本人と家族が納得いくまで事前に説明し、退院前カンファレンスを行ったり、入院中から気軽に相談しやすい関係作りを行ったりすることが必要である。

#### ②家族の精神状態

「感情的になって毎日泣いてた。」(B氏)という言葉から、家族が間近で衰えていくことを受け止めることが難しいと感じた。特にB氏は、一人で介護を行っていたため、頼る人がいないことから負担が大きかったと考えられる。

訪問看護師の役割は、家族の負担を十分理解し、気持ちの変化にいち早く気づき、家族を始め関係者全体を含んだフォローを行っていくことだと考えた。

#### ③多職種連携に関わること

「いろんな人がついてきてくれた。」「急なことあったら病院に行ける。」「いつでも相談に乗ってもらえる。」(A氏)という言葉から、他職種の連携と専門職が寄り添うことが看取りを推進する要因だと考えられる。

訪問看護師の役割は、他職種連携の強化を図ることが重要である。有田市立病院訪問看護ステーションではスマイル通信を作成して自宅での療養や家族の様子を病棟の医師や看護師に伝えられていた。そのことで、在宅での療養生活の現状を伝えられ、病棟での看護において必要なことや在宅の良さを病棟のスタッフに知ってもらう機会となる。また、定期的なカンファレンスは訪問看護師が把握したことが伝えられ、多職種と情報共有しながら一貫したケアを提供するために必要である。

#### ④看取りに対する思い

「全部心配やった。」「本人が希望されても家族にしたらすごい大変なこと。」(B氏)という言葉から、看取るために何をしたらいいかわからないという家族の不安や大変さが考えられる。

訪問看護師の役割は、パンフレットを用いて死の準備教育を行い、臨終が近づいた際の兆候や対処法の説明、家族の精神面の支えになることが重要である。

#### ⑤在宅での看取りの体験

「亡くなるのはなんかちょっと感動しました。」(B氏)「最期はやっぱり双方うまいこといったな。」(A氏)「病院の顔と家での顔が全く違った。」(B氏)という言葉からは、看取りに対してポジティブな受け止め方をしていると感じた。

訪問看護師の役割は、最期まで療養者と家族を尊重し、双方が納得できるよう支援する必要がある。

#### ⑥看取り後の家族の心の状態

「毎日泣いてばかりいた。でも昔の記憶みたいにだんだん思えた。」(B氏)という言葉から、家族の悲し

みや戸惑いが続き、死に向き合えないということも考えられる。

訪問看護師の役割は、死を受け止められるようにグリーフケアを行い、療養者が亡くなった後も継続した関係を保つことが大切である。

## 5. まとめ

私たちは、在宅看護についての講義を学内で受けて、病院での治療が在宅に引き継がれ、より患者が治療に専念することができると考えていた。しかし、実習を行い、自宅に戻って療養することは何を意味するのかを学ぶことができた。訪問看護師さんのお話より、在宅療養は、治療中心の考えを持ち込まないことや、訪問看護の対象者はそこで生活している人であり、特に在宅での看取りにおいては、療養者を支える人すべてであることを学んだ。また、実際に訪問看護に同行させていただいたことから、1対1で療養者に向き合うことから、医療者としての力量が問われるということも学んだ。

在宅看護は、療養者を生活から支え、安心感を得ることができる。しかし、在宅での看取りの援助においては、短時間での信頼関係の構築が迫られることも少なくはない。そこで、病院の医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、言語聴覚士、作業療法士、社会福祉士などのコーディネーター、そして、療養者、ご家族というチームケアが必要であるということも学んだ。なにより、療養者を尊重し、治療だけでなく、人生の最期がよりよい時となるよう自己決定を支援することも、療養者家族の一番身近な支援者である訪問看護師だからこそ出来る大きな役割であると考えた。

なお、研修結果を平成29年11月に行われた和歌山県看護教育機関連絡協議会主催第15回看護学生フォーラムで発表し、在宅での看取りについて県内の様々な学校の看護学生に発信することができた。

この研修にご協力いただいた有田市立病院訪問看護ステーションのスタッフの方々、インタビューさせていただいたA氏、B氏、訪問させていただいた療養者・ご家族の皆様に感謝申し上げます。

## 6. 参考文献

- ・日本看護協会出版社会  
『最新 訪問看護研修テキスト ステップ2』（2005）
- ・藤腹明子 『看取りの心得と作法17か条』（2004） 青海社
- ・渡辺裕子 『家族看護を基盤とした在宅看護論Ⅰ 概論編第三版』（2014）  
日本看護協会出版会



# 東京都立松沢病院の歴史と精神医学を学ぶ

和歌山県立医科大学 保健看護学部 2年

田中 茜 田中 亜依

指導教員 武用 百子先生

## 1,目的

明治12年に開設された東京府癲狂院が、現在の東京都立松沢病院に至るまでの歴史を知ることによって、精神疾患を持つ患者に対する処遇がいかなるものであったか、また日本の精神医学がどのように発展し、精神疾患に対する認識がどのように変化していったのかを学ぶ。

## 2,東京都立松沢病院の歴史について

精神病院は、明治時代ごろから灸や漢方薬を用いて治療を行っていた寺院から派生した。中でも松沢病院の前身である東京府癲狂院は、明治12年に、浮浪者や行き場のない病人を取締り収容していた養育院が、精神疾患を持つ患者を収容するために狂人院を設置し発展したものである。その後、巣鴨に移転し東京府巣鴨病院と改称する。その頃、ドイツ留学を経験した呉秀三が5代目病院院長となり、患者を人道的に処遇することの必要性を強調し、モラルトリートメントの理念を実現するために、治療や生活環境の改善などの病院改革を始める。主な改革としては、拘束具の使用禁止や患者の室外運動の自由化、土木作業・農耕・豚の牧畜・囲碁などの作業療法の推進などである。また、彼は同時に看護改革にも着手している。当時の看護人は給料も安く、待遇の悪さなどから離職する者も多く、そのことが患者に対する劣悪な処遇に繋がっていたのだ。明治35年には看護人採用法を改め、読書・習字・作文・算術などの試験を行ったり、旧来の看護観を持つ職員を更迭して、看護職員の人員と意識の刷新を図ったり、看護学講習を聴講させ、看護技術の向上を図った。そして大正8年に病院を松沢村に移転し、東京府松沢病院となった。呉は、精神疾患を持つ患者には「2重の苦」があると言った。1つめが、精神病を持って生まれたこと、そして2つめが、この日本に生まれたことである。彼は、日本で精神疾患を持つ患者が、監置され閉じ込められた生活を送っていることで人間らしい暮らしができなくなっていると考え、「患者さん1人100坪、全部で6万坪が必要」と東京府に要請した結果、松沢村を病院の敷地として買い取ったのである。

それから、夜間休日精神科救急医療・精神科身体合併症医療・アルコール精神疾患専門病棟・老人性認知症病棟・社会復帰支援室などを開設する。このように東京都立松沢病院は、設立当初から日本の精神科医療の中心であり、現在も大きな役割を果たしているのである。



### 3,東京都立松沢病院について

東京都立松沢病院は京王線「八幡山」駅から徒歩4分ほどの場所にあり、敷地面積は191,512平方メートルであり東京ドーム4個分と言われている。松沢病院は精神科の専門病院ではあるが、一般科外来や一般科病床も設けており、地域に開けた病院を目指している。全職員数675人、医師58人、看護師500人が松沢病院に勤めている。また東京都の精神科応急入院指定病院となっている。本館の1階は外来受付を過ぎて右手が精神科外来、左手が一般科外来の診察室が何十か所も並んでいる。2階は主に



検査室が多く設置されている。3階から7階は病棟であり合計23棟が設置されている。精神科の病床は800床、一般科の病床は90床である。松沢病院ではフロアごとに名前があり、テーマカラーが与えられている。1,2階は「森の入り口」で黄緑色、3階は「はなのフロア」で黄金色、4階は「もりのフロア」で緑色、5階は「にじのフロア」で深緑色、6階は「そらのフロア」で青色、7階は「かぜのフロア」で紫色である。これらの色は各フロアの廊下の色などに用いられており、患者さんにとって自分がいま何階の何フロアにいるかがすぐにわかる仕組みになっている。

31病棟と33病棟は「救急・急性期」、32病棟は「アルコール・薬物依存症」、41病棟は「MPU（認知症合併症）」、42病棟は「MPU（内科系）」、43病棟は「MPU（外科系）」となっており、4階は原則閉鎖病棟となっている。51病棟は「一般（外科系）」、52病棟は「一般（内科系）」であり、5階は開放病棟になっている。53病棟は「感染症・急性期」であり、結核の患者のための陰圧の病室などがある。54病棟は「回復期」を扱っており、精神科病棟唯一の開放病棟である。病院の敷地内にある生活練習の施設である「あゆみ荘」で退院支援などを行っている。61病棟と63病棟は男性の「急性期」、64病棟は女性の「急性期」、62病棟は「青年期」71病棟は「救急・急性期」、73病棟は「認知症」である。本館にある病棟は以上であるが、80病棟は「医療観察法」により保護された患者を、81～86病棟は「社会復帰期」にある患者を担当しており、敷地内に別に病棟が建てられている。

今回、62病棟の「青年期」と33病棟の「救急・急性期」を見学させていただいた。青年期病棟は15～25歳までの男性と女性の混合病棟である。男女比は同じくらいであり、病床は40床で22時から6時までは男女の部屋間にしきりが設けられる。病床は大部屋と個室がある。任意入院が半数以上を占めており、病院から学校に通っている人も多数いる。玄関に鍵がかけられているが、自由に外出することができる。統合失調症の人がほとんどだが、入院理由には自殺未遂やリストカット、飛び込み、首つり、家庭内暴力、性的暴力、DV被害、いじめ、拒食、薬物、うつなど様々なものがある。症状が安定してくると、英会話やヨガ、パソコン教室など様々な活動から自分がやりたいことを選び作業療法を行っていく。看護師はあくまでも支持的にアプローチしていくことを目的としており、患者がなるべく早く社会復帰できるように目指している。主に90日で退院していくことが多く、3ヶ月で62.5%の人が退院する。

33病床の「救急・急性期」では主に救急患者を24時間受け入れている。そのため救急のエレベーターから最も近い位置に病棟が設置されている。病棟は閉鎖病棟であり、2重扉になっている。夜間には最大6件受け入れることができ、多い時には年間1000件の受け入れを行っている。そのため、翌日に他の精神病院への転送を目標としており、ベッドの回転率の速い病棟となっている。しかし、例外として外国人や身体的に治療を必要とする患者、松沢病院にかかりつけている患者は転送しないようになっている。保護室と呼ばれる病室が多数設けられている。保護室とは、精神的に安静ではない患者が入るマットとトイレだけの部屋である。首つり自殺防止のためシーツはつけられておらず、監視カメラが設置されトイレの水は看護師によって制限が加えられている。保護室も扉が二重扉になっている。保護室に入っている患者であっても、昼間は身の安全のためにホールなどの人の目につくところで生活を行う。

#### 4,日本精神医学資料館について

東京都立松沢病院の敷地内にある日本精神医学資料館は、以前隔離病棟として使用されていた建物をそのまま資料館として活用したものである。監置狂躁室など、興奮状態にある患者を監置する部屋がいくつも残っており、以前はそのほとんど全てに鍵をかけて使用していたようだ。このように、以前使われていた部屋そのものを見学できるところもある。入口の左手にある部屋には松沢病院の変革がまとめられているコーナーがあったり、その前には精神疾患で松沢病院に入院していた患者が模写した絵や文字などがまとめられていたりする。また、ある患者が皇居のお濠を渡ろうと計画して作った小舟も展示されていた。



1) 患者が模写した絵や文字



2) 患者が作った小舟

次の部屋には東京都立松沢病院の前身である、東京府癪狂院や東京府巣鴨病院の模型が展示されている。部屋の中を覗くと木の棒で作られた小屋のようなものがあり、患者はここに閉じ込められていたことが分かる。



先に進むと、実際使われていた監置室が数部屋残されている。ここは精神的に安定していない、つまり興奮状態にある患者が入る部屋であり、入口は二重扉になっている。この部屋はトイレと監視カメラ以外は何もない。トイレは本館の保護室のように患者が自身で水を用いられないようになっていた。また、患者との接触は入口の反対側にある鉄格子からが一般的であったが、患者に背中を向けると攻撃される危険があるため必ず患者のほうを向かなければならなかった。また、次の部屋に行く場合、患者からの急な攻撃を受ける危険があったため、左右の鉄格子の数本間は腕が通せないように対策がなされていた。扉には、患者が爪で書いた「元旦ヤ トラワレ…」という字や、患者が扉の向こうを歩く人を見るために扉に設置されている小さな窓に額を擦り続けた跡も残っている。巣鴨病院の隔離室で用いられていた鉄の扉や松沢病院の保護病棟で使われていた多数の鍵や蝶番も展示されていた。



3) 監置室の二重扉の跡



4) 監置室の鉄格子



5) 腕が通らないようになっている鉄格子



6) 監置室の扉



7) 隔離室の扉



8) 保護病棟の鍵と蝶番

現在の精神病棟での治療の一つに作業療法が行われているが、それは巣鴨病院であるときから行われており、多くの写真が残っている。巣鴨病院の敷地内には家畜小屋があり多くの豚を飼育していた。患者は豚の飼育を通して達成感などを感じることが出来た。また、土木作業や農作業、建築作業などを行う作業療法もあり、敷地内には池や山が造られたりもした。わずかであるが賃金も払われ、地域に戻るよう自分に合った特性の力を付けていった。巣鴨病院では、運動会や仮装大会などのレクリエーションも積極的に行われていたことも写真に残っている。巣鴨病院は未成年の入院患者もあり、その者のために敷地内に小学校も設立されていた。



9) 作業療法の一環で患者によって造られた池などの写真



10) 作業療法の一部の写真





11) レクリエーションの写真



12) 敷地内に建てられた小学校

次に、精神疾患の治療として行われていた治療で用いられていた機器について述べていく。これは、持続浴を行っていた浴槽である。37 度程度の湯に浸かることで、副交感神経が活発になり、興奮が収まるのだ。個人差は大きいようだが、気分が晴れ清々になった患者もいるという。中には、18 時間も持続浴を行っていた患者もいた。看護師はその間患者に付き添う必要があり、患者だけでなく看護師も忍耐を要する。第 2 次世界大戦で湯を沸かす燃料が不足したために、持続浴は行われなくなった。



これは、水責めに用いられていた灌水籠である。患者をこの灌水籠の中に入れ高所から水を落として患者にかける治療法である。この方法で患者の幻覚妄想が止まると考えられていた。灌水籠は鉄で出来ており、とても一人の力では持ち上げることができない。この治療は現在では行われていない。



そしてこれは、電気ショック療法に用いられる機器である。麻酔なしで白い部分を額に当て電気を流すことで痙攣発作を誘発し脳の神経を刺激し脳機能を正常化させる治療法である。成果は人により異なり、副作用もみられた。現在では麻酔下で改良のもと、電気ショック療法は用いられている。



また、手かせ足かせも展示されていた。手かせ足かせとは、患者の自由を奪ってしまう拘束器具である。これらは、呉秀三が5代目病院院長となって以来、東京府巣鴨病院では使用することを禁止していたが、他の病院では用いられていた。病院の敷地内に埋められていたものを掘り起こして、下のよう展示しているのだ。

また、ある統合失調症の患者の足の母指の爪も展示されていた。患者は、足の爪を10センチメートルも伸ばし続けていた。なぜなら、足の爪を切ると母親が亡くなってしまうという妄想があったからである。しかし、ある日その母親が亡くなってしまう。だから、患者は爪を切って欲しいと訴えたという。さらに、戦前に患者が自傷・他害行為を行うのを防ぐために使用された保護衣（制限衣）も展示されていた。患者の手を腹側にまわして袖を結び、全身の自由を奪ってしまう。立って歩くことは可能であるが、全身がベルトで縛られたようになっていて、一歩が10センチメートル程になってしまう。生地は麻のように固く、とても着ていて心地の良いものではない。



13) 伸ばし続けられた爪



14) 保護衣

この人物は、自称「葦原将軍」である。東京都立松沢病院の歴史全てを知っている人物と言っても過言ではない。彼は東京府癲狂院から松沢病院まで、病院が変遷していく中で、その全ての病院に入院していたのだ。葦原将軍は誇大妄想があり、自身のことを将軍であると妄想する。大砲と見立てた布団を丸めて脇に抱えたり、将軍に似せた帽子や着衣を全て紙で手作りしたりする。彼は実際にその当時の将軍である乃木将軍と対面している。乃木将軍が彼についての話を耳にし、面白がって彼に会いに行ったのだ。会話の記録も残っている。さらに、葦原将軍のエピソードは映画化された。



下の写真は、患者を病院まで搬送する際に用いられた台車である。ここに患者を乗せて街中を走る、いわゆる現在の救急車だ。精神疾患患者に限らず、急病人はこの台車に乗せられる。当時、搬送手段がこれのみであったとはいえ、人の目に晒されながら病院に連れて行かれるのは苦痛であったと考えられる。



また、私宅監置が始まったことにより家に設置された監禁部屋の写真も展示されていた。江戸時代に定められた「御定書百箇条」により、幕府が治安の維持や政権の安定を目的として監禁は行われた。通常であれば、監禁部屋は家の外に設置されるのだが、裕福な家庭においてはこの部屋は室内に設置される。患者の親族は監督責任を問われ、時には処遇の対象となった。精神疾患患者の所業の責任は家族にあると考える拘禁主義がこの頃から始まったのだ。



15)

## 5.結論

東京都立松沢病院と日本精神医学資料館を見学して、患者が長い歴史の中でどのような治療を施されてきたのか、それにより患者がどのような思いをしてきたのか、また医療者自身が精神疾患をどのように捉えてきたかを考える機会となった。精神疾患が病気であると捉えられ、それを治療することができると考えられるようになったのは、医学の世界ではつい最近のことである。拘束をしたり、監置をして閉じ込めたりすることを、非人道的であると考えるのは当然のことであるが、治療法がない当時ではそれが精神疾患を持つ患者に対する処遇として当たり前であり、地域の人々の生活を守るという視点でも、そうすることしか出来なかったのだと考えることもできる。医療者も、それが当たり前の世界で生きてきた。現代の精神医療を知る私たちは、以前の精神医療に対して偏見のようなものを持っているのかもしれない。例えば、18時間も持続的に入浴をさせられると聞くと、それは非人道的に思えるが、実際その入浴には看護人が付き添いをする。そうすることでしか患者を救えないと考えられていた世界で行われていたことを、何も知らないまま一方的におかしいことだと批判することはできないと考える。しかし、だからといって患者が治療として行われてきたことに対して怒りや悲しみ、苦しみを感じなかったと言う訳にはいかない。呉秀三がモラルトリートメントの理念を日本に持ち込み、精神医療への視点が一変したことで、患者が人間らしく暮らし、生きていくことを目指すために行われた病院改革は、精神疾患への捉え方を変えた。彼がいなければ、日本の精神医療の発展はさらに遅れ、現代の医療とは異なる治療が患者に施されていたかもしれない。これまでのものを一変させてしまうことはとても勇気の必要なことである。しかし、呉はそれをやってのけ、日本の精神医療を変えた。

私たちは、この歴史を繰り返してはならない。患者が、人間としてその人らしく生きていくことができるようにするために、その自由を尊重し、開放的で伸び伸びとした環境で治療を行わなければならない。そして、その環境が東京都立松沢病院にはある。病院で暮らすこと自体が患者にとって望ましいことではないし、帰る場所がない場合を除いて、入院を患者が希望していると考えられる場合はあまりないと考えられるが、その中でも患者が生き生きと暮らすためには何が必要か、どのような設計の病棟にすればいいかなどが綿密に考えられているのが東京都立松沢病院だと考える。歴史を知り、その反省を生かして初めてその道は拓かれていくのだと、今回の見学で学んだ。

## 6.参考文献

1)東京都立松沢病院 Wikipedia (2017/8/29)

[<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E9%83%BD%E7%AB%8B%E6%9D%BE%E6%B2%A2%E7%97%85%E9%99%A2>]

2)東京都立松沢病院 (2017.8.29)

[<http://www.byouin.metro.tokyo.jp/matsuzawa/aboutus/enkaku.html>]

3)出口禎子・松本圭子・鷹野朋美編 (2004)

『ナースィング・グラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本』 メディカ出版



# 松沢病院での先進的な精神科リハビリテーションについて

和歌山県立医科大学 保健看護学部 3年  
前田 有里 向藪 花鈴 山本 歩  
指導教員 志波 充

## 1. 目的

精神看護について授業で学び、様々な疾患があることを知り、患者がどのような治療を受け、どのように社会復帰していくのかについて興味を持った。東京都の松沢病院は、明治12年に東京府てん狂院として開設した。当時の院長は呉修三であり、当時よりリハビリテーションの理念を持っていた。私たちの精神看護実習は、和歌山県立医科大学付属病院の閉鎖病棟で行っており、社会復帰については地域の施設見学を行って学びを深める予定である。松沢病院は社会復帰病棟を持っているため、地域移行支援に向けてどのような取り組みをしているのかを研修し、今後の実習に活かしていきたいと考える。

## 2. スケジュール

H29年8月31日に東京都立松沢病院、9月1日に日本精神医学資料館を訪れた。

<8月31日>

- 13:30～ 松沢病院到着  
看護師長より病院の概要について学ぶ
- 14:15～ [病棟見学]
- ・ 青年期・思春期の男女混合病棟
  - ・ 女性の急性期閉鎖病棟
  - ・ 回復期の開放病棟
  - ・ 感染症(結核)・急性期病棟
  - ・ 救急・急性期病棟
- 17:00～ 質疑応答

<9月1日>

- 10:00～ 日本精神医学資料館見学

## 3. 東京都立松沢病院の概要

大正8年(1919年)11月7日に設立。松沢病院は急性期精神科医療を中心に、精神科救急医療、精神科身体合併症医療、薬物依存などの専門医療を担い、東京都における精神科医療の拠点としての役割を果たす歴史ある病院である。患者さんの視点に立った開かれた精神科医療提供をめざし、「ここに、深呼吸」をコンセプトにすべての病棟で開放的な空間を提供している。敷地面積は東京ドーム4個分で寮や保育室も設置している等、福利厚生が整えられている。

### 【病床数】

普通：90床 精神：800床

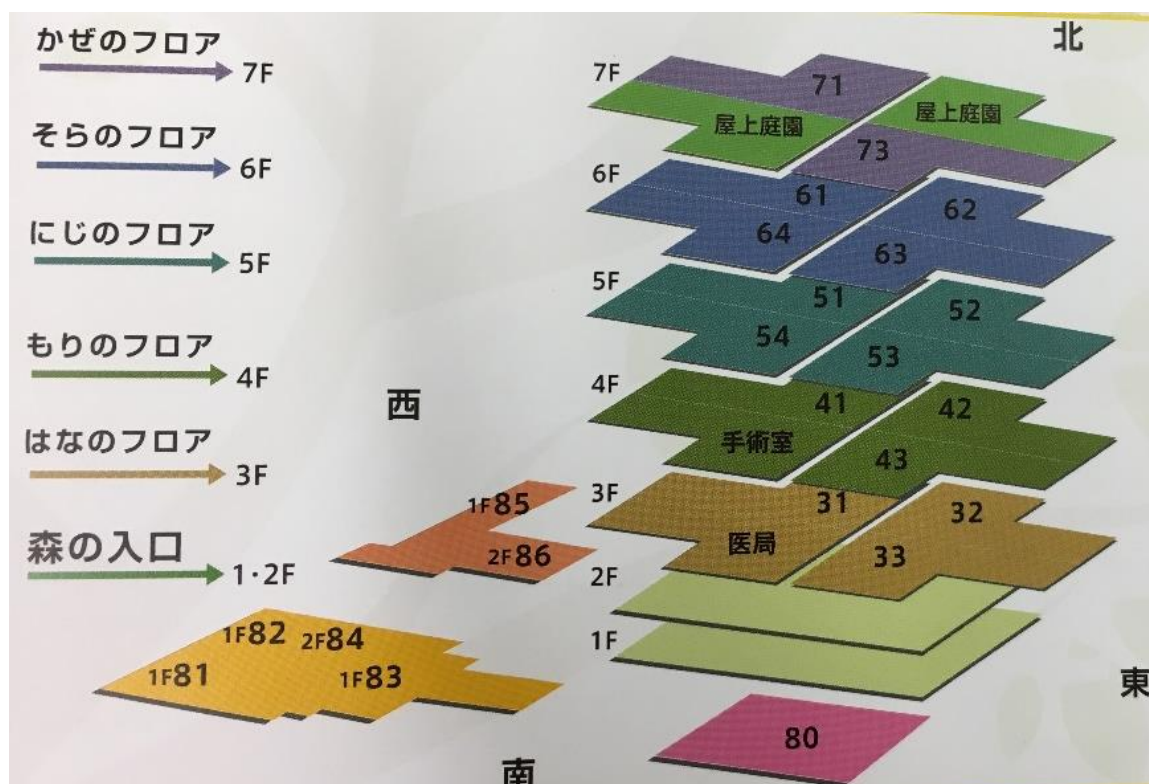
### 【診療科目】

精神科、内科、神経内科、形成外科、外科、整形外科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、歯科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、婦人科

### 【重点医療】

- ① 精神科急性期医療：専門性の高い急性期の精神疾患に対応
- ② 精神科救急医療：夜間休日の精神科救急に対応
- ③ 精神科身体合併症医療：身体合併症を有する精神疾患患者の受け入れ
- ④ 薬物・アルコール依存症治療：専門外来・病棟、依存症患者を対象としたデイケアを実施し、社会復帰を促進
- ⑤ 認知症医療：東京都認知症疾患医療センターとして、他地域関係機関と連携し専門的な医療を提供
- ⑥ 早期支援・青年期医療：若者の特性に配慮した専門病棟を配置し、青年期患者の早期支援・早期治療を推進
- ⑦ 医療観察法医療：「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律(医療観察法)」に基づき、入院および通院医療を提供
- ⑧ 精神科リハビリテーション：患者の心身機能の回復や社会復帰を促進

### 【病棟紹介】



- 31 病棟：男女混合のスーパー救急病棟である。入院時から多職種で情報共有し、安心安全・信頼される治療環境を提供している。
- 32 病棟：アルコール・薬物依存症病棟である。患者一人一人のニーズに合わせ「その人らしい生活」を取り戻せるよう笑顔を絶やさず、抜群のチームワークで対応している。
- 33 病棟：救急患者をトリアージし、24 時間入院を受け入れている。患者の視点に立ち、安全安心の看護を実践している。
- 41 病棟：認知症患者の尊厳を守り“思い”と“人生”に共感し、患者や家族が安心できる看護を実践している。

- 42 病棟：クリティカルなケアをしている内科病棟である。内科医と精神科医のチームワークが抜群で、身体と精神の両方を看れるプロフェッショナルを育成している。
- 43 病棟：外科・整形外科・脳外科から内科系まで、合併症の治療を必要とする精神科の患者を受け入れ、身体治療の不安を少しでも軽減できるケアの実践に努めている。
- 51 病棟：外科系から内科系まで合併症の一般病棟である。多職種で協力して患者の ADL 改善に向けて取り組み、常に患者中心の看護を提供している。
- 52 病棟：身体合併症の内科・神経内科・外科・形成外科・整形外科・脳外科・リハビリ科・精神科の患者を受け入れている一般病棟である。開放病棟として、明るく開かれた安全な看護を実践している。
- 53 病棟：身体合併の感染症(主に結核)と女性の精神科の混合病棟である。閉鎖された 2 つのエリアに分かれている病棟であるが、スタッフの連携でそれを感じさせない病棟づくりを推進している。
- 54 病棟：精神科病棟唯一開放病棟である。退院準備プログラムを通して患者に寄り添い、地域への退院支援に力を入れている。
- 61 病棟：男性の精神科精神科急性期病棟である。毎日活気にあふれ、患者のニーズに合わせた治療やケアを退院にむけて支援している。
- 62 病棟：思春期・青年期の男女混合病棟である。心理教育やさまざまなプログラムを導入して、患者が早期に退院できるよう多職種で支援している。
- 63 病棟：男性の急性期閉鎖病棟である。精神科救急病棟の後方病棟として機能し、急性期から退院支援にわたり安全・安心な治療・看護の提供を目指している。
- 64 病棟：女性の急性期閉鎖病棟である。一人ひとりとじっくり関わり、地域と連携して退院に向けた支援をしている。スタッフも患者もすべて女性で、明るく楽しい雰囲気 of 病棟である。
- 71 病棟：女性の精神科急性期病棟である。入院患者や家族が一人で悩むことなく、スタッフへ気軽に相談できる病棟である。
- 73 病棟：認知症に伴う精神症状や行動障害を改善するための治療・看護を行っている。患者一人ひとりに合わせた退院支援に取り組んでいる。
- 80 病棟：医療観察法に基づいた入院医療機関である。「人で看る」を病棟理念として、医師、看護師、コメディカルなど 60 名以上の多職種スタッフが協働して、専門性の高い精神科医療を提供している。
- 81 病棟：男女混合の社会復帰病棟として退院への支援をしている。日常生活の援助から地域に戻る際の不安の軽減など、看護師だけでなく医師・PSW・薬剤師が一丸となってサポートしている。
- 82 病棟：社会復帰を目指して 30 名の男性患者が療養している。「自分たちが受けたい看護の提供」をビジョンとし、家庭的なぬくもりのある看護を実践している。

83 病棟：男性の社会復帰病棟である。患者の想いにこころと耳を傾けることを忘れず看護をしている。

84 病棟：精神科慢性期の女性病棟である。入院期間が長く、車いすやベッド上の生活でADLの低下した患者が主に入院している。療養と生活の場であり患者さんが安心して心地よく過ごせるようケアをしている。

85 病棟：女性の社会復帰病棟である。退院に向け、熱い思いで看護を実践している。閉鎖病棟であるが明るく過ごせるよう心掛けている。

86 病棟：男性の社会復帰閉鎖病棟である。患者さんは社会生活へ戻る準備を積み上げ、退院することを目指して療養生活を送っている。患者さんと信頼関係を共有しながらケアを行っている。

手術室：「患者さんに安心と安全の提供」をモットーに、手術室・内視鏡室・透析室・ペイイン外来で看護を実践している。

外来：安心して受診できるような環境づくりを行っている。

訪問看護：精神科の訪問看護を行う部署である。退院前後の地域生活支援、希望に働きかける継続看護を行っている

デイケア：利用者一人ひとりが自主的に参加できるように支援し、生活リズムの改善、対人関係能力、社会性の向上を図る。

退院調整：患者と家族に多職種と連携しながら退院にむけた支援をする部署である。院内の退院支援のシステム構築や病棟での退院支援カンファの調整、個別のケアの会議のサポートをしている。

#### 【看護配置】

看護師 約500人

精神 15：1、13：1、10：1

一般 15：1

医療観察法病棟 1：1、3

#### 4. 地域移行支援に向けた取組み

##### ①各病棟の取組み

###### 【62 病棟】

同世代の患者が多いという印象を持った。統合失調症や人格障害、発達障害など様々な疾患・障害が重なっている人が多いと看護師長から説明を受けた。救急で受け入れられた思春期・青年期にある患者を受け入れる役目も担っている。男女混合病棟であるが、患者が思春期や青年期にあるため同じ病棟内でも療養区域が分けられていると気づくことができた。退院し自宅での生活に順応しやすくするための支援が求められていると感じた。

###### 【53 病棟】

精神科のほかに感染症(結核)の病室があった。扉の外側(ナースステーション側)が陰圧に設定されており、ケアを行う際は防護服とN95マスクを素早く装着し訪室する姿がみられた。当然のことながら、療養区域は二つにはっきりと区分されているが、看護者にはどちらにも臨機応変な対応が求められる病棟で、医療者の

連携が欠かせないと学んだ。

#### 【54 病棟】

開放病棟であるため、9:00～16:00 までの間開放されており自由に外出(院内・院外)できるようになっている。院内であれば「どこに行って、何時ごろに戻るか」という届出を出すことで認められるが、院外外出である場合は医師の許可が必要である。1 か月前後の入院が多く、患者は多床室に入ることから、お互いを配慮しながら療養することで社会にむけたイメージを持つことができる。また、ワンルームの部屋が1室備わっており、退院が近づくと患者の希望によって1週間単位でその部屋で生活することができるようであった。生活リズムや薬の管理、時間・金銭管理などがどうであったか振り返りを行うことで今後について患者が考えられる支援を行っていた。

「症状が安定したから退院」というのではなく、病院内の医療者がすぐに駆けつけられる環境で日常生活行動を送るため、患者が日常生活行動を送る上で安定して心身の状態を保つことができているかを見極めながら、適切な時期に退院へ移行することができる支援だと学んだ。和歌山県立医科大学にはこのような施設はないため、精神科病院ならではの取り組みだと感じた。

#### 【33 病棟】

男性の患者が多く、看護師も夜勤は男2人＋女1人とペアを組むなど勤務体制も工夫されていることが分かった。何かあった時には病院内にナースコールをかけることができ、ほかの病棟から男性の看護師が助けにくることが分かった。救急用のエレベーターがあり、救急患者をいつでも受け入れができるようになっている。面会に来た人が中に荷物を持ち込むのはリスクがあるため、鍵付きのロッカーに荷物を入れてから面会するような仕組みになっている。個室の数が他の病棟よりも多く、保護室も備え付けられている。保護室には危険なためナースコールは置かれていないが、モニターで管理しており、患者の声でも反応するようになっている。保護室は不穏状態のときのみ入室することになっているため、ほかの個室よりなされている工夫が多かった。部屋には何もなくて壁もやわらかい作りになっているため、患者の命の安全を一番に考えられているといえる。水道はあるが、水中毒により水分を過剰摂取する危険性があるため、外から看護師が水の調節ができるようになっている。

実際に入らせていただいて、想像していたより明るく優しい空間であると感じた。イメージとしては暗くて冷たい明らかに隔離されているというような空間であったが、実際はそこに隔離された患者が行動を制限された空間でも人として尊重されていると感じる倫理的配慮(大きな窓がありサーカディアンリズムを形成させる、時計を設置させることによって現実検討ができるよう支援する、など)がなされていた。看護者の目が直接届きにくく、患者の人権擁護が不十分である保護室はできるだけ使用しないということが好ましいが、やむ終えず入室せざるを得ない患者の人権擁護が考えた医療が必要不可欠であると考えた。

## ②家族団欒の場

#### 【くぼみの空間】

写真を用いた説明の中で、病室の入り口に普段医大病院などでは見ることのないくぼみのある空間ができていることに気付いた。そこで質問してみると、この空間はわざと作り出されているものだと教えていただいた。普通の病院では、患者の異変にすぐ気付くためなどの理由で看護師の仕事の効率を重視しくぼみ等は作らず、看護師の目が届きやすいことを第一に考えられている。しかし松沢病院の病棟では、患者の視線に立ち患者が常に見張られていると感じることなく心地よい空間で療養していけるように、あえて死角を作っているとのことだった。くぼみの空間にはソファ等が置かれていることもあるという。これは患者が一人でリラックスするためだけでなく、家族が来院したときに自分たちだけの落ち着いた空間で過ごすことができる。

### ③病室の工夫

#### 【変形四床室】

大部屋に4ベッドあるのは普通の病棟と変わりはないが、それぞれの頭の位置が隣合わないよう配置されており、それぞれのベッドを床頭台とカーテンで仕切り、まるで1つの個室のように感じることができるような空間づくりがなされていた。また、1ベッドにつき1つの窓があり全員が外の景色を見てサーカディアンリズムを感じることができるような建物のつくりになっていた。ここにも患者目線の工夫が見られた。

## 5. 考察

社会復帰とは、必ずしも社会に出て今まで通りの仕事をするのではなく、人によって生き方はそれぞれであるため、看護師は精神保健福祉士をはじめとする多くの職種と連携して必要な支援を行っていくことが求められると考えた。入院中から退院についてイメージし、地域での生活を支えられるような関係づくり、環境整備をすることによって、少しでも安心した暮らしができると考えられる。また、同じような悩みを抱える人との交流により、居場所を提供し自分は一人ではないということを認識させることも社会復帰への意欲につながるといえる。

今回松沢病院を訪問して、日本の精神科の中心ともなっているこの病院では、精神科を一つのくくりにするのではなく、精神科の中でも急性期や回復期、青年期など多くの病棟に分けられていることが分かった。それぞれの患者の状態にあった病棟で療養することで、社会復帰に向けて段階を1つずつ踏んでいける環境となり、それが地域移行支援として繋がっているのだと学んだ。また、病院の建物が東京都の街中の中心であり、人も交通も激しく行き交うような環境に設立されていることが分かった。病棟内の工夫のみならず土地自体が広く、庭のような空間もあることから、患者が心身ともに安心して療養できる環境づくりがされていると感じた。患者の視点に立ち、社会に開かれた医療の提供がされている病院であると感じ、精神科領域にとっては今後必要になってくることだと考えた。しかしこのように広い敷地面積に精神科病院を設立させるには周辺住民の理解が必要で、現在のように日本を代表する精神科病院になるまでには医療者が職種間だけでなく、行政など多方面に働きかけることで地域住民の理解を得るという過程があったのではないだろうか。地域に開かれた医療を提供し、患者が社会を身近に感じ、また地域住民が精神疾患について偏見をもたず安心して生活できるようにするために、開放感のあるこのような空間を維持しつつ、精神看護や精神疾患について住民に発信していくことが大切であると感じた。松沢病院のような空間があらゆるところでできいくことが理想ではあるが、資金やマンパワーなどの問題から難しいのが現状である。そのため、医療者は今ある状況を把握したうえで患者一人一人のニーズに応えていくことが大切である。現代のめまぐるしい医療環境の中で、看護の専門職として患者さんのこころを育み、「その人らしさ」を取り戻す過程に関わることでできる人材が求められており、私達も患者の希望をかなえるべく「その人らしさ」を支援したいと考える。

臨床技能研修センター



## 和歌山県立医科大学臨床技能研修センター設置及び管理・運営規程

制 定 平成18年11月14日和医大規程第 313 号

最終改正 平成 26 年 3 月 28 日和医大規程第 76 号

### (趣旨)

第 1 条 この規程は、和歌山県立医科大学内に設置する臨床技能研修センターの使用に関して、必要な事項を定めるもので、施設・備品の円滑かつ良好な管理・運営を図ることにある。

### (設置)

第 2 条 和歌山県立医科大学内に臨床技能研修センターを設置する。

2 臨床技能研修センターには、次の研修室を設置する。

- (1) 基本的手技研修室
- (2) 外科的手技研修室
- (3) B L S ・ A C L S 研修室
- (4) 模擬病室

### (目的)

第 3 条 臨床技能研修センターは、和歌山県立医科大学の学生、同附属病院の研修医をはじめとする教職員、さらには地域医療支援のため、地域医療機関等の医療従事者の臨床技能の習得・向上及び安全管理の確立を図ることを目的に設置するものである。

### (審議)

第 4 条 臨床技能研修センターの管理・運営に関する重要事項については、教育研究開発センターの臨床技能教育部会で審議する。

### (管理者の設置)

第 5 条 臨床技能研修センターの管理・運営及び教育支援を行う管理者をおく。

- 2 管理者は、教育研究開発センター長をもって充てる。
- 3 臨床技能研修センターに関する事務は、教育研究開発センターが所管する。

### (管理者の業務)

第 6 条 臨床技能研修センターの管理者の業務は、次のとおりとする。

- (1) 臨床技能研修センターの使用の管理
- (2) 臨床技能研修センターの施設・備品の管理
- (3) 使用者への技術指導
- (4) 使用対象者への広報活動
- (5) 教育研究開発センター臨床技能教育部会への管理・運営報告
- (6) その他、臨床技能研修センターの管理・運営に必要な業務

(使用対象者)

第7条 臨床技能研修センターを使用できる者は、次のとおりとする。

- (1) 和歌山県立医科大学に在籍する学生、大学院生、研究生、研修生、大学院研究生及び博士研究員
- (2) 和歌山県立医科大学及び同附属病院に所属する研修医及び教職員
- (3) 教育研究開発センター、卒後臨床研修センター等、学内組織が主催講習会に参加する者
- (4) 地域医療機関の医療従事者
- (5) その他、管理者が適当と認めた者

(使用内容)

第8条 臨床技能研修センターの使用内容は、次のとおりとする。

- (1) 学生対象の臨床実習準備教育
- (2) 学生対象の臨床実習中の臨床技能教育
- (3) 研修医対象の卒後研修中の臨床技能研修
- (4) 院内・外の医療従事者等対象の臨床技能講習
- (5) 学生、研修医、医師、看護師、救命救急士、市民等対象のBLS・ACLS講習
- (6) 院内の研修医及び教職員対象の安全管理教育
- (7) 第1号から第3号に係る予習・復習等の自己訓練
- (8) その他、管理者が必要と認めた場合

(使用日時)

第9条 臨床技能研修センターを使用できる日は、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める休日、年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）及び本学創立記念日を除く日とする。ただし、管理者が特に必要と認めるときは、この限りではない。

- 2 臨床技能研修センターを使用できる時間は、原則として午前9時から午後5時までとする。ただし、管理者が特に必要と認めるときは、この限りではない。

(使用申込)

第10条 臨床技能研修センターを使用するときは、使用予定日の1か月前から前日までに、臨床技能研修センター使用承認申請書（別紙様式1又は別紙様式2）を管理者に提出し、承認を得なければならない。

- 2 使用の承認を受けた者が、承認された使用日時等を変更するときは、事前に管理者の承認を得なければならない。
- 3 使用の承認を受けた者が、使用を中止しようとするときは、速やかに管理者に届け出なければならない。

(使用承認)

第11条 使用の承認は原則として予約先着順とする。ただし、第8条第1号から第6号までに規定するものについては、優先して使用させることができる。

- 2 予約の重複については、教育研究開発センターにて調整を実施し、管理者が決定を行う。

(使用承認の取り消し等)

第12条 使用の承認を受けた者が、次の各号のいずれかに該当するときは、使用承認を取り消すことがある。

- (1) 使用承認の目的に反したとき。
- (2) 目的以外の使用又は又貸しをしたとき。
- (3) 本規程の取り決めに違反したとき。
- (4) 管理・運営上の支障が生じたとき。

- 2 大学において実習の実施等緊急に必要なが生じたときは、使用承認の取り消し、又は使用の条件変更を行うことがある。

(使用方法)

第13条 臨床技能研修センターの使用にあたって、教育研究開発センターの事務取扱時間内のときは、使用時間直前に、同センター係員に身分証明書を提示し、使用承認の確認を受けたうえで使用すること。

- 2 臨床技能研修センターの使用にあたって、教育研究開発センターの事務取扱時間外の場合は、事務取扱時間内に、同センター係員に身分証明書を提示し、使用承認の確認を受けたうえで、鍵（カード）の貸し出しを受け、使用者が解錠すること。
- 3 事務取扱時間外に臨床技能研修センターを使用した者は、使用を終え次第、戸締まりの確認をしたうえで、鍵を閉めて、速やかに鍵（カード）を教育研究開発センターに返却するものとする。

(自己責任)

第14条 臨床技能研修センターの使用にあたっては、実習指導教員の指導のもとに行うよう努めるものとする。

- 2 臨床技能研修センターの備品を使用する者は、事前に使用方法を理解・習熟していなければならない。なお、使用方法については、教育研究開発センターが適宜、講習会、ビデオ、説明書などを用いて研修を実施するものとする。
- 3 臨床技能研修センターの使用者に、万が一事故が生じたときの責任は、使用者本人が負うものとする。

(遵守事項)

第15条 臨床技能研修センターの使用者は、次の事項を遵守するとともに、管理者及び教育研究開発センター係員の指示に従わなければならない。

- (1) 常に良識ある行動をとり、秩序・風紀の維持及び設備・備品の保全に努めること。
- (2) 使用目的以外の用途には使用しないこと。
- (3) 設備・備品を断りなく改変しないこと。
- (4) 設備・備品を断りなく室外に移動しないこと。

- (5) 常に整理整頓に努めること。
- (6) 使用を終了したときは、設備・備品を使用前の状態に戻すこと。
- (7) 使用済みの注射針等の医療系廃棄物は、所定の容器に廃棄すること。
- (8) 設備・備品を損傷、汚損、紛失しないこと。
- (9) ごみは各自持ち帰ること。
- (10) 飲食・喫煙をしないこと。
- (11) 火気を使用しないこと。
- (12) 使用時間を厳守すること。
- (13) 使用を終えたときは、消灯、空調機器の停止、窓の戸締まりを行うこと。
- (14) 金銭等の貴重品は各自が責任をもって管理すること。
- (15) 設備・備品の取扱いは、各自が責任をもって行うこと。

(備品の使用と報告)

第16条 臨床技能研修センターの備品のうち、保管している消耗品等の使用を予定している者は、使用承認申請書にその旨を記載し、承認を得たうえで、教育研究開発センターの事務取扱時間中に同センター係員に申し出て、立ち会いのうえ、借り受けるものとする。また、使用後も同センター係員立ち会いのうえ、消耗品等の使用済数及び残数を確認のうえで、使用済分は破棄し、未使用分を返却するものとする。なお、使用終了が教育研究開発センターの事務取扱時間外のときは、日を改めて、事務取扱時間中に同センター係員に残数の確認を受け、未使用分を返却するものとする。

- 2 備品のうち、注射針等については、原則として教育研究開発センターの事務取扱時間外には、使用することができない。ただし、実習指導教員の指導のもとで使用するときは、この限りではない。

(貸し出し)

第17条 臨床技能研修センター外で備品の使用を希望する者は、事前に教育研究開発センターに申し出て、所定の手続きを行うものとする。ただし、同センター外で備品を使用できるのは、教育研究開発センター、卒後臨床研修センター等、学内組織が主催または共催する講習会等を実施するときに限る。

(費用負担)

第18条 臨床技能研修センターを使用するときは、使用料の費用負担を求めるものとする。ただし、第7条第1号から第3号に掲げる者は除く。

- 2 臨床技能研修センターにおいて使用した消耗品及び施設・備品の使用料は、公立大学法人和歌山県立医科大学諸料金規程（和医大規程第31号平成18年4月1日制定）及び別表によるものとする。

(損傷等の措置)

第19条 臨床技能研修センターの利用者が故意又は重大な過失によって、施設又は設備・備品等を損傷又は紛失したときは、直ちに教育研究開発センターに届け出て、その指示

を受けなければならない。また、これによって生じた損害又はその原状回復に必要な経費を弁償しなければならない。

- 2 臨床技能研修センターの利用者は、利用した備品等に不具合があったときは、直ちに教育研究開発センターに届け出るものとする。

(雑則)

第20条 この規程に定めるもののほか、管理・運営に関して必要な事項は、管理者が別に定めるものとする。

附 則

この規程は、平成18年11月14日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

## 臨床技能研修センターの利用方法

原則として月曜～金曜（祝日を除く）の午前9時から午後5時にご利用いただけます。

（上記以外でご利用される場合は、教育研究開発センターにご連絡ください。）

### <予約方法>

使用予定日の1か月前から前日までに、使用を申請してください。ご使用には管理者の承認が必要です。

※予約方法は主催者が学内者である場合と、学外者である場合とで異なります。

#### ◆ 学内の方

(1)利用予約フォームからオンライン上での申し込みが出来ます。

または、使用承認申請書をダウンロードしていただき、

(2)スキルスラボ事務室へ直接提出

(3)学内便で教育研究開発センターへ提出

(4)FAX で送信

(5)メールに添付いただき送付（mail：cerd@wakayama-med.ac.jp）

#### ◆ 学外の方

学外者の方は使用料金をいただきます。

また、申請内容について、電話にて事前に打ち合わせをさせていただきます。

使用承認申請書をダウンロードしていただき、

申請内容をご記入の上、下記のいずれかの方法で提出ください。

(1)スキルスラボ事務室へ直接提出

(2)郵送

(3)FAX で送信

(4)メールに添付いただき送付（mail：cerd@wakayama-med.ac.jp）

The screenshot shows the '臨床技能研修センター利用予約フォーム' (Clinical Skills Training Center Reservation Form) on the Wakayama Medical University website. The form is divided into several sections with expandable/collapsible headers:

- 利用目的** (Purpose of Use): Includes checkboxes for 'BLS/AQLS', '基本科手術研修', '外科科手術研修(1-2)', and '他研修施設'.
- 利用期間** (Usage Period): Fields for start and end dates and times, with a dropdown for the year (2010).
- 利用者** (User): Fields for name and affiliation.
- 連絡先** (Contact Information): Fields for name and phone number.

At the bottom, there are buttons for '印刷' (Print) and 'キャンセル' (Cancel).

臨床技能研修センターHP 利用予約フォーム画像

**臨床技能研修センター使用承認申請書**

年 月 日

和歌山県立医科大学臨床技能研修センター管理者  
教育研究開発センター長 様

所属部署 または 学年  
申請者（使用責任者）氏名  
連絡先（電話番号）

以下のとおり、使用の承認を申請いたします。

1. 使用の目的

2. 使用室名 使用を希望する部屋名にチェック☑をして下さい。

☐BLS・ACLS 研修室① ☐BLS・ACLS 研修室②  
☐基本的手技研修室 ☐外科的手技研修室 ☐模擬病室

3. 使用物品

4. 期間 年 月 日 時 分 から 年 月 日 時 分まで

5. 利用者数：約 人

利用者の内訳

| 団体名 | 学外者 | 学内者 |
|-----|-----|-----|
|     | 人   | 人   |
|     | 人   | 人   |
|     | 人   | 人   |

6. 使用する消耗品

| 物品名 | 数量 |
|-----|----|
|     | 個  |
|     | 個  |
|     | 個  |

7. 物品を施設外に持ち出して使用する場合

|        |  |
|--------|--|
| 持ち出し場所 |  |
| 返却責任者  |  |

**臨床技能研修センター使用承認申請書**

**<予約状況の確認>**

予約日程表（<http://www.wakayama-med.ac.jp/clinical/schedule/index.php>）で予約状況を確認してから申請してください。

申請後2～3日で承認作業を行います。予約が確定したことを予約日程表で確認してください（原則として予約先着順となります）。



## センターの備品一覧

| 品名                           | 個数 | 用途                    |
|------------------------------|----|-----------------------|
| 大型静脈穿刺パッド                    | 20 | 静脈穿刺トレーニング            |
| 胸腔穿刺シミュレーター                  | 1  | 胸腔穿刺手技練習              |
| 胸部ドレーンシミュレーター                | 1  | 胸腔ドレナージ手技練習           |
| 手背静脈注射シミュレーター                | 1  | 静脈穿刺手技練習              |
| 小児の手背静脈穿刺シミュレーター             | 1  | 乳幼児への静脈注射・採血、点滴静注手技練習 |
| 動脈穿刺シミュレーター                  | 1  | 動脈穿刺・動脈血採取トレーニング      |
| 腰椎穿刺シミュレーター                  | 1  | 腰椎穿刺、硬膜外麻酔、腰椎麻酔       |
| CVC 穿刺シミュレーター                | 2  | 中心静脈穿刺手技練習            |
| 末梢挿入中心静脈カテーテル<br>PICC シミュレータ | 3  | 末梢中心静脈カテーテルの挿入        |
| 静脈採血シミュレーター“シンジョー”           | 4  | 採血手技練習、静脈内注射          |
| 点滴静注シミュレータ“Vライン”             | 3  | 静脈留置針を使用した末梢静脈路確保手技   |
| 縫合手技評価シミュレーター                | 1  | 外科縫合手技のトレーニング         |
| 装着式 上腕筋肉注射シミュレーター            | 1  | 筋肉注射の手技練習             |
| 神経血管腕モデル                     | 1  |                       |
| 皮内注射シミュレーター                  | 1  | 皮内注射手技練習              |
| 外科手洗い台                       | 2  | 手洗いトレーニング(2人用)        |
| グリッターバグセット                   | 4  | 手洗いトレーニング             |
| ダヴィンチトレーナー                   | 1  | ロボット内視鏡手術のトレーニング      |
| 腹腔鏡シミュレーター                   | 1  | 腹腔鏡手技トレーニング           |
| 腹腔鏡                          | 1  | 腹腔鏡手技トレーニング           |
| MATT トレーナー                   | 1  | 腹腔鏡手技トレーニング           |
| 内視鏡シミュレーター                   | 1  | 内視鏡手技トレーニング           |
| 内視鏡                          | 1  | 内視鏡手技トレーニング           |



| 品名                          | 個数 | 用途                     |
|-----------------------------|----|------------------------|
| マーゲンシミュレーター                 | 1  | 上部内視鏡手技トレーニング          |
| 大腸内視鏡シミュレーター                | 2  | 下部内視鏡手技トレーニング          |
| 超音波トレーニングシミュレーター (UltraSim) | 1  | エコー診断のトレーニング           |
| 超音波画像診断装置                   | 1  |                        |
| トレーニング用エコー                  | 3  |                        |
| 腹部病変モデル                     | 1  |                        |
| 12 誘導心電計                    | 1  |                        |
| イチロー & ラング                  | 1  | 心音・肺音聴診練習              |
| 心臓病診察 (イチロー)                | 1  | 心音聴診練習                 |
| Mr.ラング (スピーカー有)             | 1  | 肺音聴診練習                 |
| Mr.ラング (スピーカー無)             | 1  | 肺音聴診練習                 |
| フィジカルアセスメントモデル “Physiko”    | 1  | 心電図の学習、聴診、血圧測定、瞳孔反射の確認 |
| 産科シミュレーター (ソフィー)            | 1  | 分娩のシミュレーション            |
| 眼底診察                        | 5  | 眼の診察練習                 |
| 耳の診察                        | 5  | 耳の診察練習                 |
| 直腸診シミュレーター                  | 4  | 直腸診トレーニング              |
| 男性導尿法シミュレーター                | 3  | 男性導尿法手技練習              |
| 導尿・浣腸シミュレーター 男性             | 2  | 男性導尿法および浣腸法手技練習        |
| 導尿・浣腸シミュレーター 女性             | 1  | 男性導尿法および浣腸法手技練習        |
| 男性骨盤                        | 4  | 直腸診等練習                 |
| 女性骨盤                        | 3  | 女性骨盤部内診練習              |
| 前立腺触診                       | 1  | 前立腺触診練習                |
| 前立腺触診シミュレーターB 型             | 4  | 前立腺触診練習                |
| 乳房検診                        | 3  | 乳房の触診練習                |
| 乳癌検診                        | 4  | 乳癌触診練習                 |

| 品名               | 個数                                  | 用途                     |
|------------------|-------------------------------------|------------------------|
| ナーシングアン          | 5                                   | 患者ケアトレーニング             |
| SimPad           | 1                                   | 患者対応シミュレーション           |
| 万能型成人看護モデル“さくら”  | 1                                   | 導尿、胃管挿入、移送、移乗など        |
| 救急ケアシミュレーター(ECS) | 1                                   | 患者ケアトレーニング             |
| SimMan3G         | 1                                   | 患者ケアトレーニング             |
| 除細動器             | 4                                   |                        |
| 人工呼吸器(VELA)      | 1                                   | 救急ケアシミュレーターに接続可能       |
| 生体情報モニタ          | 1                                   | 救急ケアシミュレーターに接続可能       |
| 輸液ポンプ            | 5                                   | 点滴静脈内注射手技練習            |
| シリンジポンプ          | 1                                   | 点滴静脈内注射手技練習            |
| レサシアン(半身タイプ)     | 17                                  | BLS 訓練、AED 実技訓練        |
| レサシアン with QCPR  | 9                                   | BLS 訓練、AED 実技訓練        |
| レサシアン(全身タイプ)     | 1                                   | BLS 訓練、AED 実技訓練        |
| レサシアンシミュレータ      | 3                                   | BLS 訓練、AED 実技訓練、救命処置訓練 |
| リトルジュニア          | 7                                   | BLS 訓練、AED 実技訓練        |
| ベビーアン            | 7                                   | BLS 訓練、AED 実技訓練        |
| Ambubaby         | 1                                   | BLS 訓練                 |
| チョーキングチャーリー      | 3                                   | ハイムリッヒ法訓練              |
| ポケットマスク          | 20                                  | 人工呼吸訓練                 |
| AEDトレーナー         | AED 実技訓練(レールダル:27、メドトロニック:5、日本光電:5) |                        |
| エアウェイトレーニングシステム  | 2                                   | 気管内挿管手技練習              |
| 気道管理トレーナー        | 1                                   | 気管内挿管手技練習              |
| DAM シミュレーター      | 1                                   | 気管内挿管手技練習              |
| ビデオ喉頭鏡           | 1                                   |                        |
| ハートシム            | 1                                   | 救命処置訓練                 |

| 品名                          | 個数                   | 用途                |
|-----------------------------|----------------------|-------------------|
| SimNewB                     | 1                    | 新生児領域の教育カリキュラムに対応 |
| 新生児気道管理トレーナー                | 3                    | 新生児の気道管理トレーニング    |
| Neonatal Resuscitation Baby | 3                    | 新生児蘇生トレーニング       |
| New Born Anne               | 1                    | 新生児蘇生トレーニング       |
| 新生児挿管モデル                    | 1                    | 気管内挿管手技練習         |
| レサシフロー                      | 1                    |                   |
| 気管切開トレーナー                   | 1                    | 気管切開手技練習          |
| バックバルブマスク                   | 成人用:26、小児用:10 新生児用:3 |                   |
| 血圧測定シミュレーター                 | 3                    | 血圧測定の練習           |
| 口腔ケアモデル“セイケツくん”             | 5                    | 口腔内清潔手技練習         |
| 褥創ケアモデル                     | 1                    |                   |
| 吸引シミュレーター“Q ちゃん”            | 2                    | 吸引手技練習            |
| 吸引モデルⅡ型                     | 2                    | 吸引手技練習            |
| 携帯用小型吸引器                    | 2                    | 吸引手技練習            |
| 大型吸引器                       | 2                    | 吸引手技練習            |



平成29年度 スキルラボ利用実績一覧

| 使用開始日時      | 使用終了日時      | 使用団体名            | 使用の目的                          | 使用物品                                                                        | 持出 | 使用者数   |    | 計   | 主たる使用者の職名 |
|-------------|-------------|------------------|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|----|--------|----|-----|-----------|
|             |             |                  |                                |                                                                             |    | 使用者の内訳 | 学内 |     |           |
| 4月1日9時00分   | 4月2日19時00分  | 産婦人科             | トレーニング                         | 腹腔鏡シミュレーター                                                                  |    | 1      | 0  | 1   | 医師        |
| 4月3日13時00分  | 4月30日17時00分 | 卒後臨床研修センター       | 縫合の練習                          | 外科縫合セット                                                                     | 有  | 1      | 0  | 1   | 医師        |
| 4月4日10時00分  | 4月4日16時00分  | 卒後臨床研修センター       | 平成29年度新規採用研修医オリエンテーション         | 静脈採血シミュレーター4台、プロジェクター、スクリーン                                                 |    | 60     | 0  | 60  | 医師        |
| 4月4日10時00分  | 4月30日17時00分 | 卒後臨床研修センター       | 縫合の練習                          | 外科縫合セット                                                                     | 有  | 1      | 0  | 1   | 医師        |
| 4月4日16時20分  | 4月4日17時30分  | 第二外科             | トレーニング                         | 腹腔鏡シミュレーター                                                                  |    | 1      | 0  | 1   | 医師        |
| 4月5日12時00分  | 4月5日17時00分  | 医学部5年生           | 循環器内科ポリクリ                      | 心音聴診シミュレーター、心臓模型、ホワイトボード                                                    |    | 5      | 0  | 5   | 学生        |
| 4月6日9時00分   | 4月6日17時00分  | 地域医療支援センター       | 1次心肺蘇生法講習会                     | レサシアン17体、レサシアンwith QCPR9体、チョーキングチャーリー3体、ベビーアン15体、バックバルブマスク26個、スクリーン、プロジェクター |    | 100    | 10 | 110 | 医師        |
| 4月6日15時30分  | 4月6日16時00分  | 卒後臨床研修センター       | 学習                             | エコー                                                                         |    | 2      | 0  | 2   | 医師        |
| 4月6日16時30分  | 4月28日17時00分 | 卒後臨床研修センター       | 縫合の練習                          | 外科縫合セット                                                                     | 有  | 1      | 0  | 1   | 医師        |
| 4月7日15時00分  | 4月14日11時00分 | 救急集中治療医学講座       | 研修医への指導                        | CVCシミュレーター、DAMシミュレーター                                                       | 有  | 10     | 0  | 10  | 医師        |
| 4月7日15時30分  | 4月7日16時00分  | 産婦人科             | 学生への教育                         | 産科シミュレーター                                                                   | 有  | 5      | 0  | 5   | 学生        |
| 4月7日17時00分  | 4月7日19時00分  | 卒後臨床研修センター       | 採血の練習                          | 駆血帯、腕用枕、針捨て容器                                                               |    | 12     | 0  | 12  | 医師        |
| 4月10日8時00分  | 4月11日18時00分 | 地域医療支援センター       | 1次心肺蘇生法講習会                     | レサシアン17体、レサシアンwith QCPR9体、チョーキングチャーリー3体、ベビーアン15体、バックバルブマスク26個、スクリーン、プロジェクター |    | 100    | 10 | 110 | 看護師       |
| 4月10日10時00分 | 4月21日17時00分 | 7階西病棟            | 採血のOJT                         | 静脈採血シミュレーター1台                                                               | 有  | 2      | 0  | 2   | 看護師       |
| 4月10日10時00分 | 5月1日17時00分  | 麻酔科              | 学生への指導                         | 気道管理トレーナー                                                                   | 有  | 5      | 0  | 5   | 医師        |
| 4月10日18時00分 | 4月10日22時00分 | 卒後臨床研修センター       | 学習                             | 内視鏡シミュレーター                                                                  |    | 1      | 0  | 1   | 医師        |
| 4月10日22時00分 | 4月11日0時00分  | 第二外科             | トレーニング                         | 腹腔鏡シミュレーター                                                                  |    | 1      | 0  | 1   | 医師        |
| 4月11日14時00分 | 5月11日14時00分 | 卒後臨床研修センター       | 縫合の練習                          | 外科縫合セット                                                                     | 有  | 1      | 0  | 1   | 医師        |
| 4月11日19時00分 | 4月11日21時00分 | 卒後臨床研修センター       | 採血の練習                          | 駆血帯、腕用枕、針捨て容器                                                               |    | 2      | 0  | 2   | 医師        |
| 4月12日9時00分  | 4月12日12時00分 | 第二内科             | 学生及び研修医の内視鏡トレーニング              | 内視鏡シミュレーター、マーゲンシミュレーター、内視鏡                                                  |    | 10     | 0  | 10  | 医師        |
| 4月12日12時00分 | 5月11日17時00分 | 卒後臨床研修センター       | 縫合の練習                          | 外科縫合セット                                                                     | 有  | 1      | 0  | 1   | 医師        |
| 4月12日12時40分 | 4月12日13時40分 | 卒後臨床研修センター       | 採血手技練習                         | 駆血帯、腕用枕、針捨て容器、点滴静注シミュレーター                                                   |    | 4      | 0  | 4   | 医師        |
| 4月12日13時30分 | 4月12日17時00分 | 医学部6年生           | 縫合の練習                          | 外科縫合セット                                                                     | 有  | 3      | 0  | 3   | 学生        |
| 4月12日15時00分 | 4月12日16時00分 | 泌尿器科             | ポリクリ実習                         | ダヴィンチトレーナー                                                                  |    | 6      | 0  | 6   | 学生        |
| 4月12日16時30分 | 4月12日17時00分 | 卒後臨床研修センター       | 学習                             | エコー                                                                         |    | 2      | 0  | 2   | 医師        |
| 4月12日19時00分 | 4月12日22時00分 | 卒後臨床研修センター       | トレーニング                         | エコー、内視鏡シミュレーター                                                              |    | 1      | 0  | 1   | 医師        |
| 4月13日16時00分 | 4月13日18時00分 | 卒後臨床研修センター       | 学習                             | 内視鏡シミュレーター                                                                  |    | 1      | 0  | 1   | 医師        |
| 4月14日10時00分 | 4月28日17時00分 | 医学部6年生           | 縫合の練習                          | 外科縫合セット                                                                     | 有  | 1      | 0  | 1   | 学生        |
| 4月15日13時30分 | 4月15日15時00分 | 看護キャリア開発センター     | 特定行為研修オリエンテーション                |                                                                             |    | 2      | 4  | 6   | 看護師       |
| 4月16日8時00分  | 4月16日18時00分 | 医療安全推進部          | 心肺蘇生一次救命処置講習会                  | レサシアンwith QCPR4体、チョーキングチャーリー3体、ベビーアン4体、リトルジュニア4体、バックバルブマスク26個、スクリーン、プロジェクター |    | 4      | 4  | 8   | 医師        |
| 4月16日15時00分 | 4月16日17時00分 | 第二外科             | トレーニング                         | 腹腔鏡シミュレーター                                                                  |    | 1      | 0  | 1   | 医師        |
| 4月17日9時00分  | 4月17日17時00分 | 麻酔科              | 学生への指導                         | CVCシミュレーター                                                                  | 有  | 5      | 0  | 5   | 学生        |
| 4月17日12時15分 | 4月17日13時30分 | 第二外科             | トレーニング                         | 腹腔鏡シミュレーター                                                                  |    | 3      | 0  | 3   | 医師        |
| 4月17日14時00分 | 4月17日18時00分 | 看護キャリア開発センター     | 看護技術指導                         | ナースングアン3体、静脈採血シミュレーター3台、ベッド2台、車椅子6台、支柱台8台、輸液ポンプ、シリンジポンプ、血圧計3台、聴診器6個         | 有  | 80     | 0  | 80  | 看護師       |
| 4月17日15時00分 | 4月17日16時15分 | 教育研究開発センター       | Student Doctor称号授与式参加の保護者の施設見学 | SimMan3G、プロジェクター、スクリーン、マイク・スピーカー                                            |    | 5      | 80 | 85  | 一般参加者     |
| 4月18日10時00分 | 4月18日18時00分 | 和医大臨床技能サークル      | 平成29年度新入生対象BLS講習会              | レサシアン6体、AEDトレーナー6台、BLS訓練用マット、ポケットマスク、マイク・スピーカー、ホワイトボード                      |    | 110    | 0  | 110 | 学生        |
| 4月18日13時00分 | 5月18日17時00分 | 卒後臨床研修センター       | 縫合の練習                          | 外科縫合セット                                                                     | 有  | 1      | 0  | 1   | 医師        |
| 4月18日17時00分 | 4月18日19時00分 | 卒後臨床研修センター       | 内視鏡の練習                         | 内視鏡、マーゲンシミュレーター、内視鏡シミュレーター                                                  |    | 3      | 0  | 3   | 医師        |
| 4月19日9時00分  | 4月19日17時00分 | 琴の浦リハビリテーションセンター | 新人教育                           | 静脈採血シミュレーター                                                                 | 有  | 3      | 0  | 3   | 看護師       |
| 4月19日9時00分  | 4月19日12時00分 | 第二内科             | 学生及び研修医の内視鏡トレーニング              | 内視鏡シミュレーター、マーゲンシミュレーター、内視鏡                                                  |    | 10     | 0  | 10  | 医師        |
| 4月19日12時00分 | 4月19日17時00分 | 医学部5年生           | 循環器内科ポリクリ                      | 心音聴診シミュレーター、心臓模型、ホワイトボード                                                    |    | 5      | 0  | 5   | 学生        |
| 4月19日16時00分 | 4月19日18時00分 | 卒後臨床研修センター       | 内視鏡の練習                         | 内視鏡、マーゲンシミュレーター、内視鏡シミュレーター                                                  |    | 3      | 0  | 3   | 医師        |
| 4月20日12時00分 | 4月20日16時00分 | 教育研究開発センター       | 和歌山SPの会開催                      | プロジェクター、スクリーン、パソコン、マイク・スピーカー、ホワイトボード                                        |    | 7      | 30 | 37  | 一般参加者     |
| 4月20日13時00分 | 4月27日17時00分 | 神経内科             | 縫合の練習                          | 外科縫合セット                                                                     | 有  | 1      | 0  | 1   | 医師        |
| 4月21日15時30分 | 4月21日16時00分 | 産婦人科             | 学生への教育                         | 産科シミュレーター                                                                   |    | 5      | 0  | 5   | 学生        |
| 4月22日9時00分  | 4月22日11時00分 | 卒後臨床研修センター       | 学習                             | 内視鏡シミュレーター                                                                  |    | 1      | 0  | 1   | 医師        |
| 4月24日10時00分 | 4月25日12時00分 | 地域医療支援センター       | 学生の教育                          | エコー                                                                         | 有  | 6      | 1  | 7   | 学生        |
| 4月24日13時30分 | 4月28日17時00分 | 12階東病棟           | 静脈留置のOJT                       | 点滴静注シミュレーター                                                                 | 有  | 2      | 0  | 2   | 看護師       |
| 4月24日14時00分 | 4月24日18時00分 | 看護キャリア開発センター     | 看護技術指導                         | ナースングアン3体、静脈採血シミュレーター3台、ベッド2台、車椅子6台、支柱台8台、輸液ポンプ、シリンジポンプ、血圧計3台、聴診器6個         | 有  | 80     | 0  | 80  | 看護師       |
| 4月24日16時00分 | 5月1日17時00分  | 10階東病棟           | 研修                             | レサシアンwith QCPR、リトルジュニア                                                      | 有  | 5      | 0  | 5   | 看護師       |
| 4月25日14時00分 | 4月25日17時00分 | 卒後臨床研修センター       | 中心静脈カテーテル挿入練習                  | CVCシミュレーター、エコー                                                              |    | 5      | 0  | 5   | 医師        |
| 4月25日17時00分 | 4月25日22時00分 | 卒後臨床研修センター       | エコーのトレーニング                     | エコー                                                                         |    | 4      | 0  | 4   | 医師        |
| 4月26日17時00分 | 4月26日22時00分 | 卒後臨床研修センター       | エコーのトレーニング                     | エコー                                                                         |    | 4      | 0  | 4   | 医師        |
| 4月27日14時00分 | 4月27日17時00分 | 第二外科             | 練習                             | 内視鏡、大腸内視鏡モデル、腹腔鏡シミュレーター                                                     |    | 4      | 0  | 4   | 医師        |
| 4月28日14時15分 | 4月28日17時00分 | 第二内科             | 研修医指導                          | 内視鏡、マーゲンシミュレーター、内視鏡シミュレーター                                                  |    | 5      | 0  | 5   | 医師        |

使用先生件数(4月) 55件 704人 139人 843人

平成29年度 スキルラボ利用実績一覧

| 使用開始日時      | 使用終了日時      | 使用団体名        | 使用の目的                  | 使用物品                                                                                               | 持出 | 使用者数   |     | 計   | 主たる使用者の職名 |
|-------------|-------------|--------------|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------|-----|-----|-----------|
|             |             |              |                        |                                                                                                    |    | 使用者の内訳 |     |     |           |
|             |             |              |                        |                                                                                                    |    | 学内     | 学外  |     |           |
| 5月1日10時30分  | 5月1日12時00分  | 第二内科         | 学生への指導                 | 内視鏡、マーゲンシミュレーター、内視鏡シミュレーター                                                                         |    | 3      | 0   | 3   | 学生        |
| 5月2日13時30分  | 5月2日17時00分  | 第二内科         | 研修医指導                  | 内視鏡、マーゲンシミュレーター、内視鏡シミュレーター                                                                         |    | 7      | 0   | 7   | 医師        |
| 5月3日8時30分   | 5月3日23時00分  | 第二外科         | 練習                     | 腹腔鏡シミュレーター                                                                                         |    | 2      | 0   | 2   | 医師        |
| 5月6日12時00分  | 5月6日18時00分  | 第二外科         | トレーニング                 | 腹腔鏡シミュレーター                                                                                         |    | 1      | 0   | 1   | 医師        |
| 5月8日9時00分   | 5月9日17時00分  | 麻酔科          | 学生への指導                 | CVCシミュレーター                                                                                         | 有  | 5      | 0   | 5   | 学生        |
| 5月8日9時00分   | 5月10日17時00分 | 8階西病棟        | 病棟でのヘパリンロックのOJT        | 点滴静注シミュレーター                                                                                        | 有  | 4      | 0   | 4   | 看護師       |
| 5月8日16時00分  | 5月8日19時00分  | 和医大臨床技能サークル  | サークル活動                 | レサシアンシミュレーター、心音聴診シミュレーター、エコー、腹部病変モデル                                                               |    | 12     | 0   | 12  | 学生        |
| 5月9日13時00分  | 6月9日17時00分  | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習                  | 外科縫合セット                                                                                            | 有  | 1      | 0   | 1   | 医師        |
| 5月9日13時00分  | 6月9日17時00分  | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習                  | 外科縫合セット                                                                                            | 有  | 1      | 0   | 1   | 医師        |
| 5月9日13時00分  | 6月2日17時00分  | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習                  | 外科縫合セット                                                                                            | 有  | 1      | 0   | 1   | 医師        |
| 5月9日15時15分  | 5月9日17時00分  | 医学部5年生       | エコーの勉強                 | エコー                                                                                                |    | 2      | 0   | 2   | 学生        |
| 5月10日9時00分  | 5月10日10時00分 | 医学部5年生       | エコーの練習                 | エコー、腹部病変モデル                                                                                        |    | 1      | 0   | 1   | 学生        |
| 5月10日10時00分 | 5月18日17時00分 | CCU          | 職場内研修                  | ハートシム、バックバルブマスク                                                                                    | 有  | 10     | 0   | 10  | 看護師       |
| 5月10日10時30分 | 5月10日12時00分 | 第二内科         | 内視鏡の実技研修               | 内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター                                                                         |    | 4      | 0   | 4   | 医師        |
| 5月10日12時00分 | 5月10日17時00分 | 医学部5年生       | 循環器内科ポリクリ              | 心音聴診シミュレーター、心臓模型、ホワイトボード                                                                           |    | 5      | 0   | 5   | 学生        |
| 5月11日14時00分 | 5月11日18時00分 | 看護キャリア開発センター | 看護技術指導                 | ナースングアン3体、静脈採血シミュレーター3台、ベッド2台、車椅子6台、支柱台8台、輸液ポンプ、シリンジポンプ、血圧計3台、聴診器6個                                | 有  | 80     | 0   | 80  | 看護師       |
| 5月12日9時00分  | 5月26日17時00分 | 6階西病棟        | 学習会                    | 女性導尿・浣腸シミュレーター                                                                                     | 有  | 7      | 0   | 7   | 看護師       |
| 5月12日14時00分 | 5月12日17時00分 | 卒後臨床研修センター   | トレーニング                 | エコー                                                                                                |    | 2      | 0   | 2   | 医師        |
| 5月12日14時00分 | 5月12日17時00分 | 泌尿器科         | ポリクリ実習                 | ダヴィンチトレーナー                                                                                         |    | 5      | 0   | 5   | 学生        |
| 5月12日19時00分 | 5月12日21時00分 | 第二外科         | トレーニング                 | 腹腔鏡シミュレーター                                                                                         |    | 1      | 0   | 1   | 医師        |
| 5月13日9時00分  | 5月13日17時00分 | 泌尿器科         | ダヴィンチの練習               | ダヴィンチトレーナー                                                                                         |    | 2      | 0   | 2   | 医師        |
| 5月15日9時00分  | 5月17日17時00分 | 麻酔科          | 学生への指導                 | CVCシミュレーター                                                                                         | 有  | 5      | 0   | 5   | 学生        |
| 5月15日14時00分 | 5月14日17時00分 | 泌尿器科         | ダヴィンチの練習               | ダヴィンチトレーナー                                                                                         |    | 2      | 0   | 2   | 医師        |
| 5月15日14時00分 | 5月15日18時00分 | 看護キャリア開発センター | 看護技術指導                 | ナースングアン3体、静脈採血シミュレーター3台、ベッド2台、車椅子6台、支柱台8台、輸液ポンプ、シリンジポンプ、血圧計3台、聴診器6個                                | 有  | 80     | 0   | 80  | 看護師       |
| 5月16日16時00分 | 5月17日17時00分 | 外来看護師        | トレーニング                 | 点滴静注シミュレーター                                                                                        | 有  | 2      | 0   | 2   | 看護師       |
| 5月18日12時00分 | 5月18日16時00分 | 教育研究開発センター   | 和歌山SPの会開催              | プロジェクター、スクリーン、パソコン、マイク・スピーカー、ホワイトボード                                                               |    | 7      | 25  | 32  | 一般参加者     |
| 5月18日13時00分 | 5月18日14時30分 | 卒後臨床研修センター   | スキルアップ                 | 内視鏡シミュレーター                                                                                         |    | 5      | 0   | 5   | 医師        |
| 5月19日13時20分 | 5月19日14時30分 | 第二内科         | トレーニング                 | エコー、腹部病変モデル                                                                                        |    | 2      | 0   | 2   | 医師        |
| 5月19日17時00分 | 5月21日18時00分 | 救急集中治療医学講座   | 二次心肺蘇生法講習会             | ハートシム、レサシアンシミュレーター3体、レサシアンwith QCPR9体、除細動器、AEDトレーナー9台、DAMシミュレーター、気道管理トレーナー、バックバルブマスク、プロジェクター、スクリーン |    | 15     | 5   | 20  | 医師        |
| 5月20日9時00分  | 5月21日17時00分 | 泌尿器科         | トレーニング                 | ダヴィンチトレーナー                                                                                         |    | 2      | 0   | 2   | 医師        |
| 5月22日9時00分  | 5月24日17時00分 | 麻酔科          | 学生への指導                 | CVCシミュレーター                                                                                         | 有  | 5      | 0   | 5   | 学生        |
| 5月22日9時00分  | 6月16日17時00分 | CCU          | 職場内研修                  | ハートシム、バックバルブマスク                                                                                    | 有  | 10     | 0   | 10  | 看護師       |
| 5月22日10時20分 | 5月22日11時00分 | 泌尿器科         | 臨床実習                   | ダヴィンチトレーナー                                                                                         |    | 5      | 0   | 5   | 学生        |
| 5月22日12時00分 | 6月9日17時00分  | 医学部6年生       | 形成外科選択ポリクリでの実習         | 縫合セット                                                                                              | 有  | 2      | 0   | 2   | 学生        |
| 5月22日14時30分 | 5月22日15時30分 | 第二外科         | 練習                     | 腹腔鏡シミュレーター                                                                                         |    | 1      | 0   | 1   | 医師        |
| 5月23日12時00分 | 5月30日17時00分 | 10階東病棟       | 研修                     | 吸引モデル                                                                                              | 有  | 5      | 0   | 5   | 看護師       |
| 5月23日12時00分 | 6月23日17時00分 | 産婦人科         | 練習                     | 縫合セット                                                                                              | 有  | 1      | 0   | 1   | 医師        |
| 5月24日9時00分  | 5月24日10時00分 | CCU          | 静脈注射テスト                | 静脈採血シミュレーター                                                                                        | 有  | 3      | 0   | 3   | 看護師       |
| 5月24日13時00分 | 5月24日17時00分 | 医学部5年生       | 循環器内科ポリクリ              | 心音聴診シミュレーター、心臓模型、ホワイトボード                                                                           |    | 5      | 0   | 5   | 学生        |
| 5月25日8時00分  | 6月1日17時00分  | 救急集中治療医学講座   | 1次心肺蘇生普及               | レサシアンwith QCPR2体、AEDトレーナー2台、バックバルブマスク2個、ベビーアン2体                                                    | 有  | 3      | 3   | 6   | 医師        |
| 5月25日10時00分 | 5月25日12時00分 | 泌尿器科         | 医学部2年生病棟見学での実習         | ダヴィンチトレーナー                                                                                         |    | 4      | 0   | 4   | 学生        |
| 5月25日15時00分 | 5月26日11時00分 | 救急集中治療医学講座   | 研修                     | CVCシミュレーター、気道管理トレーナー                                                                               | 有  | 15     | 0   | 15  | 医師        |
| 5月26日12時00分 | 5月29日17時00分 | 麻酔科          | 麻酔セミナーでの実地練習           | 動脈穿刺シミュレーター、腰椎穿刺シミュレーター、エアウェイトトレーニングシステム                                                           | 有  | 20     | 0   | 20  | 医師        |
| 5月26日13時00分 | 5月27日19時00分 | 血液内科         | JMECC(日本内科学会認定ICLSコース) | レサシアン9体、AEDトレーナー9台、レサシアンシミュレーター3体、除細動器3台、気道管理トレーナー、エアウェイトトレーニングシステム、救急カート、バックバルブマスク9個。プロジェクター、スク   |    | 40     | 0   | 40  | 医師        |
| 5月26日15時30分 | 5月26日17時00分 | 産婦人科         | 学生への教育                 | 産科シミュレーター                                                                                          | 有  | 5      | 0   | 5   | 学生        |
| 5月28日7時00分  | 5月28日19時00分 | 医療安全推進部      | 心肺蘇生法講習会               | レサシアンwith QCPR4体、ベビーアン4体、リトルジュニア4体、チョーキングチャーリー3体、バックバルブマスク、AEDトレーナー、スクリーン、プロジェクター                  |    | 8      | 5   | 13  | 医師        |
| 5月28日19時00分 | 5月28日20時00分 | 卒後臨床研修センター   | 腹腔鏡のトレーニング             | 腹腔鏡シミュレーター                                                                                         |    | 1      | 0   | 1   | 医師        |
| 5月28日20時00分 | 5月28日0時00分  | 第二外科         | 腹腔鏡のトレーニング             | 腹腔鏡シミュレーター                                                                                         |    | 1      | 0   | 1   | 医師        |
| 5月29日9時00分  | 5月29日10時03分 | 泌尿器科         | ポリクリ実習                 | ダヴィンチトレーナー                                                                                         |    | 5      | 0   | 5   | 学生        |
| 5月29日13時00分 | 5月31日17時00分 | 救急集中治療医学講座   | 講習会                    | AEDトレーナー10台                                                                                        | 有  | 2      | 190 | 192 | 一般参加者     |
| 5月29日14時00分 | 5月29日17時00分 | 泌尿器科         | ダヴィンチの練習               | ダヴィンチトレーナー                                                                                         |    | 2      | 0   | 2   | 医師        |
| 5月29日16時30分 | 5月29日18時00分 | 地域医療支援センター   | プライマリ・ケア勉強会            | エコー                                                                                                | 有  | 10     | 1   | 11  | 学生        |
| 5月30日19時00分 | 5月30日20時00分 | 第二外科         | 腹腔鏡のトレーニング             | 腹腔鏡シミュレーター                                                                                         |    | 1      | 0   | 1   | 医師        |
| 5月31日14時00分 | 5月31日21時00分 | 泌尿器科         | ダヴィンチの練習               | ダヴィンチトレーナー                                                                                         |    | 2      | 0   | 2   | 医師        |

使用申請件数 54件 432人 229人 661人



平成29年度 スキルラボ利用実績一覧

| 使用開始日時      | 使用終了日時      | 使用団体名        | 使用の目的              | 使用物品                                                                                                  | 持出 | 使用者数 |    | 計  | 主たる使用者の職名 |
|-------------|-------------|--------------|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|------|----|----|-----------|
|             |             |              |                    |                                                                                                       |    | 学内   | 学外 |    |           |
| 6月1日13時00分  | 6月1日18時30分  | 助産学専攻科       | 講義                 | 産科シミュレーター、プロジェクター、スクリーン、パソコン                                                                          |    | 10   | 1  | 11 | 学生        |
| 6月1日18時00分  | 6月1日19時00分  | 卒後臨床研修センター   | 腹腔鏡のトレーニング         | 腹腔鏡シミュレーター                                                                                            |    | 1    | 0  | 1  | 医師        |
| 6月2日9時00分   | 6月6日18時00分  | 救急集中治療医学講座   | 心肺蘇生の研究            | レサシアンwith QCPR3体、AEDトレーナー3台                                                                           | 有  | 2    | 2  | 4  | 医師        |
| 6月2日12時00分  | 6月5日12時00分  | 周産期母子医療センター  | 講習会                | 新生児蘇生人形2体、新生児挿管人形3体                                                                                   | 有  | 1    | 30 | 31 | 医師        |
| 6月5日9時00分   | 6月6日17時00分  | 麻酔科          | 学生への指導             | CVCシミュレーター                                                                                            | 有  | 5    | 0  | 5  | 学生        |
| 6月6日17時30分  | 6月6日19時30分  | 卒後臨床研修センター   | 練習                 | CVCシミュレーター、エコー                                                                                        |    | 4    | 0  | 4  | 医師        |
| 6月7日9時00分   | 6月7日14時00分  | 麻酔科          | 学生への指導             | SimMan3G、救急カート                                                                                        |    | 8    | 0  | 8  | 学生        |
| 6月7日13時00分  | 6月7日17時00分  | 医学部5年生       | 循環器内科ポリクリ          | 心音聴診シミュレーター、心臓模型、ホワイトボード                                                                              |    | 5    | 0  | 5  | 学生        |
| 6月8日12時00分  | 6月12日17時00分 | 血液内科         | ICLSの実施            | 気道管理トレーナー                                                                                             | 有  | 10   | 0  | 10 | 医師        |
| 6月8日14時00分  | 6月8日15時00分  | 卒後臨床研修センター   | トレーニング             | エコー、腹部病変モデル                                                                                           |    | 1    | 0  | 1  | 医師        |
| 6月8日18時00分  | 6月8日22時00分  | 卒後臨床研修センター   | BLS                | レサシアン(全身タイプ)、ベッド、AEDトレーナー                                                                             |    | 6    | 0  | 6  | 医師        |
| 6月8日18時00分  | 6月8日19時00分  | 第二外科         | 腹腔鏡のトレーニング         | 腹腔鏡シミュレーター                                                                                            |    | 1    | 0  | 1  | 医師        |
| 6月9日10時00分  | 6月12日17時00分 | 救急集中治療医学講座   | 研修会                | レサシアン2体、AEDトレーナー2台                                                                                    | 有  | 50   | 0  | 50 | 医師        |
| 6月9日13時00分  | 6月9日18時00分  | 紀北分院小児科      | NCPR講習会            | 新生児蘇生人形3体、新生児挿管人形、レサシフロー、吸引器、プロジェクター、スクリーン                                                            |    | 3    | 10 | 13 | 医師        |
| 6月9日15時30分  | 6月9日17時00分  | 産婦人科         | 学生への教育             | 産科シミュレーター                                                                                             | 有  | 5    | 0  | 5  | 学生        |
| 6月10日12時00分 | 6月10日19時00分 | 周産期母子医療センター  | 新生児蘇生法講習会          | 新生児蘇生人形3体、新生児挿管人形、レサシフロー、吸引器、プロジェクター、スクリーン                                                            |    | 10   | 0  | 10 | 医師        |
| 6月11日10時00分 | 6月11日12時00分 | 放射線科         | 腹部エコーのトレーニング       | エコー                                                                                                   |    | 2    | 0  | 2  | 医師        |
| 6月12日10時00分 | 6月16日17時00分 | 6階西病棟        | 新人のトレーニング          | 筋肉注射シミュレーター、皮内注射シミュレーター                                                                               | 有  | 7    | 0  | 7  | 看護師       |
| 6月12日12時30分 | 6月30日17時00分 | 医学部6年生       | 縫合の練習              | 縫合セット                                                                                                 | 有  | 1    | 0  | 1  | 学生        |
| 6月12日15時30分 | 6月2日16時30分  | 卒後臨床研修センター   | 練習                 | エコー                                                                                                   |    | 2    | 0  | 2  | 医師        |
| 6月12日18時00分 | 6月8日22時00分  | 卒後臨床研修センター   | BLS                | レサシアン(全身タイプ)、ベッド、AEDトレーナー                                                                             |    | 4    | 0  | 4  | 医師        |
| 6月13日11時00分 | 6月13日12時00分 | 卒後臨床研修センター   | エコー                | 超音波シミュレーター                                                                                            |    | 2    | 0  | 2  | 医師        |
| 6月13日12時30分 | 6月13日13時30分 | 卒後臨床研修センター   | エコーの練習             | エコー                                                                                                   |    | 2    | 0  | 2  | 医師        |
| 6月14日9時00分  | 6月14日12時00分 | 第二内科         | ポリクリ実習             | 内視鏡、マーゲンシミュレーター、内視鏡シミュレーター                                                                            |    | 5    | 0  | 5  | 学生        |
| 6月14日9時00分  | 6月14日12時00分 | 耳鼻咽喉科        | ポリクリ実習             | トレーニング用エコー3台                                                                                          |    | 6    | 0  | 6  | 学生        |
| 6月14日18時00分 | 6月14日22時00分 | 卒後臨床研修センター   | BLS                | レサシアン(全身タイプ)、ベッド、AEDトレーナー                                                                             |    | 4    | 0  | 4  | 医師        |
| 6月15日12時00分 | 6月15日17時00分 | 周産期母子医療センター  | 助産学専攻科の講義          | 新生児蘇生人形3体、新生児挿管モデル3台、吸引器、レサシフロー、プロジェクター、スクリーン                                                         |    | 10   | 0  | 10 | 学生        |
| 6月16日12時00分 | 6月16日15時00分 | 中央手術部看護師     | 褥創予防研修             | ベッド2台                                                                                                 |    | 7    | 0  | 7  | 看護師       |
| 6月16日16時00分 | 6月16日18時00分 | 感染制御部        | 感染対策研修会            | なし                                                                                                    |    | 30   | 0  | 30 | 職員        |
| 6月16日18時00分 | 6月16日20時00分 | ICU          | ACLSの勉強会           | レサシアンシミュレーター1体、ベッド1台、除細動器                                                                             |    | 5    | 0  | 5  | 看護師       |
| 6月17日7時30分  | 6月17日17時00分 | 救急集中治療医学講座   | 1次心肺蘇生の講習          | レサシアン with QCPR8体、ベビーアン8体、AEDトレーナー8台、マット16枚、チョーキングチャーリー2体、バックバルブマスク8個、プロジェクター、スクリーン、テレビモニター、マイク・スピーカー |    | 8    | 8  | 16 | 医師        |
| 6月17日16時00分 | 6月18日19時00分 | 救急集中治療医学講座   | 災害講習会              | ホワイトボード3台、BLS訓練用マット16枚                                                                                | 有  | 12   | 12 | 24 | 医師        |
| 6月17日16時30分 | 6月19日12時00分 | 救急集中治療医学講座   | 心肺蘇生手技の確認          | レサシアン with QCPR8体、AEDトレーナー2台                                                                          | 有  | 3    | 3  | 6  | 医師        |
| 6月19日9時00分  | 6月21日17時00分 | 麻酔科          | 学生への指導             | CVCシミュレーター                                                                                            | 有  | 5    | 0  | 5  | 学生        |
| 6月19日9時30分  | 6月19日11時00分 | 泌尿器科         | 学生への指導             | ダヴィンチトレーナー                                                                                            |    | 6    | 0  | 6  | 学生        |
| 6月19日13時30分 | 6月23日17時00分 | 10階東病棟       | 練習                 | 吸引モデル                                                                                                 | 有  | 4    | 0  | 4  | 看護師       |
| 6月19日14時00分 | 7月3日17時00分  | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習              | 外科縫合セット                                                                                               | 有  | 1    | 0  | 1  | 医師        |
| 6月19日16時00分 | 6月19日18時00分 | 感染制御部        | 感染対策研修会            | なし                                                                                                    |    | 30   | 0  | 30 | 看護師       |
| 6月20日16時00分 | 6月20日18時00分 | 感染制御部        | 感染対策研修会            | なし                                                                                                    |    | 30   | 0  | 30 | 看護師       |
| 6月21日9時00分  | 7月7日17時00分  | 7階西病棟        | BLSの練習             | レサシアン                                                                                                 | 有  | 7    | 0  | 7  | 看護師       |
| 6月21日12時00分 | 6月28日17時00分 | 6階西病棟        | 注射の練習              | 筋肉注射シミュレーター、皮内注射シミュレーター                                                                               | 有  | 7    | 0  | 7  | 看護師       |
| 6月21日12時00分 | 6月21日13時00分 | 第二外科         | 練習                 | 腹腔鏡シミュレーター                                                                                            |    | 1    | 0  | 1  | 医師        |
| 6月21日16時00分 | 6月21日19時30分 | 和医大臨床技能サークル  | サークル活動             | 点滴静注シミュレーター3台、装着式採血静注練習キット、支柱台3台、テレビモニター、パソコン                                                         |    | 12   | 0  | 12 | 学生        |
| 6月22日11時30分 | 6月22日12時30分 | 卒後臨床研修センター   | トレーニング             | 内視鏡シミュレーター                                                                                            |    | 2    | 0  | 2  | 医師        |
| 6月22日13時00分 | 6月22日17時00分 | 助産学専攻科       | 講義                 | プロジェクター、スクリーン                                                                                         |    | 10   | 0  | 10 | 学生        |
| 6月23日10時30分 | 6月30日17時00分 | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習              | 外科縫合セット                                                                                               | 有  | 1    | 0  | 1  | 医師        |
| 6月23日12時00分 | 6月30日17時00分 | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習              | 外科縫合セット                                                                                               | 有  | 1    | 0  | 1  | 医師        |
| 6月23日13時00分 | 6月23日16時00分 | 第二内科         | 研修                 | 腹部病変モデル                                                                                               | 有  | 20   | 0  | 20 | 医師        |
| 6月23日15時30分 | 6月23日17時00分 | 産婦人科         | 学生への教育             | 産科シミュレーター                                                                                             | 有  | 5    | 0  | 5  | 学生        |
| 6月24日15時00分 | 6月24日17時00分 | 卒後臨床研修センター   | 胃カメラの練習            | 内視鏡シミュレーター                                                                                            |    | 1    | 0  | 1  | 医師        |
| 6月24日17時00分 | 6月24日20時00分 | 第二外科         | トレーニング             | 腹腔鏡シミュレーター                                                                                            |    | 1    | 0  | 1  | 医師        |
| 6月26日9時30分  | 6月26日11時30分 | 泌尿器科         | 医学部2年生病棟見学での実習     | ダヴィンチトレーナー                                                                                            |    | 5    | 0  | 5  | 学生        |
| 6月26日16時30分 | 6月26日18時00分 | 地域医療支援センター   | プライマリ・ケア勉強会        | エコー                                                                                                   | 有  | 10   | 1  | 11 | 学生        |
| 6月26日18時00分 | 6月26日21時00分 | ICU          | 練習                 | レサシアン(全身タイプ)、ストレッチャー、AEDトレーナー、血圧計、聴診器                                                                 |    | 6    | 0  | 6  | 看護師       |
| 6月27日15時00分 | 6月27日18時00分 | 看護キャリア開発センター | 研修                 | ホワイトボード2台、プロジェクター、スクリーン、プロジェクター、マイク・スピーカー                                                             |    | 20   | 0  | 20 | 看護師       |
| 6月28日9時30分  | 6月28日10時30分 | 耳鼻咽喉科        | エコー実習              | トレーニング用エコー3台                                                                                          |    | 7    | 0  | 7  | 学生        |
| 6月28日15時00分 | 6月28日17時30分 | 神経内科         | 実習                 | ベッド                                                                                                   |    | 20   | 0  | 20 | 医師        |
| 6月29日12時00分 | 6月29日17時00分 | 教育研究開発センター   | 高校教員への医学部説明会での施設見学 | ECS、心音聴診シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー                                                                        |    | 10   | 25 | 35 | 一般参加者     |
| 6月29日17時00分 | 6月29日19時00分 | 卒後臨床研修センター   | 内視鏡の練習             | 内視鏡シミュレーター                                                                                            |    | 2    | 0  | 2  | 医師        |
| 6月30日12時00分 | 8月1日17時00分  | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習              | 外科縫合セット                                                                                               | 有  | 1    | 0  | 1  | 医師        |
| 6月30日17時00分 | 7月1日20時00分  | 麻酔科          | 麻酔科研究会             | 点滴静注シミュレーター3台、動脈穿刺シミュレーター、CVCシミュレーター、腰椎穿刺シミュレーター、気道管理トレーナー、プロジェクター、スクリーン                              |    | 30   | 10 | 40 | 医師        |
| 6月30日17時00分 | 7月3日17時00分  | 救急集中治療医学講座   | 1次心肺蘇法の講習          | レサシアン with QCPR3体、AEDトレーナー3台                                                                          | 有  | 3    | 3  | 6  | 医師        |
| 6月30日19時30分 | 6月30日20時30分 | 第二外科         | 腹腔鏡のトレーニング         | 腹腔鏡シミュレーター                                                                                            |    | 1    | 0  | 1  | 医師        |

使用申請件数(6月) 63件 491人 105人 596人



平成29年度 スキルラボ利用実績一覧

| 使用開始日時      | 使用終了日時      | 使用団体名        | 使用の目的          | 使用物品                                                                                   | 持出 | 使用者数 |    | 計  | 主たる使用者の職名 |
|-------------|-------------|--------------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------|----|------|----|----|-----------|
|             |             |              |                |                                                                                        |    | 学内   | 学外 |    |           |
| 7月3日9時00分   | 7月4日17時00分  | 麻酔科          | 学生への指導         | CVCシミュレーター                                                                             | 有  | 5    | 0  | 5  | 学生        |
| 7月3日12時00分  | 7月21日18時00分 | 医学部6年生       | 形成外科選択ポリクリでの実習 | 縫合セット2セット                                                                              | 有  | 2    | 0  | 2  | 医師        |
| 7月3日13時00分  | 7月3日17時00分  | 医学部5年生       | 循環器内科ポリクリ      | 心音聴診シミュレーター、心臓模型、ホワイトボード                                                               |    | 5    | 0  | 5  | 学生        |
| 7月3日17時00分  | 7月3日18時00分  | 卒後臨床研修センター   | エコー操作の練習       | トレーニング用エコー                                                                             |    | 1    | 0  | 1  | 医師        |
| 7月3日18時00分  | 7月3日21時00分  | ICU          | 練習             | レサシアン(全身タイプ)、ストレッチャー、AEDトレーナー、血圧計、聴診器                                                  |    | 5    | 0  | 5  | 看護師       |
| 7月4日12時00分  | 7月31日17時00分 | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習          | 縫合セット                                                                                  | 有  | 1    | 0  | 1  | 医師        |
| 7月5日9時00分   | 7月5日14時00分  | 麻酔科          | 学生への指導         | SimMan3G、救急カート                                                                         |    | 8    | 0  | 8  | 学生        |
| 7月6日10時00分  | 7月6日13時00分  | 産婦人科         | 助産学専攻科         | 超音波シミュレーター                                                                             |    | 10   | 0  | 10 | 学生        |
| 7月6日12時00分  | 7月6日16時00分  | 教育研究開発センター   | 和歌山SPの会開催      | スクリーン、プロジェクター、マイク・スクリーン、パソコン                                                           |    | 6    | 25 | 31 | 一般参加者     |
| 7月6日13時00分  | 7月6日17時00分  | 助産学専攻科       | 講義             | パソコン、スクリーン、プロジェクター                                                                     |    | 10   | 0  | 10 | 学生        |
| 7月6日20時00分  | 7月7日0時00分   | 卒後臨床研修センター   | エコーの練習         | エコー                                                                                    |    | 3    | 0  | 3  | 医師        |
| 7月7日13時00分  | 8月7日17時00分  | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習          | 縫合セット                                                                                  | 有  | 1    | 0  | 1  | 医師        |
| 7月7日15時30分  | 7月7日17時00分  | 産婦人科         | 学生への教育         | 産科シミュレーター                                                                              | 有  | 5    | 0  | 5  | 学生        |
| 7月7日15時30分  | 7月7日18時00分  | 看護キャリア開発センター | 看護補助員研修        | プロジェクター、スクリーン、パソコン                                                                     |    | 30   | 0  | 30 | 看護補助員     |
| 7月7日17時00分  | 7月10日17時00分 | 救急集中治療医学講座   | 一次心肺蘇生の講習      | レサシアン with QCPR2体、AEDトレーナー2台                                                           | 有  | 3    | 3  | 6  | 医師        |
| 7月7日17時00分  | 7月9日19時00分  | 救急集中治療医学講座   | ICLS           | 除細動器3台                                                                                 | 有  | 24   | 24 | 48 | 医師        |
| 7月7日20時00分  | 7月8日0時00分   | 卒後臨床研修センター   | エコーの練習         | エコー                                                                                    |    | 3    | 0  | 3  | 医師        |
| 7月8日12時00分  | 7月8日19時00分  | 周産期母子医療センター  | 新生児蘇生法講習会      | 新生児蘇生人形3体、新生児気道管理トレーナー3台、吸引器、プロジェクター、スクリーン                                             |    | 10   | 20 | 30 | 医師        |
| 7月10日10時15分 | 7月10日11時30分 | 泌尿器科         | 医学生の実習         | ダヴィンチトレーナー                                                                             |    | 6    | 0  | 6  | 学生        |
| 7月10日15時30分 | 7月10日16時30分 | 医学部5年生       | エコーの練習         | エコー                                                                                    |    | 2    | 0  | 2  | 学生        |
| 7月10日18時00分 | 7月10日22時00分 | ICU          | メディカルラリーの練習    | レサシアン(全身タイプ)、ストレッチャー、モニター                                                              |    | 4    | 0  | 4  | 看護師       |
| 7月11日13時00分 | 7月11日15時00分 | 卒後臨床研修センター   | トレーニング         | CVCシミュレーター、エコー                                                                         |    | 4    | 0  | 4  | 医師        |
| 7月11日14時00分 | 7月11日16時00分 | 第二内科         | 内視鏡のトレーニング     | 内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター                                                             |    | 6    | 0  | 6  | 医師        |
| 7月11日16時00分 | 7月13日17時00分 | 看護部          | 患者指導           | ベビーアン                                                                                  | 有  | 2    | 2  | 4  | 看護師       |
| 7月12日15時30分 | 7月12日18時00分 | 看護キャリア開発センター | 看護補助員研修        | プロジェクター、スクリーン、パソコン                                                                     |    | 30   | 0  | 30 | 看護補助員     |
| 7月12日16時30分 | 7月14日17時00分 | 6階西病棟        | 分娩介助学習会        | 産科シミュレーター                                                                              | 有  | 10   | 0  | 10 | 看護師       |
| 7月13日10時30分 | 7月13日12時00分 | 総務課          | 信愛高校生徒の施設見学    | 心音聴診シミュレーター、ナーシングアン4体、レサシアン1体、AEDトレーナー                                                 |    | 5    | 55 | 60 | 一般参加者     |
| 7月13日13時00分 | 7月13日16時00分 | 第二内科         | 内視鏡のトレーニング     | 内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター、大腸内視鏡シミュレーター                                                |    | 4    | 0  | 4  | 医師        |
| 7月13日16時00分 | 7月14日16時00分 | 救急集中治療医学講座   | 出前授業での講習会      | AEDトレーナー13台                                                                            | 有  | 8    | 50 | 58 | 一般参加者     |
| 7月13日16時30分 | 7月13日19時30分 | 看護キャリア開発センター | 看護技術習得支援       | レサシアンシミュレーター3体、ベッド3台、ベビーアン2体、DAMシミュレーター、気道管理トレーナー、エアウェイトトレーニングシステム、救急カート3台、バックバルブマスク3個 |    | 20   | 0  | 20 | 看護師       |
| 7月14日13時00分 | 7月14日17時00分 | 医学部6年生       | PCC-OSCEの対策    | 心音聴診シミュレーター、眼の診察シミュレーター、耳の診察シミュレーター、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー、直腸診シミュレーター、縫合セット        |    | 6    | 0  | 6  | 学生        |
| 7月14日14時00分 | 7月14日14時30分 | 卒後臨床研修センター   | 内視鏡の練習         | 内視鏡シミュレーター                                                                             |    | 1    | 0  | 1  | 医師        |
| 7月14日15時30分 | 7月14日18時00分 | 看護キャリア開発センター | 看護補助員研修        | プロジェクター、スクリーン、パソコン                                                                     |    | 30   | 0  | 30 | 看護補助員     |
| 7月15日14時30分 | 7月15日15時30分 | 卒後臨床研修センター   | 内視鏡の練習         | 内視鏡シミュレーター、内視鏡、マーゲンシミュレーター                                                             |    | 1    | 0  | 1  | 医師        |
| 7月15日18時30分 | 7月15日22時00分 | ICU          | メディカルラリーの練習    | レサシアンシミュレーター、ストレッチャー                                                                   |    | 6    | 0  | 6  | 看護師       |
| 7月17日9時00分  | 7月18日17時00分 | 麻酔科          | 学生への指導         | CVCシミュレーター                                                                             | 有  | 5    | 0  | 5  | 学生        |
| 7月18日12時00分 | 7月21日17時00分 | 9階東病棟        | 静脈採血のトレーニング    | 静脈採血シミュレーター                                                                            | 有  | 2    | 0  | 2  | 看護師       |
| 7月18日13時00分 | 7月27日17時00分 | 医学部6年生       | PCC-OSCEの対策    | 音叉、打腱器、知覚筆、眼底鏡、ペンライト                                                                   | 有  | 1    | 0  | 1  | 学生        |
| 7月18日13時00分 | 7月18日17時00分 | 第二内科         | 学生の教育          | 腹部病変モデル                                                                                | 有  | 7    | 0  | 7  | 学生        |
| 7月18日16時00分 | 7月18日19時00分 | 医学部6年生       | PCC-OSCEの対策    | 心音聴診シミュレーター、眼の診察シミュレーター、耳の診察シミュレーター、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー、直腸診シミュレーター、縫合セット        |    | 6    | 0  | 6  | 学生        |
| 7月18日16時00分 | 7月27日17時00分 | 医学部6年生       | PCC-OSCEの対策    | 音叉、打腱器、知覚筆、眼底鏡、ペンライト                                                                   | 有  | 1    | 0  | 1  | 学生        |
| 7月18日19時00分 | 7月18日22時00分 | ICU          | メディカルラリーの練習    | レサシアンシミュレーター、ストレッチャー                                                                   |    | 6    | 0  | 6  | 看護師       |
| 7月19日9時00分  | 7月19日11時00分 | 麻酔科          | 学生への指導         | SimMan3G、救急カート                                                                         |    | 8    | 0  | 8  | 学生        |
| 7月19日15時30分 | 7月19日19時00分 | 医学部6年生       | PCC-OSCEの対策    | 音叉、打腱器、知覚筆、眼底鏡、ペンライト                                                                   |    | 2    | 0  | 2  | 学生        |
| 7月19日16時30分 | 7月28日17時00分 | 医学部6年生       | PCC-OSCEの対策    | 音叉、打腱器、知覚筆、眼底鏡、ペンライト                                                                   | 有  | 1    | 0  | 1  | 学生        |
| 7月19日16時30分 | 7月19日19時30分 | 看護キャリア開発センター | 看護技術習得支援       | レサシアンシミュレーター3体、ベッド3台、ベビーアン2体、DAMシミュレーター、気道管理トレーナー、エアウェイトトレーニングシステム、救急カート3台、バックバルブマスク3個 |    | 20   | 0  | 20 | 看護師       |
| 7月19日19時00分 | 7月19日20時00分 | 医学部6年生       | PCC-OSCEの対策    | 心音聴診シミュレーター、眼の診察シミュレーター、耳の診察シミュレーター、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー、直腸診シミュレーター、縫合セット        |    | 4    | 0  | 4  | 学生        |
| 7月20日9時00分  | 7月20日18時00分 | 看護キャリア開発センター | 研修             | 呼吸音聴診シミュレーター、ナーシングアン3体、救急カート3台、ホワイトボード、吸引器、スクリー                                        |    | 20   | 0  | 20 | 看護師       |
| 7月20日9時00分  | 7月24日10時00分 | 第二外科         | 学生教育           | 縫合セット                                                                                  | 有  | 15   | 0  | 15 | 学生        |
| 7月20日12時30分 | 7月21日15時00分 | 産婦人科         | 縫合の練習          | 縫合セット                                                                                  | 有  | 6    | 0  | 6  | 医師        |
| 7月20日13時00分 | 7月20日19時00分 | 医学部6年生       | PCC-OSCEの対策    | 音叉、打腱器、知覚筆、眼底鏡、ペンライト                                                                   | 有  | 1    | 0  | 1  | 学生        |
| 7月21日14時00分 | 7月21日17時00分 | 医学部6年生       | PCC-OSCEの対策    | 音叉、打腱器、知覚筆、眼底鏡、ペンライト                                                                   |    | 2    | 0  | 2  | 学生        |
| 7月21日14時00分 | 7月27日12時00分 | 医学部6年生       | PCC-OSCEの対策    | 音叉、打腱器、知覚筆、眼底鏡、ペンライト                                                                   | 有  | 1    | 0  | 1  | 学生        |
| 7月21日15時30分 | 7月21日17時00分 | 産婦人科         | 学生への教育         | 産科シミュレーター                                                                              |    | 5    | 0  | 5  | 学生        |
| 7月21日17時00分 | 7月23日18時00分 | 救急集中治療医学講座   | 2次心肺蘇生の講習      | レサシアン with QCPR6体、レサシアンシミュレーター3体、ハートシム、AEDトレーナー6台、バックバルブマスク、スクリーン、プロジェクター              |    | 15   | 5  | 20 | 医師        |
| 7月23日18時00分 | 7月23日23時30分 | 医学部6年生       | PCC-OSCEの対策    | 心音聴診シミュレーター、眼の診察シミュレーター、耳の診察シミュレーター、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー、直腸診シミュレーター、縫合セット        |    | 20   | 0  | 20 | 学生        |
| 7月24日9時00分  | 7月24日17時00分 | 医学部6年生       | PCC-OSCEの対策    | 心音聴診シミュレーター、眼の診察シミュレーター、耳の診察シミュレーター、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー、直腸診シミュレーター、縫合セット        |    | 6    | 0  | 6  | 学生        |
| 7月24日9時30分  | 7月24日12時00分 | 医学部5年生       | 循環器内科ポリクリ      | 心音聴診シミュレーター、心臓模型、ホワイトボード                                                               |    | 5    | 0  | 5  | 学生        |
| 7月24日13時00分 | 7月24日15時30分 | 看護キャリア開発センター | 潜在看護師復職支援      | 静脈採血シミュレーター、支柱台、輸液ポンプ                                                                  |    | 5    | 0  | 5  | 看護師       |

平成29年度 スキルラボ利用実績一覧

| 使用開始日時      | 使用終了日時      | 使用団体名      | 使用の目的            | 使用物品                           | 持出  | 使用者数   |      | 計    | 主たる使用者の職名 |
|-------------|-------------|------------|------------------|--------------------------------|-----|--------|------|------|-----------|
|             |             |            |                  |                                |     | 使用者の内訳 |      |      |           |
|             |             |            |                  |                                |     | 学内     | 学外   |      |           |
| 7月25日12時00分 | 7月26日17時00分 | 教育研究開発センター | 医学部6年生試験PCC-OSCE |                                |     | 110    | 0    | 110  | 学生        |
| 7月28日15時00分 | 7月28日16時00分 | 総務課        | 中国浙江中医薬大学学生の施設見学 | ECS、心音聴診シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー |     | 5      | 28   | 33   | 一般参加者     |
| 7月31日16時30分 | 7月31日18時00分 | 地域医療支援センター | プライマリ・ケア勉強会      | エコー                            | 有   | 10     | 1    | 11   | 学生        |
| 使用申請件数(7月)  |             |            |                  |                                | 62件 | 566人   | 213人 | 779人 |           |

| 使用開始日時      | 使用終了日時      | 使用団体名        | 使用の目的             | 使用物品                                                                    | 持出  | 使用者数   |      | 計    | 主たる使用者の職名 |
|-------------|-------------|--------------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------|-----|--------|------|------|-----------|
|             |             |              |                   |                                                                         |     | 使用者の内訳 |      |      |           |
|             |             |              |                   |                                                                         |     | 学内     | 学外   |      |           |
| 8月1日11時00分  | 8月9日17時00分  | 泌尿器科         | 縫合の練習             | 縫合セット                                                                   | 有   | 2      | 0    | 2    | 医師        |
| 8月2日11時00分  | 8月9日17時00分  | 9階西病棟        | 練習                | 点滴静注シミュレーター                                                             | 有   | 1      | 0    | 1    | 看護師       |
| 8月3日14時30分  | 8月4日12時30分  | 救急集中治療医学講座   | 研修                | CVCシミュレーター、気道管理トレーナー                                                    | 有   | 10     | 0    | 10   | 医師        |
| 8月4日13時00分  | 8月31日17時00分 | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習             | 縫合セット                                                                   | 有   | 1      | 0    | 1    | 医師        |
| 8月4日18時00分  | 8月4日22時00分  | ICU          | メディカルラリーの練習       | レサシアンシミュレーター、モニター                                                       |     | 4      | 0    | 4    | 看護師       |
| 8月5日10時00分  | 8月5日14時00分  | HCU          | メディカルラリーの練習       | ハートシム、レサシアン(全身)、AEDトレーナー、救急カート、除細動器                                     |     | 6      | 0    | 6    | 看護師       |
| 8月8日13時00分  | 8月8日16時30分  | 看護キャリア開発センター | 研修の打合せ            | レサシアンシミュレーター、ナースिंगアン、スクリーン、プロジェクター                                     |     | 7      | 0    | 7    | 看護師       |
| 8月9日16時00分  | 8月22日17時00分 | 11階西病棟       | 練習                | 静脈採血シミュレーター                                                             | 有   | 7      | 0    | 7    | 看護師       |
| 8月9日18時00分  | 8月9日20時00分  | HCU          | メディカルラリーの練習       | ハートシム、レサシアン(全身)、AEDトレーナー、救急カート、除細動器                                     |     | 6      | 0    | 6    | 看護師       |
| 8月9日19時00分  | 8月9日21時00分  | 第二外科         | 練習                | ダヴィンチトレーナー、腹腔鏡シミュレーター                                                   |     | 2      | 0    | 2    | 医師        |
| 8月9日21時00分  | 8月9日22時00分  | 卒後臨床研修センター   | 練習                | 内視鏡シミュレーター                                                              |     | 1      | 0    | 1    | 医師        |
| 8月13日19時00分 | 8月13日21時00分 | 第二外科         | 練習                | ダヴィンチトレーナー、腹腔鏡シミュレーター                                                   |     | 2      | 0    | 2    | 医師        |
| 8月15日10時00分 | 8月15日14時00分 | HCU          | メディカルラリーの練習       | ハートシム、レサシアン(全身)、AEDトレーナー、救急カート、除細動器                                     |     | 6      | 0    | 6    | 看護師       |
| 8月16日11時00分 | 9月9日12時00分  | 救急集中治療医学講座   | 心肺蘇生講習            | レサシアンwith QCPR、AEDトレーナー                                                 | 有   | 2      | 2    | 4    | 医師        |
| 8月17日10時30分 | 8月17日11時15分 | 臨床研究センター     | 心電図の練習            | フィジカルアセスメントモデル                                                          |     | 2      | 0    | 2    | 看護師       |
| 8月17日15時00分 | 8月17日18時30分 | 看護キャリア開発センター | クリティカルケア          | ナースिंगアン3体、ベッド3台、車椅子6台、支柱台3台、血圧計3台、聴診器3個                                |     | 20     | 0    | 20   | 看護師       |
| 8月17日18時00分 | 8月17日22時00分 | ICU          | メディカルラリーの練習       | レサシアンシミュレーター、モニター                                                       |     | 4      | 0    | 4    | 看護師       |
| 8月18日16時00分 | 8月20日19時00分 | 医療安全推進部      | 心肺蘇生法講習会          | ハートシム、レサシアンシミュレーター、レサシアン4体、AEDトレーナー、除細動器2台、バックバルブマスク、モニター、救急カート         | 有   | 10     | 15   | 25   | 医師        |
| 8月19日7時30分  | 8月19日17時00分 | 救急集中治療医学講座   | 1次心肺蘇生講習          | レサシアン withQCPR8体、ベビーアン8体、チョーキングチャーリー2台、バックバルブマスク、AEDトレーナー、スクリーン、プロジェクター |     | 8      | 8    | 16   | 医師        |
| 8月21日10時00分 | 8月21日14時00分 | HCU          | メディカルラリーの練習       | ハートシム、レサシアン(全身)、AEDトレーナー、救急カート、除細動器                                     |     | 6      | 0    | 6    | 看護師       |
| 8月21日13時00分 | 8月31日17時00分 | 10階西病棟       | 勉強会               | レサシアン、AEDトレーナー                                                          | 有   | 7      | 0    | 7    | 看護師       |
| 8月22日13時00分 | 8月25日17時00分 | 12階西病棟       | 気管挿管の練習           | DAMシミュレーター                                                              | 有   | 4      | 0    | 4    | 看護師       |
| 8月22日19時30分 | 8月22日22時00分 | ICU          | 練習                | ハートシム、リトルジュニア、ベビーアン、モニター、救急カート、血圧計、除細動器、トレーニング用                         |     | 3      | 0    | 3    | 看護師       |
| 8月23日15時30分 | 8月23日17時00分 | 第二外科         | 練習                | 腹腔鏡シミュレーター                                                              |     | 1      | 0    | 1    | 医師        |
| 8月23日18時00分 | 8月23日20時00分 | HCU          | メディカルラリーの練習       | ハートシム、レサシアン(全身)、AEDトレーナー、救急カート、除細動器                                     |     | 6      | 0    | 6    | 看護師       |
| 8月24日10時30分 | 8月24日11時00分 | 奈良県立医科大学     | 施設見学              |                                                                         |     | 4      | 10   | 14   | 一般参加者     |
| 8月24日12時30分 | 8月25日17時00分 | 卒後臨床研修センター   | シミュレーション          | CVCカテーテルキット                                                             | 有   | 1      | 0    | 1    | 医師        |
| 8月25日18時00分 | 8月25日20時00分 | HCU          | メディカルラリーの練習       | ハートシム、レサシアン(全身)、AEDトレーナー、救急カート、除細動器                                     |     | 6      | 0    | 6    | 看護師       |
| 8月26日14時00分 | 8月26日17時00分 | 教育研究開発センター   | 医学部オープンキャンパスの施設見学 | SimMan3G、心音聴診シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー、エコー、腹部病変モデル                         |     | 10     | 100  | 110  | 一般参加者     |
| 8月27日9時00分  | 8月27日18時00分 | 医療安全推進部      | 心肺蘇生法講習会          | レサシアン withQCPR4体、リトルジュニア4体、ベビーアン4体、チョーキングチャーリー、AEDトレーナー、スクリーン、プロジェクター   |     | 8      | 8    | 16   | 医師        |
| 8月28日10時00分 | 8月28日13時00分 | ICU          | 練習                | ハートシム、リトルジュニア、ベビーアン、モニター、救急カート、血圧計、除細動器、トレーニング用                         |     | 3      | 0    | 3    | 看護師       |
| 8月28日16時30分 | 8月28日18時00分 | 地域医療支援センター   | プライマリ・ケア勉強会       | エコー                                                                     | 有   | 10     | 1    | 11   | 学生        |
| 8月29日16時00分 | 8月29日18時00分 | 卒後臨床研修センター   | ACLSの練習           | レサシアンシミュレーター、ストレッチャー、救急カート、モニター                                         |     | 3      | 0    | 3    | 医師        |
| 使用申請件数(8月)  |             |              |                   |                                                                         | 33件 | 173人   | 144人 | 317人 |           |

平成29年度 スキルラボ利用実績一覧

| 使用開始日時      | 使用終了日時      | 使用団体名        | 使用の目的          | 使用物品                                                                        | 持出         | 使用者数<br>使用者の内訳 |      | 計   | 主たる使用者の職名 |
|-------------|-------------|--------------|----------------|-----------------------------------------------------------------------------|------------|----------------|------|-----|-----------|
|             |             |              |                |                                                                             |            | 学内             | 学外   |     |           |
| 9月1日14時30分  | 9月1日18時00分  | 看護キャリア開発センター | 新人研修           | ナーシングアン5体、レサシアンシミュレーター3体、SimMan3G、ECS、ベッド3台、ストレッチャー7                        |            | 50             | 0    | 50  | 看護師       |
| 9月1日17時00分  | 9月7日17時00分  | CCU          | 部署内ACLS学習会     | ハートシム                                                                       | 有          | 6              | 0    | 6   | 看護師       |
| 9月4日14時30分  | 9月4日18時00分  | 看護キャリア開発センター | 新人研修           | ナーシングアン5体、レサシアンシミュレーター3体、SimMan3G、ECS、ベッド3台、ストレッチャー7台、プロジェクター、スクリーン         |            | 50             | 0    | 50  | 看護師       |
| 9月4日18時30分  | 9月4日21時00分  | 救急外来         | メディカルラリーの練習    | レサシアンシミュレーター3体、モニター、救急カート、除細動器                                              |            | 6              | 0    | 6   | 看護師       |
| 9月5日16時00分  | 9月5日19時30分  | 看護キャリア開発センター | 看護技術習得支援       | ナーシングアン5体、万能成人看護モデル、吸引シミュレーター2台、静脈採血シミュレーター、皮内注射シミュレーター、吸引器、聴診器、ストレッチャー、ベッド |            | 20             | 0    | 20  | 看護師       |
| 9月5日19時00分  | 9月5日21時00分  | 卒後臨床研修センター   | ACLSの練習        | レサシアンシミュレーター、ストレッチャー、モニター、除細動器、救急カート                                        |            | 3              | 0    | 3   | 医師        |
| 9月6日13時00分  | 10月2日17時00分 | 泌尿器科         | 練習             | 外科縫合セット                                                                     | 有          | 3              | 0    | 3   | 医師        |
| 9月6日14時30分  | 9月6日17時00分  | 卒後臨床研修センター   | 中心静脈穿刺の練習      | CVCシミュレーター、エコー                                                              |            | 5              | 0    | 5   | 医師        |
| 9月7日14時00分  | 9月7日15時00分  | 医学部5年生       | 練習             | 心音聴診シミュレーター、エコー                                                             |            | 2              | 0    | 2   | 学生        |
| 9月8日16時00分  | 9月9日19時00分  | 地域医療支援センター   | プライマリ・ケアセミナー   | エコー                                                                         | 有          | 10             | 30   | 40  | 医師        |
| 9月8日17時00分  | 9月10日18時00分 | 救急集中治療医学講座   | 2次心肺蘇生の講習      | ハートシム、レサシアンシミュレーター3体、レサシアンQ CPR6体、AEDトレーナー6台、スクリーン、プロジェクター、モニター             |            | 15             | 5    | 20  | 医師        |
| 9月11日10時00分 | 9月13日17時00分 | 卒後臨床研修センター   | 糸結びの練習         | 糸結び練習器                                                                      | 有          | 1              | 0    | 1   | 医師        |
| 9月11日15時00分 | 9月11日17時00分 | 医学部5年生       | 循環器内科ポリクリ      | 心音聴診シミュレーター、心臓模型、ホワイトボード                                                    |            | 5              | 0    | 5   | 学生        |
| 9月11日15時00分 | 9月11日16時00分 | 教育研究開発センター   | 特定行為研修のリハーサル   | レサシアンシミュレーター3体                                                              |            | 5              | 0    | 5   | 医師        |
| 9月12日13時00分 | 9月12日17時00分 | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習          | 縫合用模擬皮膚                                                                     | 有          | 2              | 0    | 2   | 医師        |
| 9月12日13時00分 | 9月12日14時00分 | 教育研究開発センター   | 練習             | 点滴静注シミュレーター                                                                 |            | 2              | 0    | 2   | 看護師       |
| 9月13日13時00分 | 9月13日14時00分 | 教育研究開発センター   | 練習             | 点滴静注シミュレーター                                                                 |            | 2              | 0    | 2   | 看護師       |
| 9月13日19時00分 | 9月13日21時00分 | 第二外科         | 腹腔鏡のトレーニング     | 腹腔鏡シミュレーター                                                                  |            | 1              | 0    | 1   | 医師        |
| 9月14日12時00分 | 9月14日16時00分 | 教育研究開発センター   | 和歌山SPの会開催      | スクリーン、プロジェクター、マイク・スクリーン、パソコン                                                |            | 6              | 25   | 31  | 一般参加者     |
| 9月14日16時00分 | 9月14日19時30分 | 看護キャリア開発センター | 看護技術習得支援       | ナーシングアン5体、万能成人看護モデル、吸引シミュレーター2台、静脈採血シミュレーター、皮内注射シミュレーター、吸引器、聴診器、ストレッチャー、ベッド |            | 20             | 0    | 20  | 看護師       |
| 9月15日8時45分  | 9月15日16時00分 | 看護キャリア開発センター | 特定行為研修         | レサシアンシミュレーター3体、ベッド3台、心音聴診シミュレーター、呼吸音聴診シミュレーター、血圧計、打腿器、スクリーン、プロジェクター         |            | 5              | 4    | 9   | 看護師       |
| 9月15日15時30分 | 9月15日17時00分 | 産婦人科         | 学生への教育         | 産科シミュレーター                                                                   |            | 5              | 0    | 5   | 学生        |
| 9月16日10時00分 | 9月16日13時00分 | 救急外来         | メディカルラリーの練習    | ハートシム、救急カート、除細動器、モニター                                                       |            | 7              | 0    | 7   | 看護師       |
| 9月16日12時00分 | 9月16日19時00分 | 周産期母子医療センター  | 新生児蘇生法講習会      | 新生児蘇生人形3体、新生児気道管理トレーナー3台、レサシフロー、吸引器                                         |            | 5              | 20   | 25  | 医師        |
| 9月18日10時00分 | 9月18日13時00分 | 救急外来         | メディカルラリーの練習    | ハートシム、救急カート、除細動器、モニター                                                       |            | 7              | 0    | 7   | 看護師       |
| 9月20日16時00分 | 9月20日17時00分 | 泌尿器科         | 医学生の実習         | ダヴィンチトレーナー                                                                  |            | 6              | 0    | 6   | 学生        |
| 9月20日17時30分 | 9月20日20時00分 | 7階東病棟        | 急変時の勉強会        | レサシアンシミュレーター、救急カート、除細動器                                                     |            | 5              | 0    | 5   | 看護師       |
| 9月20日18時00分 | 9月20日21時00分 | 救急外来         | メディカルラリーの練習    | ハートシム、救急カート、除細動器、モニター                                                       |            | 7              | 0    | 7   | 看護師       |
| 9月21日15時30分 | 9月21日18時00分 | 看護キャリア開発センター | 研修             | プロジェクター、スクリーン、マイク・スピーカー                                                     |            | 20             | 0    | 20  | 看護師       |
| 9月24日18時00分 | 9月24日21時00分 | 救急外来         | メディカルラリーの練習    | ハートシム、救急カート、除細動器、モニター                                                       |            | 7              | 0    | 7   | 看護師       |
| 9月25日15時00分 | 9月25日17時00分 | 医学部5年生       | 循環器内科ポリクリ      | 心音聴診シミュレーター、心臓模型、ホワイトボード                                                    |            | 5              | 0    | 5   | 学生        |
| 9月25日16時30分 | 9月25日18時00分 | 地域医療支援センター   | プライマリ・ケア勉強会    | エコー                                                                         | 有          | 10             | 1    | 11  | 学生        |
| 9月26日17時00分 | 9月26日19時30分 | 看護キャリア開発センター | 呼吸器管理学習会       | プロジェクター、スクリーン                                                               |            | 15             | 0    | 15  | 看護師       |
| 9月26日10時00分 | 9月26日13時00分 | 救急外来         | メディカルラリーの練習    | ハートシム、救急カート、除細動器、モニター                                                       |            | 7              | 0    | 7   | 看護師       |
| 9月27日16時00分 | 9月27日20時00分 | 教育研究開発センター   | 和医大臨床技能サークルの活動 | 胸部ドレーンシミュレーター、胸腔穿刺シミュレーター、テレビモニター、パソコン、ホワイトボード                              |            | 7              | 0    | 7   | 学生        |
| 9月28日16時00分 | 9月28日19時30分 | 看護キャリア開発センター | 看護技術習得支援       | ナーシングアン5体、万能成人看護モデル、吸引シミュレーター2台、静脈採血シミュレーター、皮内注射シミュレーター、吸引器、聴診器、ストレッチャー、ベッド |            | 20             | 0    | 20  | 看護師       |
| 9月29日16時00分 | 9月29日17時00分 | 泌尿器科         | 医学生の実習         | ダヴィンチトレーナー                                                                  |            | 6              | 0    | 6   | 学生        |
| 9月30日18時00分 | 9月30日21時00分 | 救急外来         | メディカルラリーの練習    | ハートシム、救急カート、除細動器、モニター                                                       |            | 7              | 0    | 7   | 看護師       |
|             |             |              |                |                                                                             | 使用申請件数(9月) | 38件            | 365人 | 85人 | 450人      |

| 使用開始日時      | 使用終了日時       | 使用団体名            | 使用の目的                   | 使用物品                                                | 持出 | 使用者数<br>使用者の内訳 |    | 計  | 主たる使用者の職名 |
|-------------|--------------|------------------|-------------------------|-----------------------------------------------------|----|----------------|----|----|-----------|
|             |              |                  |                         |                                                     |    | 学内             | 学外 |    |           |
| 10月2日9時00分  | 10月20日17時00分 | NICU             | 2年目看護師の静脈注射施設基準レベルⅡ、Ⅲ試験 | 静脈採血シミュレーター                                         | 有  | 8              | 0  | 8  | 看護師       |
| 10月2日18時00分 | 10月2日21時00分  | 救急外来             | メディカルラリーの練習             | ハートシム、救急カート、除細動器、モニター                               |    | 7              | 0  | 7  | 看護師       |
| 10月3日9時00分  | 10月3日17時00分  | 琴の浦リハビリテーションセンター | 看護職の新人研修                | 静脈採血シミュレーター、点滴静注シミュレーター                             | 有  | 0              | 3  | 3  | 看護師       |
| 10月3日15時30分 | 10月3日18時00分  | 看護部              | 看護補助員研修                 | ベッド、車椅子、支柱台                                         |    | 40             | 0  | 40 | 看護補助員     |
| 10月3日18時00分 | 10月3日19時00分  | 9階西病棟            | ポジショニングの講義の準備           | ベッド                                                 |    | 2              | 0  | 2  | 看護師       |
| 10月3日18時30分 | 10月3日21時00分  | ICU              | 練習                      | ハートシム、モニター、救急カート、ベビーアン                              |    | 6              | 0  | 6  | 看護師       |
| 10月4日9時30分  | 11月10日17時00分 | 7階西病棟            | 静脈留置の練習                 | 点滴静注シミュレーター                                         | 有  | 3              | 0  | 3  | 看護師       |
| 10月4日15時30分 | 10月18日17時00分 | 11階西病棟           | 静脈内注射の技術チェック            | 点滴静注シミュレーター                                         | 有  | 5              | 0  | 5  | 看護師       |
| 10月4日15時30分 | 10月4日18時00分  | 看護部              | 看護補助員研修                 | ベッド、車椅子、支柱台                                         |    | 40             | 0  | 40 | 看護補助員     |
| 10月4日16時00分 | 10月11日17時00分 | 9階西病棟            | 静脈留置の練習                 | 点滴静注シミュレーター                                         | 有  | 3              | 0  | 3  | 看護師       |
| 10月4日18時00分 | 10月4日21時00分  | 救急外来             | メディカルラリーの練習             | ハートシム、救急カート、除細動器、モニター                               |    | 7              | 0  | 7  | 看護師       |
| 10月4日18時00分 | 10月5日0時00分   | 泌尿器科             | ダヴィンチの練習                | ダヴィンチトレーナー                                          |    | 1              | 0  | 1  | 医師        |
| 10月5日12時00分 | 10月5日15時00分  | 教育研究開発センター       | 1年生授業『医学概論Ⅱ』            | プロジェクター、スクリーン、スピーカー・マイク、ホワイトボード、心音聴診シミュレーター         |    | 20             | 0  | 20 | 学生        |
| 10月5日14時30分 | 11月6日14時30分  | 卒後臨床研修センター       | 縫合の練習                   | 外科縫合セット                                             | 有  | 1              | 0  | 1  | 医師        |
| 10月5日16時00分 | 10月5日19時30分  | 看護キャリア開発センター     | 看護技術習得支援                | ナーシングアン5体、万能成人看護モデル、吸引シミュレーター2台、吸引器、聴診器、ストレッチャー、ベッド |    | 20             | 0  | 20 | 看護師       |
| 10月6日9時00分  | 10月10日17時00分 | 救急集中治療医学講座       | 救急の手技向上                 | レサシアンシミュレーター、レサシアンwithQ CPR、ハートシム、除細動器              | 有  | 20             | 20 | 40 | 医師        |
| 10月6日17時30分 | 10月6日20時00分  | 7階西病棟            | 急変の勉強会                  | レサシアンシミュレーター、救急カート、除細動器                             |    | 5              | 0  | 5  | 看護師       |

平成29年度 スキルラボ利用実績一覧

| 使用開始日時       | 使用終了日時       | 使用団体名        | 使用の目的                   | 使用物品                                                                                      | 持出 | 使用者数<br>使用者の内訳 |    | 計  | 主たる使用者の職名 |
|--------------|--------------|--------------|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|----|----|-----------|
|              |              |              |                         |                                                                                           |    | 学内             | 学外 |    |           |
| 10月6日18時00分  | 10月7日0時00分   | 泌尿器科         | ダヴィンチの練習                | ダヴィンチトレーナー                                                                                |    | 1              | 0  | 1  | 医師        |
| 10月10日17時30分 | 10月10日20時00分 | 7階東病棟        | 技術練習                    | レサシアンシミュレーター、モニター、除細動器、救急カート                                                              |    | 10             | 0  | 10 | 看護師       |
| 10月12日12時00分 | 10月16日12時00分 | 救急集中治療医学講座   | 2次心肺蘇生の講習               | 除細動器                                                                                      | 有  | 25             | 25 | 50 | 医師        |
| 10月12日12時00分 | 10月12日15時00分 | 教育研究開発センター   | 1年生授業『医学概論Ⅱ』            | プロジェクター、スクリーン、スピーカー・マイク、ホワイトボード、心音聴診シミュレーター                                               |    | 20             | 0  | 20 | 学生        |
| 10月12日14時30分 | 10月12日15時30分 | 第1外科         | 気管支鏡挿入の指導、練習            | 内視鏡シミュレーター                                                                                |    | 2              | 0  | 2  | 医師        |
| 10月13日14時30分 | 10月16日17時00分 | 救急集中治療医学講座   | 研修医の指導                  | エアウェイトトレーニングシステム、CVCシミュレーター、気管切開トレーナー                                                     | 有  | 15             | 0  | 15 | 医師        |
| 10月13日15時30分 | 10月13日16時30分 | 泌尿器科         | 医学生の実習                  | ダヴィンチトレーナー                                                                                |    | 6              | 0  | 6  | 学生        |
| 10月13日15時30分 | 10月13日17時00分 | 産婦人科         | 学生への教育                  | 産科シミュレーター                                                                                 |    | 5              | 0  | 5  | 学生        |
| 10月13日16時00分 | 10月13日19時30分 | 看護キャリア開発センター | 看護技術習得支援                | ナーシングアン5体、万能成人看護モデル、吸引シミュレーター2台、吸引器、聴診器、ストレッチャー、ベッド                                       |    | 20             | 0  | 20 | 看護師       |
| 10月15日10時00分 | 10月15日17時00分 | 和歌山大学        | 子育て支援員研修                | リトルジュニア7体、ベビーアン7体、AEDトレーナー7台                                                              | 有  | 0              | 30 | 30 | 一般参加者     |
| 10月16日19時00分 | 10月16日21時00分 | 第二外科         | ダヴィンチの練習                | ダヴィンチトレーナー                                                                                |    | 1              | 0  | 1  | 医師        |
| 10月17日9時30分  | 10月17日15時30分 | 感染制御部        | 血液培養採取手技の指導ビデオ作成        | 点滴静注シミュレーター                                                                               | 有  | 4              | 0  | 4  | 看護師       |
| 10月17日12時00分 | 10月17日17時00分 | 医学部5年生       | 循環器内科ポリクリ               | 心音聴診シミュレーター、心臓模型、ホワイトボード                                                                  |    | 5              | 0  | 5  | 学生        |
| 10月17日17時15分 | 10月17日19時30分 | 看護キャリア開発センター | 呼吸器管理学習会                | プロジェクター、スクリーン                                                                             |    | 15             | 0  | 15 | 看護師       |
| 10月17日17時30分 | 10月17日20時00分 | 7階東病棟        | 技術練習                    | レサシアンシミュレーター、モニター、除細動器、救急カート                                                              |    | 10             | 0  | 10 | 看護師       |
| 10月18日19時00分 | 10月18日21時00分 | 第二外科         | ダヴィンチの練習                | ダヴィンチトレーナー                                                                                |    | 1              | 0  | 1  | 医師        |
| 10月19日12時00分 | 10月19日15時00分 | 教育研究開発センター   | 1年生授業『医学概論Ⅱ』            | プロジェクター、スクリーン、スピーカー・マイク、ホワイトボード、心音聴診シミュレーター、呼吸音聴診シミュレーター                                  |    | 20             | 0  | 20 | 学生        |
| 10月20日12時00分 | 10月27日17時00分 | 12階西病棟       | 手技獲得                    | 点滴静注シミュレーター                                                                               | 有  | 4              | 0  | 4  | 看護師       |
| 10月20日13時00分 | 10月20日16時00分 | 産婦人科         | 縫合の実習                   | なし                                                                                        |    | 5              | 2  | 7  | 医師        |
| 10月20日17時00分 | 11月2日17時00分  | NICU         | 2年目看護師の静脈注射施設基準レベルⅡ、Ⅲ試験 | 静脈採血シミュレーター                                                                               | 有  | 8              | 0  | 8  | 看護師       |
| 10月21日7時30分  | 10月21日17時00分 | 救急集中治療医学講座   | 1次心肺蘇生法講習会              | レサシアンwithQ CPR8体、AEDトレーナー8台、チョーキングチャーリー、ベビーアン8体、バックバルブマスク、ポケットマスク、プロジェクター、スクリーン、マイク・スピーカー |    | 8              | 8  | 16 | 医師        |
| 10月22日13時00分 | 10月22日20時00分 | 第二外科         | ダヴィンチの練習                | ダヴィンチトレーナー                                                                                |    | 1              | 0  | 1  | 医師        |
| 10月23日9時00分  | 10月27日17時00分 | 中央手術部看護師     | 静脈注射技術の取得               | 静脈注射シミュレーター                                                                               | 有  | 15             | 0  | 15 | 看護師       |
| 10月25日17時00分 | 10月25日19時00分 | 和医大臨床技能サークル  | 大学祭でのBLS講習の練習           | レサシアン、ベビーアン、リトルジュニア、マット、ポケットマスク                                                           |    | 5              | 0  | 5  | 学生        |
| 10月24日15時00分 | 10月24日17時00分 | 医学部5年生       | 循環器内科ポリクリ               | 心音聴診シミュレーター、心臓模型、ホワイトボード                                                                  |    | 5              | 0  | 5  | 学生        |
| 10月25日20時00分 | 10月26日0時00分  | 第二外科         | 結紮の練習                   | 腹腔鏡シミュレーター                                                                                |    | 2              | 0  | 2  | 医師        |
| 10月26日12時00分 | 10月26日15時00分 | 教育研究開発センター   | 1年生授業『医学概論Ⅱ』            | プロジェクター、スクリーン、スピーカー・マイク、ホワイトボード、心音聴診シミュレーター、呼吸音聴診シミュレーター                                  |    | 20             | 0  | 20 | 学生        |
| 10月26日14時30分 | 10月26日16時00分 | 医学部5年生       | 循環器内科ポリクリ               | 心音聴診シミュレーター、心臓模型、ホワイトボード                                                                  |    | 5              | 0  | 5  | 学生        |
| 10月26日16時00分 | 10月26日19時30分 | 看護キャリア開発センター | 看護技術習得支援                | ナーシングアン5体、万能成人看護モデル、吸引シミュレーター2台、吸引器、聴診器、ストレッチャー、ベッド                                       |    | 20             | 0  | 20 | 看護師       |
| 10月26日19時30分 | 10月26日21時00分 | 第二外科         | 結紮の練習                   | 腹腔鏡シミュレーター                                                                                |    | 2              | 0  | 2  | 医師        |
| 10月27日9時00分  | 10月27日12時00分 | 第二外科         | 結紮の練習                   | 腹腔鏡シミュレーター                                                                                |    | 2              | 0  | 2  | 医師        |
| 10月27日15時30分 | 10月27日17時00分 | 産婦人科         | 学生への教育                  | 産科シミュレーター                                                                                 |    | 5              | 0  | 5  | 学生        |
| 10月27日16時00分 | 10月28日15時00分 | 和医大臨床技能サークル  | 大学祭でのBLS講習              | レサシアンwithQ CPR、レサシアン、リトルジュニア、ベビーアン、チョーキングチャーリー、AEDトレーナー、ポケットマスク、マット                       | 有  | 7              | 10 | 17 | 学生        |
| 10月28日11時00分 | 10月28日17時00分 | 周産期母子医療センター  | 新生児蘇生法講習会               | 新生児蘇生人形、新生児気道管理トレーナー、レサシフロー、吸引器、プロジェクター、スクリーン                                             |    | 10             | 10 | 20 | 医師        |
| 10月29日9時00分  | 10月29日17時00分 | 第二外科         | 結紮の練習                   | 腹腔鏡シミュレーター                                                                                |    | 2              | 0  | 2  | 医師        |
| 10月30日9時30分  | 10月30日11時30分 | 泌尿器科         | 医学生の実習                  | ダヴィンチトレーナー                                                                                |    | 6              | 0  | 6  | 学生        |
| 10月30日16時30分 | 10月30日18時30分 | 地域医療支援センター   | プライマリ・ケア勉強会             | エコー                                                                                       | 有  | 10             | 1  | 11 | 学生        |
| 10月31日14時00分 | 12月1日17時00分  | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習                   | 外科縫合セット                                                                                   | 有  | 1              | 0  | 1  | 医師        |
| 10月31日17時15分 | 10月31日19時30分 | 看護キャリア開発センター | 呼吸器管理学習会                | プロジェクター、スクリーン                                                                             |    | 15             | 0  | 15 | 看護師       |
| 10月31日19時30分 | 10月31日21時30分 | 第二外科         | 腹腔鏡のトレーニング              | 腹腔鏡シミュレーター                                                                                |    | 1              | 0  | 1  | 医師        |

使用申請件数(10月) 57件 507人 109人 616人

| 使用開始日時      | 使用終了日時       | 使用団体名        | 使用の目的                | 使用物品                                                    | 持出 | 使用者数<br>使用者の内訳 |    | 計   | 主たる使用者の職名 |
|-------------|--------------|--------------|----------------------|---------------------------------------------------------|----|----------------|----|-----|-----------|
|             |              |              |                      |                                                         |    | 学内             | 学外 |     |           |
| 11月2日15時00分 | 11月30日17時00分 | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習                | 外科縫合セット                                                 | 有  | 1              | 0  | 1   | 医師        |
| 11月2日16時00分 | 11月2日19時30分  | 看護キャリア開発センター | 看護技術習得支援             | ナーシングアン5体、万能成人看護モデル、皮内注射シミュレーター、筋肉注射シミュレーター、ストレッチャー、ベッド |    | 20             | 0  | 20  | 看護師       |
| 11月2日17時00分 | 11月6日12時00分  | 救急集中治療医学講座   | 2次心肺蘇生の講習            | レサシアンシミュレーター1体、除細動器2台、パソコン2台                            | 有  | 5              | 5  | 10  | 医師        |
| 11月2日17時00分 | 11月24日17時00分 | NICU         | 留置針の刺入               | 点滴静注シミュレーター                                             | 有  | 6              | 0  | 6   | 看護師       |
| 11月3日10時00分 | 11月3日12時00分  | 泌尿器科         | ダヴィンチの練習             | ダヴィンチトレーナー                                              |    | 1              | 0  | 1   | 医師        |
| 11月4日7時00分  | 11月5日18時00分  | 危機対策室        | 平成27年度近畿地方DMAT技能維持研修 | ホワイトボード、スクリーン、プロジェクター、マイク・スピーカー                         |    | 20             | 80 | 100 | 医師        |
| 11月6日14時00分 | 11月6日17時00分  | 医学部5年生       | 循環器内科ポリクリ            | 心音聴診シミュレーター、心臓模型、ホワイトボード                                |    | 5              | 0  | 5   | 学生        |
| 11月6日15時00分 | 11月13日17時00分 | HCU          | 末梢静脈路確保の練習           | 点滴静注シミュレーター                                             | 有  | 1              | 0  | 1   | 看護師       |
| 11月6日15時00分 | 11月17日17時00分 | 12階東病棟       | クリティカルケアの勉強会         | レサシアン                                                   | 有  | 8              | 0  | 8   | 看護師       |
| 11月6日16時00分 | 11月13日17時00分 | CCU          | 研修                   | レサシアン1体、気道管理トレーナー                                       | 有  | 6              | 0  | 6   | 看護師       |
| 11月6日19時00分 | 11月6日20時00分  | 第二外科         | 腹腔鏡のトレーニング           | 腹腔鏡シミュレーター                                              |    | 1              | 0  | 1   | 医師        |
| 11月7日13時00分 | 11月7日15時30分  | 看護キャリア開発センター | 潜在看護師復職支援            | 静脈採血シミュレーター2台、輸液ポンプ、支柱台                                 |    | 2              | 5  | 7   | 看護師       |
| 11月7日17時15分 | 11月7日19時30分  | 看護キャリア開発センター | 呼吸器管理学習会             | プロジェクター、スクリーン                                           |    | 15             | 0  | 15  | 看護師       |
| 11月8日11時00分 | 11月8日13時00分  | 8階西病棟        | 勉強会の練習               | レサシアンシミュレーター、気道管理トレーナー、モニター、支柱台、救急カート、AEDトレーナー          |    | 2              | 0  | 2   | 看護師       |
| 11月8日16時30分 | 11月9日0時00分   | 泌尿器科         | ダヴィンチの練習             | ダヴィンチトレーナー                                              |    | 1              | 0  | 1   | 医師        |



平成29年度 スキルラボ利用実績一覧

| 使用開始日時       | 使用終了日時       | 使用団体名        | 使用の目的           | 使用物品                                                        | 持出          | 使用者数<br>使用者の内訳 |      | 計    | 主たる使用者の職名 |
|--------------|--------------|--------------|-----------------|-------------------------------------------------------------|-------------|----------------|------|------|-----------|
|              |              |              |                 |                                                             |             | 学内             | 学外   |      |           |
| 11月9日12時00分  | 11月9日15時00分  | 教育研究開発センター   | 1年生授業『医学概論Ⅱ』    | プロジェクター、スクリーン、スピーカー・マイク、ホワイトボード、ナースングアン、血圧測定シミュレーター、血圧計、聴診器 |             | 20             | 0    | 20   | 学生        |
| 11月10日9時30分  | 11月10日10時30分 | 教育研究開発センター   | 中学生の職業体験での施設見学  | 心音聴診シミュレーター、呼吸音聴診シミュレーター、聴診器、手洗い台、ECS                       |             | 3              | 2    | 5    | 一般参加者     |
| 11月10日13時00分 | 11月13日12時00分 | 患者支援センター     | 人権フェスタでの展示      | 乳癌検診モデル、血圧測定シミュレーター                                         | 有           | 1              | 50   | 51   | 一般参加者     |
| 11月10日13時00分 | 11月10日15時00分 | 産婦人科         | 教育              |                                                             |             | 5              | 2    | 7    | 医師        |
| 11月10日15時30分 | 11月10日17時00分 | 産婦人科         | 学生への教育          | 産科シミュレーター                                                   |             | 5              | 0    | 5    | 学生        |
| 11月10日16時00分 | 11月11日19時00分 | 医療安全推進部      | 気道管理講習会         | SimMan3G、挿管セット、ビデオ喉頭鏡、モニター、輸液ポンプ、シリンジポンプ、プロジェクター、スクリーン      | 有           | 10             | 10   | 20   | 医師        |
| 11月10日16時00分 | 11月10日19時30分 | 看護キャリア開発センター | 看護技術習得支援        | ナースングアン5体、万能成人看護モデル、皮内注射シミュレーター、筋肉注射シミュレーター、ストレッチャー、ベッド     |             | 20             | 0    | 20   | 看護師       |
| 11月13日9時30分  | 11月13日11時30分 | 泌尿器科         | 医学生の実習          | ダヴィンチトレーナー                                                  |             | 6              | 0    | 6    | 学生        |
| 11月13日12時00分 | 11月24日17時00分 | 12階東病棟       | 病棟内の研修          | DAMシミュレーター、挿管セット、バックバルブマスク                                  | 有           | 10             | 0    | 10   | 看護師       |
| 11月14日12時00分 | 11月14日13時00分 | 卒後臨床研修センター   | エコーの練習          | エコー                                                         |             | 1              | 0    | 1    | 医師        |
| 11月14日17時30分 | 11月14日19時30分 | 8階西病棟        | 勉強会の練習          | レサシアンシミュレーター、気道管理トレーナー、モニター、支柱台、救急カート、AEDトレーナー              |             | 2              | 0    | 2    | 看護師       |
| 11月15日11時30分 | 11月15日13時30分 | 12階西病棟       | 急変時の勉強会シミュレーション | レサシアン2体、挿管セット2個                                             | 有           | 10             | 0    | 10   | 看護師       |
| 11月15日15時00分 | 11月29日17時00分 | 8階西病棟        | 静脈注射レベル取得研修     | 静脈採血シミュレーター                                                 | 有           | 10             | 0    | 10   | 看護師       |
| 11月15日17時30分 | 11月15日19時30分 | 8階西病棟        | 勉強会の練習          | レサシアンシミュレーター、気道管理トレーナー、モニター、支柱台、救急カート、AEDトレーナー              |             | 2              | 0    | 2    | 看護師       |
| 11月16日12時00分 | 11月16日15時00分 | 教育研究開発センター   | 1年生授業『医学概論Ⅱ』    | プロジェクター、スクリーン、スピーカー・マイク、ホワイトボード                             |             | 20             | 0    | 20   | 学生        |
| 11月16日16時30分 | 11月17日17時00分 | 救急集中治療医学講座   | 出前授業での講習会       | レサシアン4体、AEDトレーナー24台                                         | 有           | 6              | 80   | 86   | 一般参加者     |
| 11月16日18時00分 | 11月16日19時00分 | 9階東病棟        | 技術演習            | レサシアンシミュレーター、救急カート、モニター                                     |             | 3              | 0    | 3    | 看護師       |
| 11月20日16時30分 | 11月20日18時00分 | 地域医療支援センター   | プライマリ・ケア勉強会     | エコー                                                         | 有           | 10             | 1    | 11   | 学生        |
| 11月20日14時00分 | 11月20日17時00分 | 医学部5年生       | 循環器内科ポリクリ       | 心音聴診シミュレーター、心臓模型、ホワイトボード                                    |             | 5              | 0    | 5    | 学生        |
| 11月20日17時30分 | 11月20日19時30分 | 8階西病棟        | 急変時勉強会          | レサシアンシミュレーター、気道管理トレーナー、モニター、支柱台、救急カート、AEDトレーナー              |             | 10             | 0    | 10   | 看護師       |
| 11月21日13時00分 | 12月1日17時00分  | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習           | 外科縫合セット                                                     | 有           | 1              | 0    | 1    | 医師        |
| 11月21日17時15分 | 11月21日19時30分 | 看護キャリア開発センター | 呼吸器管理学習会        | プロジェクター、スクリーン                                               |             | 15             | 0    | 15   | 看護師       |
| 11月22日17時00分 | 11月25日17時00分 | 第二外科         | ダヴィンチの練習        | ダヴィンチトレーナー                                                  |             | 1              | 0    | 1    | 医師        |
| 11月24日15時30分 | 11月24日17時00分 | 産婦人科         | 学生への教育          | 産科シミュレーター                                                   |             | 5              | 0    | 5    | 学生        |
| 11月27日9時30分  | 11月27日11時30分 | 泌尿器科         | 医学生の実習          | ダヴィンチトレーナー                                                  |             | 6              | 0    | 6    | 学生        |
| 11月27日13時00分 | 12月1日17時00分  | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習           | 外科縫合セット                                                     | 有           | 1              | 0    | 1    | 医師        |
| 11月28日15時00分 | 11月28日18時30分 | 看護キャリア開発センター | クリティカルケア研修      | ナースングアン3体、救急カート3台、モニター、心電計、血圧計                              |             | 20             | 0    | 20   | 看護師       |
| 11月29日17時00分 | 11月29日20時00分 | 教育研究開発センター   | 和医大臨床技能サークルの活動  | 腰椎穿刺シミュレーター、ホワイトボード                                         |             | 8              | 0    | 8    | 学生        |
| 11月30日15時00分 | 12月5日17時00分  | 救急集中治療医学講座   | 研修医の勉強会         | CVCシミュレーター、エアウェイトレーニングシステム                                  | 有           | 10             | 0    | 10   | 医師        |
| 11月30日12時00分 | 11月30日15時00分 | 教育研究開発センター   | 1年生授業『医学概論Ⅱ』    | プロジェクター、スクリーン、スピーカー・マイク、ホワイトボード                             |             | 20             | 0    | 20   | 学生        |
| 11月30日16時00分 | 11月30日19時30分 | 看護キャリア開発センター | 看護技術習得支援        | ナースングアン5体、万能成人看護モデル、皮内注射シミュレーター、筋肉注射シミュレーター、ストレッチャー、ベッド     |             | 20             | 0    | 20   | 看護師       |
| 11月30日20時00分 | 12月1日0時00分   | 9階東病棟        | 急変時のシミュレーション    | レサシアンシミュレーター、ベッド、救急カート、モニター                                 |             | 4              | 0    | 4    | 看護師       |
|              |              |              |                 |                                                             | 使用申請件数(11月) | 47件            | 364人 | 235人 | 599人      |

| 使用開始日時       | 使用終了日時       | 使用団体名        | 使用の目的            | 使用物品                                                                                                                         | 持出 | 使用者数<br>使用者の内訳 |    | 計   | 主たる使用者の職名 |
|--------------|--------------|--------------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|----|-----|-----------|
|              |              |              |                  |                                                                                                                              |    | 学内             | 学外 |     |           |
| 12月1日13時00分  | 12月4日17時00分  | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習            | 外科縫合セット                                                                                                                      | 有  | 1              | 0  | 1   | 医師        |
| 12月1日17時15分  | 12月1日19時30分  | 看護キャリア開発センター | 呼吸器管理学習会         | プロジェクター、スクリーン                                                                                                                |    | 15             | 0  | 15  | 看護師       |
| 12月4日14時00分  | 12月4日16時00分  | 卒後臨床研修センター   | エコーの練習           | エコー                                                                                                                          |    | 2              | 0  | 2   | 医師        |
| 12月5日14時00分  | 12月5日15時00分  | 経腹エコーの練習     | エコーシミュレーター       |                                                                                                                              |    | 2              | 0  | 2   | 医師        |
| 12月5日15時00分  | 12月5日17時00分  | 医学部5年生       | 循環器内科ポリクリ        | 心音聴診シミュレーター、心臓模型、ホワイトボード                                                                                                     |    | 5              | 0  | 5   | 学生        |
| 12月5日16時00分  | 12月5日18時00分  | 医療安全推進部      | 手術のシミュレーション      | SimPad、SimNewB                                                                                                               |    | 12             | 2  | 14  | 医師        |
| 12月6日12時00分  | 12月6日17時00分  | 9階東病棟        | 急変時のシミュレーション     | レサシアンシミュレーター、ベッド、救急カート、モニター                                                                                                  |    | 5              | 0  | 5   | 看護師       |
| 12月6日17時30分  | 12月6日18時30分  | 6階東病棟        | 勉強会の練習           | レサシアンシミュレーター、ベッド、救急カート、モニター                                                                                                  |    | 4              | 0  | 4   | 看護師       |
| 12月7日12時00分  | 12月7日15時00分  | 教育研究開発センター   | 1年生授業『医学概論Ⅱ』     | プロジェクター、スクリーン、スピーカー・マイク、ホワイトボード、気道管理トレーナー、DAMシミュレーター、エアウェイトレーニングシステム、挿管セット、バックバルブマスク                                         |    | 20             | 0  | 20  | 学生        |
| 12月7日16時30分  | 12月7日19時30分  | 看護キャリア開発センター | 看護技術習得支援         | レサシアンシミュレーター2体、万能成人看護モデル、AEDトレーナー2台、ベビーアン2体、皮内注射シミュレーター、筋肉注射シミュレーター、ベッド、気道管理トレーナー、DAMシミュレーター、エアウェイトレーニングシステム、挿管セット、バックバルブマスク |    | 20             | 0  | 20  | 看護師       |
| 12月8日13時00分  | 12月8日15時00分  | 産婦人科         | 手技練習             | なし                                                                                                                           |    | 5              | 2  | 7   | 医師        |
| 12月8日14時30分  | 12月8日15時30分  | 卒後臨床研修センター   | 経腹エコーの練習         | エコーシミュレーター                                                                                                                   |    | 2              | 0  | 2   | 医師        |
| 12月8日15時30分  | 12月8日17時00分  | 産婦人科         | 学生への教育           | 産科シミュレーター                                                                                                                    |    | 5              | 0  | 5   | 学生        |
| 12月8日17時15分  | 12月8日19時30分  | 看護キャリア開発センター | 呼吸器管理学習会         | プロジェクター、スクリーン                                                                                                                |    | 15             | 0  | 15  | 看護師       |
| 12月10日8時00分  | 12月10日19時00分 | 脳神経外科        | 第18回和歌山ISLS開催    | ホワイトボード                                                                                                                      |    | 5              | 45 | 50  | 医師        |
| 12月11日9時00分  | 12月20日17時00分 | 5階西病棟        | 採血手技練習           | 点滴静注シミュレーター                                                                                                                  | 有  | 5              | 0  | 5   | 看護師       |
| 12月11日9時00分  | 12月11日17時00分 | 9階東病棟        | 急変時の技術取得         | レサシアンシミュレーター、ベッド、救急カート、モニター、支柱台                                                                                              |    | 5              | 0  | 5   | 看護師       |
| 12月11日10時00分 | 12月11日17時00分 | 6階東病棟        | 勉強会の練習           | レサシアンシミュレーター、ベッド、救急カート、モニター                                                                                                  |    | 10             | 0  | 10  | 看護師       |
| 12月11日9時30分  | 12月11日11時30分 | 泌尿器科         | 医学生の実習           | ダヴィンチトレーナー                                                                                                                   |    | 6              | 0  | 6   | 学生        |
| 12月11日13時00分 | 12月13日17時00分 | 血液内科         | 研修               | CVCパッド                                                                                                                       | 有  | 2              | 0  | 2   | 医師        |
| 12月11日17時00分 | 12月11日19時00分 | 6階東病棟        | 勉強会の練習           | レサシアンシミュレーター、ベッド、救急カート、モニター                                                                                                  |    | 10             | 0  | 10  | 看護師       |
| 12月12日12時00分 | 12月12日19時00分 | 9階東病棟        | 急変時の技術取得         | レサシアンシミュレーター、ベッド、救急カート、モニター、支柱台                                                                                              |    | 10             | 0  | 10  | 看護師       |
| 12月12日19時00分 | 12月12日0時00分  | 6階東病棟        | 勉強会の練習           | 気道管理トレーナー、ベッド、救急カート、モニター、挿管セット                                                                                               |    | 5              | 0  | 5   | 看護師       |
| 12月13日8時00分  | 12月13日17時00分 | 教育研究開発センター   | 医学部4年生授業「臨床実習入門」 | 眼底診察シミュレーター、耳の診察シミュレーター、検眼鏡、耳鏡                                                                                               |    | 110            | 0  | 110 | 学生        |

平成29年度 スキルラボ利用実績一覧

| 使用開始日時       | 使用終了日時       | 使用団体名        | 使用の目的            | 使用物品                                                                                                                          | 持出 | 使用者数<br>使用者の内訳 |    | 計   | 主たる使用者の職名 |
|--------------|--------------|--------------|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|----|-----|-----------|
|              |              |              |                  |                                                                                                                               |    | 学内             | 学外 |     |           |
| 12月13日18時00分 | 12月13日20時00分 | 教育研究開発センター   | 和医大臨床技能サークルの活動   | 気道管理トレーナー、DAMシミュレーター、エアウェイトトレーニングシステム、挿管セット、バックバルブマスク                                                                         |    | 8              | 0  | 8   | 学生        |
| 12月13日19時00分 | 12月13日0時00分  | 6階東病棟        | 勉強会の練習           | 気道管理トレーナー、ベッド、救急カート、モニター、挿管セット                                                                                                |    | 5              | 0  | 5   | 看護師       |
| 12月14日8時00分  | 12月14日17時00分 | 教育研究開発センター   | 医学部4年生授業「臨床実習入門」 | 心音聴診シミュレーター、呼吸音聴診シミュレーター、フィジコ、乳癌検診モデル                                                                                         |    | 110            | 0  | 110 | 学生        |
| 12月15日8時00分  | 12月15日17時00分 | 教育研究開発センター   | 医学部4年生授業「臨床実習入門」 | 前立腺触診シミュレーター、直腸診シミュレーター、婦人科シミュレーター、導尿シミュレーター                                                                                  |    | 110            | 0  | 110 | 学生        |
| 12月16日7時30分  | 12月16日17時00分 | 救急集中治療医学講座   | 1次心肺蘇生法講習会       | レサシアンQCPR8体、AEDトレーナー8台、ベビーアン8体、チョーキングチャーリー2体、マット16枚、バックバルブマスク、プロジェクター、スクリーン、マイク・スピーカー                                         |    | 8              | 8  | 16  | 医師        |
| 12月15日17時00分 | 12月26日14時00分 | 11階東病棟       | 研修               | DAMシミュレーター、挿管セット、バックバルブマスク                                                                                                    | 有  | 5              | 0  | 5   | 看護師       |
| 12月18日8時00分  | 12月18日17時00分 | 教育研究開発センター   | 医学部4年生授業「臨床実習入門」 | なし                                                                                                                            |    | 110            | 0  | 110 | 学生        |
| 12月18日9時00分  | 12月25日17時00分 | 中央手術部看護師     | 静脈注射手技取得         | 静脈採血シミュレーター                                                                                                                   | 有  | 3              | 0  | 3   | 看護師       |
| 12月18日14時00分 | 12月18日17時00分 | 医学部5年生       | 循環器内科ポリクリ        | 心音聴診シミュレーター、心臓模型、ホワイトボード                                                                                                      |    | 5              | 0  | 5   | 学生        |
| 12月18日16時30分 | 12月18日18時00分 | 地域医療支援センター   | プライマリ・ケア勉強会      | エコー                                                                                                                           | 有  | 10             | 1  | 11  | 学生        |
| 12月18日18時00分 | 12月18日20時00分 | 看護キャリア開発センター | 打合せ              | SimMan3G、救急カート、挿管セット、バックバルブマスク                                                                                                |    | 2              | 0  | 2   | 看護師       |
| 12月19日8時00分  | 12月19日17時00分 | 教育研究開発センター   | 医学部4年生授業「臨床実習入門」 | なし                                                                                                                            |    | 110            | 0  | 110 | 学生        |
| 12月20日8時00分  | 12月20日17時00分 | 教育研究開発センター   | 医学部4年生授業「臨床実習入門」 | 静脈採血シミュレーター                                                                                                                   |    | 110            | 0  | 110 | 学生        |
| 12月20日14時30分 | 12月27日17時30分 | HCU          | 勉強会              | 点滴静注シミュレーター                                                                                                                   | 有  | 5              | 0  | 5   | 看護師       |
| 12月20日18時00分 | 12月20日20時00分 | 看護キャリア開発センター | 打合せ              | SimMan3G、救急カート、挿管セット、バックバルブマスク                                                                                                |    | 2              | 0  | 2   | 看護師       |
| 12月21日8時00分  | 12月21日17時00分 | 教育研究開発センター   | 医学部4年生授業「臨床実習入門」 | 手洗い台、静脈採血シミュレーター                                                                                                              |    | 110            | 0  | 110 | 学生        |
| 12月22日8時00分  | 12月22日17時00分 | 教育研究開発センター   | 医学部4年生授業「臨床実習入門」 | レサシアン18体、AEDトレーナー18台、バックバルブマスク18個、ポケットマスク18個、マット18枚                                                                           |    | 110            | 10 | 120 | 学生        |
| 12月22日15時30分 | 12月27日17時00分 | HCU          | テスト              | 点滴静注シミュレーター                                                                                                                   | 有  | 3              | 0  | 3   | 看護師       |
| 12月22日15時30分 | 12月22日17時00分 | 産婦人科         | 学生への教育           | 産科シミュレーター                                                                                                                     |    | 5              | 0  | 5   | 学生        |
| 12月25日9時30分  | 12月25日11時30分 | 泌尿器科         | 医学生の実習           | ダヴィンチトレーナー                                                                                                                    |    | 6              | 0  | 6   | 学生        |
| 12月26日16時30分 | 12月26日19時30分 | 看護キャリア開発センター | 看護技術習得支援         | レサシアンシミュレーター2体、万能成人看護モデル、AEDトレーナー2台、ベビーアン2体、皮内注射シミュレーター、筋肉注射シミュレーター、ベッド、気道管理トレーナー、DAMシミュレーター、エアウェイトトレーニングシステム、挿管セット、バックバルブマスク |    | 20             | 0  | 20  | 看護師       |
| 12月27日13時30分 | 1月4日17時00分   | 6階西病棟        | 練習               | 産科シミュレーター                                                                                                                     | 有  | 3              | 0  | 3   | 看護師       |
| 12月27日15時00分 | 1月4日17時00分   | 12階東病棟       | 手技練習             | 気道管理トレーナー、挿管セット、バックバルブマスク                                                                                                     | 有  | 2              | 0  | 2   | 看護師       |
| 12月27日17時00分 | 1月4日17時00分   | 5階東病棟        | 学習               | レサシアン                                                                                                                         | 有  | 5              | 0  | 5   | 看護師       |

使用申請件数(12月) 48件 1148人 68人 1216人

| 使用開始日時      | 使用終了日時      | 使用団体名        | 使用の目的         | 使用物品                                                                                                                | 持出 | 使用者数<br>使用者の内訳 |    | 計  | 主たる使用者の職名 |
|-------------|-------------|--------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|----|----|-----------|
|             |             |              |               |                                                                                                                     |    | 学内             | 学外 |    |           |
| 1月4日12時00分  | 1月31日17時00分 | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習         | 外科縫合セット                                                                                                             | 有  | 1              | 0  | 1  | 医師        |
| 1月4日12時00分  | 2月6日17時00分  | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習         | 外科縫合セット                                                                                                             | 有  | 1              | 0  | 1  | 医師        |
| 1月4日15時00分  | 1月9日17時00分  | 10階東病棟       | 膀胱留置の勉強会      | 導尿シミュレーター(女性)                                                                                                       | 有  | 15             | 0  | 15 | 看護師       |
| 1月5日15時30分  | 1月8日20時00分  | 第二外科         | 練習            | 腹腔鏡シミュレーター                                                                                                          |    | 2              | 0  | 2  | 医師        |
| 1月5日12時00分  | 2月6日17時00分  | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習         | 外科縫合セット                                                                                                             | 有  | 1              | 0  | 1  | 医師        |
| 1月9日12時00分  | 1月17日17時00分 | 11階東病棟       | 病棟内の研修        | DAMシミュレーター、挿管セット、バックバルブマスク                                                                                          | 有  | 6              | 0  | 6  | 看護師       |
| 1月10日12時00分 | 2月13日17時00分 | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習         | 外科縫合セット                                                                                                             | 有  | 1              | 0  | 1  | 医師        |
| 1月11日12時00分 | 1月11日15時00分 | 教育研究開発センター   | 1年生授業『医学概論Ⅱ』  | プロジェクター、スクリーン、スピーカー・マイク、ホワイトボード、Simman3G、挿管セット、バックバルブマスク                                                            |    | 20             | 0  | 20 | 学生        |
| 1月11日17時15分 | 1月11日19時30分 | 看護キャリア開発センター | 呼吸器管理学習会      | プロジェクター、スクリーン                                                                                                       |    | 15             | 0  | 15 | 看護師       |
| 1月12日12時00分 | 1月12日17時00分 | 医学部4年生       | OSCE自習        | 血圧計、打腱器、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー                                                                                  | 有  | 5              | 0  | 5  | 学生        |
| 1月12日12時00分 | 1月12日17時00分 | 医学部4年生       | OSCE自習        | 血圧計、打腱器、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー                                                                                  | 有  | 5              | 0  | 5  | 学生        |
| 1月12日12時00分 | 1月12日17時00分 | 医学部4年生       | OSCE自習        | 血圧計、打腱器、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー                                                                                  | 有  | 5              | 0  | 5  | 学生        |
| 1月14日17時00分 | 1月16日19時00分 | 卒後臨床研修センター   | 内視鏡の練習        | 内視鏡                                                                                                                 |    | 1              | 0  | 1  | 医師        |
| 1月12日17時00分 | 1月14日18時00分 | 救急集中治療医学講座   | 二次心肺蘇生法講習会    | ハートシム、レサシアンシミュレーター3体、レサシアンwith QCPR9体、除細動器、AEDトレーナー9台、DAMシミュレーター、気道管理トレーナー、バックバルブマスク、プロジェクター、スクリーン                  |    | 15             | 5  | 20 | 医師        |
| 1月15日9時00分  | 1月15日12時00分 | 医学部4年生       | OSCE自習        | 血圧計、打腱器、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー                                                                                  | 有  | 10             | 0  | 10 | 学生        |
| 1月15日12時00分 | 1月18日17時00分 | 医学部4年生       | OSCE自習        | 血圧計、打腱器、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー                                                                                  | 有  | 10             | 0  | 10 | 学生        |
| 1月15日14時00分 | 1月15日17時00分 | 医学部4年生       | OSCE自習        | 血圧計、打腱器、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー                                                                                  | 有  | 5              | 0  | 5  | 学生        |
| 1月15日10時00分 | 1月16日17時00分 | 10階東病棟       | 若手スタッフの技術チェック | レサシアン、導尿シミュレーター(男性)、皮内シミュレーター、筋肉注射シミュレーター                                                                           | 有  | 6              | 0  | 6  | 看護師       |
| 1月16日12時00分 | 2月16日17時00分 | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習         | 外科縫合セット                                                                                                             | 有  | 1              | 0  | 1  | 医師        |
| 1月16日12時00分 | 1月16日15時00分 | 医学部4年生       | OSCE自習        | 血圧計、打腱器、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー                                                                                  | 有  | 3              | 0  | 3  | 学生        |
| 1月16日12時00分 | 1月16日17時00分 | 医学部4年生       | OSCE自習        | 血圧計、打腱器、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー                                                                                  | 有  | 5              | 0  | 5  | 学生        |
| 1月16日12時00分 | 1月16日14時00分 | 卒後臨床研修センター   | 内視鏡の練習        | 内視鏡                                                                                                                 |    | 1              | 0  | 1  | 医師        |
| 1月17日12時00分 | 1月17日17時00分 | 医学部4年生       | OSCE自習        | 血圧計、打腱器、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー                                                                                  | 有  | 5              | 0  | 5  | 学生        |
| 1月17日13時00分 | 1月17日17時00分 | 医学部4年生       | OSCE自習        | 血圧計、打腱器、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー                                                                                  | 有  | 5              | 0  | 5  | 学生        |
| 1月17日16時30分 | 1月18日17時00分 | 医学部4年生       | OSCE自習        | 血圧計、打腱器、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー                                                                                  | 有  | 5              | 0  | 5  | 学生        |
| 1月18日12時00分 | 1月18日15時00分 | 教育研究開発センター   | 1年生授業『医学概論Ⅱ』  | プロジェクター、スクリーン、スピーカー・マイク、ホワイトボード、Simman3G、挿管セット、バックバルブマスク                                                            |    | 20             | 0  | 20 | 学生        |
| 1月18日16時30分 | 1月18日19時30分 | 看護キャリア開発センター | 看護技術習得支援      | レサシアンシミュレーター2体、AEDトレーナー2台、ベビーアン2体、皮内注射シミュレーター、筋肉注射シミュレーター、ベッド、気道管理トレーナー、DAMシミュレーター、エアウェイトトレーニングシステム、挿管セット、バックバルブマスク |    | 20             | 0  | 20 | 看護師       |
| 1月18日19時30分 | 1月19日0時00分  | 医学部4年生       | OSCE自習        | 血圧計、打腱器、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー                                                                                  | 有  | 13             | 0  | 13 | 学生        |
| 1月19日10時30分 | 1月31日16時00分 | 12階東病棟       | 手技の獲得         | 点滴静注シミュレーター                                                                                                         | 有  | 3              | 0  | 3  | 看護師       |

平成29年度 スキルスラボ利用実績一覧

| 使用開始日時      | 使用終了日時      | 使用団体名        | 使用の目的                  | 使用物品                                                                                                               | 持出         | 使用者数<br>使用者の内訳 |      | 計   | 主たる使用者の職名 |
|-------------|-------------|--------------|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|----------------|------|-----|-----------|
|             |             |              |                        |                                                                                                                    |            | 学内             | 学外   |     |           |
| 1月19日12時00分 | 1月23日17時00分 | 11階東病棟       | 病棟内の研修                 | DAMシミュレーター、挿管セット、バックバルブマスク                                                                                         | 有          | 6              | 0    | 6   | 看護師       |
| 1月19日13時00分 | 1月22日14時00分 | 12階西病棟       | 勉強会                    | レサシアン、挿管セット                                                                                                        | 有          | 5              | 0    | 5   | 看護師       |
| 1月19日15時30分 | 1月19日17時00分 | 産婦人科         | 学生への教育                 | 産科シミュレーター                                                                                                          |            | 5              | 0    | 5   | 学生        |
| 1月19日17時00分 | 1月20日17時00分 | 医療安全推進部      | 心肺蘇生法講習会               | レサシアン with Q CPR5体、AEDトレーナー5台、バックバルブマスク、スクリーン、プロジェクター                                                              | 有          | 8              | 18   | 26  | 医師        |
| 1月19日17時00分 | 1月22日17時00分 | 教育研究開発センター   | 医学部4年生OSCE             | なし                                                                                                                 |            | 20             | 0    | 20  | 職員        |
| 1月23日14時30分 | 2月6日14時30分  | 8階東病棟        | OJT                    | 点滴静注シミュレーター                                                                                                        | 有          | 4              | 0    | 4   | 看護師       |
| 1月23日17時15分 | 1月23日19時30分 | 看護キャリア開発センター | 呼吸器管理学習会               | プロジェクター、スクリーン                                                                                                      |            | 15             | 0    | 15  | 看護師       |
| 1月23日18時00分 | 1月23日19時00分 | 7階西病棟        | 研修準備                   | ベッド、モニター、血圧計                                                                                                       |            | 2              | 0    | 2   | 看護師       |
| 1月24日13時00分 | 1月24日20時00分 | 医学部4年生       | OSCE自習                 | 血圧計、打腱器、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー                                                                                 | 有          | 2              | 0    | 2   | 学生        |
| 1月25日12時00分 | 1月25日15時00分 | 教育研究開発センター   | 1年生授業『医学概論Ⅱ』           | プロジェクター、スクリーン、スピーカー・マイク、ホワイトボード、心音聴診シミュレーター、挿管セット、バックバルブマスク、血圧計、血圧測定シミュレーター                                        |            | 20             | 0    | 20  | 学生        |
| 1月25日14時30分 | 1月25日20時00分 | 医学部4年生       | OSCE自習                 | 血圧計、打腱器、静脈採血シミュレーター、レサシアン、AEDトレーナー                                                                                 | 有          | 2              | 0    | 2   | 学生        |
| 1月25日15時00分 | 1月26日17時30分 | 9階東病棟        | 静脈注射レベル認定              | 静脈採血シミュレーター                                                                                                        | 有          | 7              | 0    | 7   | 看護師       |
| 1月26日13時00分 | 1月26日15時00分 | 産婦人科         | 教育                     |                                                                                                                    |            | 5              | 2    | 7   | 医師        |
| 1月26日16時30分 | 1月26日19時30分 | 看護キャリア開発センター | 看護技術習得支援               | レサシアンシミュレーター2体、AEDトレーナー2台、ベビーアン2体、皮内注射シミュレーター、筋肉注射シミュレーター、ベッド、気道管理トレーナー、DAMシミュレーター、エアウェイトレーニングシステム、挿管セット、バックバルブマスク |            | 20             | 0    | 20  | 看護師       |
| 1月26日19時30分 | 1月27日19時00分 | 血液内科         | JMECC(日本内科学会認定ICLSコース) | レサシアン9体、AEDトレーナー9台、レサシアンシミュレーター3体、除細動器3台、気道管理トレーナー、エアウェイトレーニングシステム、救急カート、バックバルブマスク9個。プロジェクター、スク                    |            | 40             | 0    | 40  | 医師        |
| 1月28日8時00分  | 1月28日18時00分 | 救急集中治療医学講座   | 災害医療の研修                | ホワイトボード、プロジェクター、スクリーン                                                                                              |            | 25             | 25   | 50  | 医師        |
| 1月29日10時00分 | 2月6日17時00分  | 中央手術部看護師     | 技術研修                   | 静脈採血シミュレーター                                                                                                        | 有          | 6              | 0    | 6   | 看護師       |
| 1月29日16時30分 | 1月29日18時00分 | 地域医療支援センター   | プライマリ・ケア勉強会            | エコー                                                                                                                | 有          | 10             | 1    | 11  | 学生        |
| 1月29日13時00分 | 1月29日15時00分 | 医学部5年生       | 循環器内科ポリクリ              | 心音聴診シミュレーター、心臓模型、ホワイトボード                                                                                           |            | 5              | 0    | 5   | 学生        |
| 1月29日13時00分 | 1月31日17時30分 | 看護キャリア開発センター | シミュレーション研修             | ECS、モニター、救急カート、除細動器、プロジェクター、ホワイトボード                                                                                |            | 50             | 0    | 50  | 看護師       |
| 1月30日17時30分 | 1月30日20時00分 | 看護キャリア開発センター | BLS練習                  | レサシアン、ベビーアン、マット、AEDトレーナー                                                                                           |            | 6              | 0    | 6   | 看護師       |
| 1月31日10時00分 | 2月23日17時00分 | HCU          | ACLSシミュレーション           | レサシアン、バックバルブマスク                                                                                                    | 有          | 12             | 0    | 12  | 看護師       |
|             |             |              |                        |                                                                                                                    | 使用申請件数(1月) | 51件            | 480人 | 51人 | 531人      |

| 使用開始日時      | 使用終了日時      | 使用団体名        | 使用の目的                   | 使用物品                                                                                                                                                 | 持出 | 使用者数<br>使用者の内訳 |    | 計  | 主たる使用者の職名 |
|-------------|-------------|--------------|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|----|----|-----------|
|             |             |              |                         |                                                                                                                                                      |    | 学内             | 学外 |    |           |
| 2月5日16時00分  | 2月5日20時00分  | 看護キャリア開発センター | シミュレーション研修の予行練習         | sim man1 ベッド1 医大使用の救急カート、挿管セット(あるだけ) 気管管理トレーナー1 DAMシミュレーター モニター 流量計 支柱台 支柱棒 床頭台1 ホワイトボード3 カート3                                                       |    | 5              | 0  | 5  | 看護師       |
| 2月7日12時00分  | 2月7日13時00分  | 臨床工学センター     | SimManプログラミング           | SimMan3G                                                                                                                                             |    | 1              | 0  | 1  | 医師        |
| 2月7日17時00分  | 2月7日21時00分  | ICU看護師       | BLS・ACLS研修              | レサシアン(半身タイプ)1体、ベビーアン1体、バックバルブマスク成人用1個 小児用1個 チョーキングチャーリー1体、AED1台、BLS訓練用マット                                                                            |    | 3              | 0  | 3  | 看護師       |
| 2月8日17時00分  | 2月8日21時00分  | 看護キャリア開発センター | BLS・ACLS研修              | レサシアン(半身タイプ)1体、ベビーアン1体、バックバルブマスク成人用1個 小児用1個 チョーキングチャーリー1体、AED1台、BLS訓練用マット                                                                            |    | 3              | 0  | 3  | 看護師       |
| 2月8日21時00分  | 2月13日12時00分 | 看護キャリア開発センター | BLS・ACLS研修              | レサシアン(半身タイプ)1体、ベビーアン1体、バックバルブマスク成人用1個 小児用1個 チョーキングチャーリー1体、AED1台、BLS訓練用マット                                                                            | 有  | 3              | 0  | 3  | 看護師       |
| 2月10日8時00分  | 2月11日17時00分 | 産科婦人科学教室     | ALSO産科救急講習会             | ホワイトボード3、プロジェクター3、点滴台5、スクリーン3、スピーカー1、マイク3、レサシアン5、AED5、BVM5                                                                                           |    | 22             | 10 | 32 | 学生        |
| 2月12日12時00分 | 2月12日19時00分 | 周産期医療センター    | 新生児蘇生法講習会               | 新生児蘇生人形4、新生児気道管理トレーナー3、吸引器(大)2、吸引器(小)2、レサシフロー、プロジェクター1、スクリーン1                                                                                        |    | 10             | 5  | 15 | 医師        |
| 2月13日13時30分 | 2月13日17時30分 | 循環器内科ポリクリ    | 循環器内科のポリクリ、心音の勉強        | イチロー                                                                                                                                                 |    | 0              | 10 | 10 | 学生        |
| 2月13日9時00分  | 2月14日21時00分 | 医学部5年        | コンケン大学での救急competition対策 | 除細動器、レサシアンwithQ CPR、バックバルブマスク                                                                                                                        | 有  | 9              | 0  | 9  | 学生        |
| 2月15日9時00分  | 2月15日12時00分 | 看護キャリア開発センター | 特定行為研修実習準備              | ナーシングアン1体、シムマン1体、ベッド2台、支柱台2本、聴診器2本、ホワイトボード2台、人工呼吸器、救急カート                                                                                             |    | 5              | 0  | 5  | 看護師       |
| 2月15日14時00分 | 2月27日14時00分 | 8階東病棟        | 静脈注射テスト                 | 点滴静注シミュレーター                                                                                                                                          | 有  | 5              | 0  | 5  | 看護師       |
| 2月15日17時00分 | 2月15日21時00分 | 看護キャリア開発センター | BLS練習                   | レサシアン(半身タイプ)2体、ベビーアン2体、バックバルブマスク成人用2個、新生児用2個 チョーキングチャーリー1体、AED2台、BLS訓練用マット2                                                                          |    | 7              | 0  | 7  | 看護師       |
| 2月16日17時00分 | 2月16日21時00分 | 看護キャリア開発センター | BLS練習                   | レサシアン1体、AED1台、ベビーアン1体、バックバルブマスク(成人用と小児用各1個)、チャーリー1体、BLS用マット2枚                                                                                        |    | 3              | 0  | 3  | 看護師       |
| 2月16日15時30分 | 2月16日16時30分 | 産科婦人科        | 臨床実習                    | ソフィー                                                                                                                                                 |    | 6              | 0  | 6  | 学生        |
| 2月17日8時00分  | 2月17日17時00分 | 救急集中治療医学講座   | 一次心肺蘇生の普及               | レサシアンQ CPR8体、AED8台、BLSマット16枚、ベビーアン8体、チョーキングチャーリー2体、スクリーン1、プロジェクター1台、TVモニター6台、HDMIケーブル、HDMI分配器、アルコール綿、バックマクス成人用8個、バックマスク小児用8個、小児用ポケットマスク8個、タオル8枚、マイク、 |    | 15             | 15 | 30 | 医師        |
| 2月19日9時00分  | 2月26日17時00分 | 9東           | 救急シミュレーション              | レサシアン(半身タイプ)バックバルブマスク                                                                                                                                | 有  | 15             | 0  | 15 | 看護師       |
| 2月19日17時30分 | 2月20日16時00分 | 12西          | 練習                      | レサシアン(半身タイプ)1、挿管セット1                                                                                                                                 | 有  | 3              | 0  | 3  | 看護師       |
| 2月19日00時00分 | 2月20日16時00分 | 看護キャリア開発センター | 特定行為研修                  | SimMan1、ベッド1、流量計2、ベッドサイドモニター1、ストレッチャー ワゴン3、支柱台2、床頭台1、 ホワイトボード3、CPS実習ユニット、机2、椅子8、輸液ポンプ、プロジェクター、支柱棒1、ジャクソンリースバッグ1、尿器1、                                 |    | 10             | 0  | 10 | 看護師       |
| 2月20日9時30分  | 3月2日17時30分  | 10階東病棟       | 静脈注射の練習                 | Vライン                                                                                                                                                 | 有  | 10             | 0  | 10 | 看護師       |
| 2月21日11時00分 | 2月22日17時00分 | 12西          | 技術研修                    | レサシアン1                                                                                                                                               | 有  | 3              | 0  | 3  | 看護師       |
| 2月21日16時00分 | 3月7日16時00分  | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習                   | 外科縫合セット                                                                                                                                              | 有  | 1              | 0  | 1  | 医師        |
| 2月22日12時00分 | 2月23日14時00分 | 11階東病棟       | 技術指導                    | DAMシミュレーター1、挿管セット(成人)1、                                                                                                                              | 有  | 6              | 0  | 6  | 看護師       |
| 2月23日9時00分  | 2月26日17時00分 | 9東           | 救急トレーニング                | 救急カート                                                                                                                                                | 有  | 10             | 0  | 10 | 看護師       |



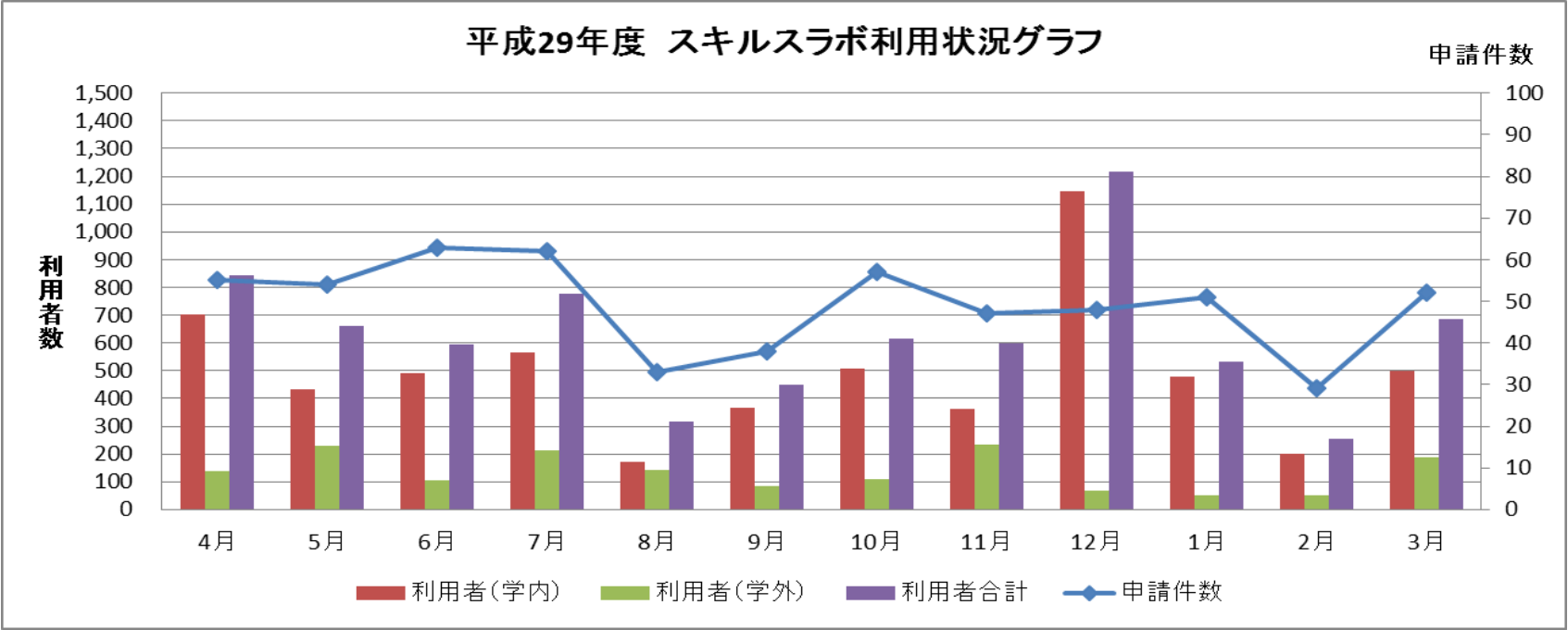
平成29年度 スキルラボ利用実績一覧

| 使用開始日時      | 使用終了日時      | 使用団体名        | 使用の目的        | 使用物品                                         | 持出  | 使用者数   |     | 計    | 主たる使用者の職名 |
|-------------|-------------|--------------|--------------|----------------------------------------------|-----|--------|-----|------|-----------|
|             |             |              |              |                                              |     | 使用者の内訳 |     |      |           |
|             |             |              |              |                                              |     | 学内     | 学外  |      |           |
| 2月23日12時00分 | 2月27日14時00分 | 麻酔科          | 学生実習         | DAMシミュレーター、軌道管理トレーナー                         | 有   | 10     | 0   | 10   | 学生        |
| 2月26日16時30分 | 2月26日18時00分 | 地域医療支援センター   | プライマリ・ケアセミナー | エコー一式                                        | 有   | 10     | 1   | 11   | 学生        |
| 2月26日12時00分 | 3月6日12時00分  | 12階西病棟       | 技術習得         | Vライン                                         | 有   | 3      | 0   | 3    | 看護師       |
| 2月27日17時00分 | 2月27日20時00分 | 看護キャリア開発センター | 呼吸器管理学習会     | SimMan、ベッド、ストレッチャー、ワゴン2、BVM、中央配管、支柱台、ホワイトボード |     | 10     | 0   | 10   | 看護師       |
| 2月27日12時00分 | 3月1日12時00分  | 12階東看護師      | 末梢静脈路確保の練習   | 点滴静注シミュレーター                                  | 有   | 1      | 0   | 1    | 看護師       |
| 2月27日9時00分  | 3月9日17時00分  | 救急集中治療医学講座   | 心肺蘇生普及       | レサシアンSimpat版2                                | 有   | 12     | 12  | 24   | 医師        |
| 使用申請件数(2月)  |             |              |              |                                              | 29件 | 201人   | 53人 | 254人 |           |

| 使用開始日時      | 使用終了日時      | 使用団体名        | 使用の目的           | 使用物品                                                                                                                                                                                                         | 持出 | 使用者数         |    | 計   | 主たる使用者の職名 |
|-------------|-------------|--------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------------|----|-----|-----------|
|             |             |              |                 |                                                                                                                                                                                                              |    | 使用者の内訳<br>学内 | 学外 |     |           |
| 3月2日17時00分  | 3月3日19時00分  | 医療安全推進部・麻酔科  | 心肺蘇生講習会(BLSコース) | レサシアン(半身タイプ、カウンター機能付き)5体、チョーキングチャーリー 3体、AEDトレーナー(レールダル)5台(+1台予備)、ベビーアン 5体、リトルジュニア 5体、バックバルブマスク :成人用 5 乳児用 5セット、乳児用ポケットマスク 5. メトロノーム 1コ、パソコン 1セット、プロジェクター&スクリーン 2セット、スピーカーセット 1セット、BLS用マット 5枚                 | 有  | 8            | 18 | 26  | 医師        |
| 3月2日13時00分  | 3月14日17時00分 | 第一外科         | 学生指導のため         | 縫合セット                                                                                                                                                                                                        | 有  | 16           | 0  | 16  | 学生        |
| 3月2日17時30分  | 3月16日17時30分 | 10階東病棟       | 静脈注射の練習のため      | 静脈注射シミュレータ                                                                                                                                                                                                   | 有  | 10           | 0  | 10  | 看護師       |
| 3月5日10時00分  | 3月5日17時30分  | 医事課          | 臓器提供シミュレーション    | ベッド、レサシアン、生体情報モニタ、輸液ポンプ、支柱台、人工呼吸器、ホワイトボード2、                                                                                                                                                                  | 有  | 30           | 0  | 30  | 職員        |
| 3月5日9時00分   | 3月5日14時00分  | 循環器内科        | 臨床実習            | イチロー                                                                                                                                                                                                         | 有  | 10           | 0  | 10  | 看護師       |
| 3月5日13時00分  | 3月5日15時00分  | 保健看護学部       | 実習打ち合わせ         | SimMan3G                                                                                                                                                                                                     |    | 2            | 0  | 2   | 医師        |
| 3月5日18時00分  | 3月9日17時00分  | 救急集中治療医学講座   | 心肺蘇生普及          | レサシアンSim1、PC1                                                                                                                                                                                                | 有  | 3            | 0  | 3   | 医師        |
| 3月5日16時00分  | 3月5日20時00分  | 看護キャリア開発センター | シミュレーション学習会     | Sim Man1体 ベッド1台 流量計1 ベッドサイドモニター(生体モニター)1 支柱台2 床頭台1 ホワイトボード3 ワゴン3 机3 椅子8 輸液ポンプ1 CPSユニット1 救急カート(医大使用)1 挿管セット5 DAMシミュレーター1 気管管理トレーナー1 BVM3 聴診器3                                                                 |    | 8            | 0  | 8   | 看護師       |
| 3月5日8時00分   | 3月30日16時00分 | 形成外科         | 学生実習            | ヘガール持針器6、鑷子6、眼科剪刀6、マイクロ鑷子6、マイクロ持針器2、マイクロハサミ2                                                                                                                                                                 | 有  | 6            | 0  | 6   | 学生        |
| 3月6日15時00分  | 3月6日18時00分  | 医療安全推進部      | BLS研修           | レサシアンwithQCPR8体、AED8個                                                                                                                                                                                        |    | 60           | 0  | 60  | 医師        |
| 3月7日9時00分   | 3月7日14時00分  | Mゼミ          | シミュレーション教育      | シムマン3G、救急ケアシミュレーター、ナーシングアン、SimPat                                                                                                                                                                            |    | 6            | 0  | 6   | 学生        |
| 3月8日9時00分   | 3月14日17時30分 | 9階西          | 研修              | シンジョー                                                                                                                                                                                                        | 有  | 5            | 0  | 5   | 看護師       |
| 3月8日9時00分   | 3月15日16時00分 | 7階西          | 静脈注射のトレーニング     | シンジョー                                                                                                                                                                                                        | 有  | 10           | 0  | 10  | 看護師       |
| 3月8日13時00分  | 3月8日16時00分  | 教育研究開発センター   | 和歌山SPの会開催       | VP、スクリーン、ホワイトボード、マイク、スピーカー                                                                                                                                                                                   |    | 3            | 20 | 23  | 一般参加者     |
| 3月8日16時00分  | 3月30日16時00分 | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習           | 外科縫合セット                                                                                                                                                                                                      | 有  | 1            | 0  | 1   | 医師        |
| 3月9日16時00分  | 3月9日18時30分  | 看護部褥瘡管理委員会   | OJTの資料作成        | ベッド                                                                                                                                                                                                          |    | 5            | 0  | 5   | 看護師       |
| 3月9日16時00分  | 3月9日21時00分  | 看護キャリア開発センター | BLS練習           | レサシアン1、ベビーアン1、BVM(成人、小児)各1、小児用ポケットマスク1、AED1、チャーリー1                                                                                                                                                           | 有  | 5            | 0  | 5   | 看護師       |
| 3月10日15時00分 | 3月10日18時00分 | 血液内科学講座      | 平成29年度記否会総会     | スクリーン                                                                                                                                                                                                        | 有  | 19           | 1  | 20  | 医師        |
| 3月12日8時00分  | 3月12日18時00分 | 看護キャリア開発センター | 特定行為研修          | スクリーン、プロジェクター、レサシアン、イチロー、ラング、聴診器、舌圧子、血圧計、                                                                                                                                                                    |    | 6            | 0  | 6   | 看護師       |
| 3月12日9時00分  | 3月19日17時00分 | 救急集中治療医学講座   | 一次心肺蘇生普及        | レサシアンQCPR2体、AED2台、BVM2個                                                                                                                                                                                      | 有  | 3            | 0  | 3   | 医師        |
| 3月12日15時30分 | 3月13日16時30分 | 救急集中治療医学講座   | 出前授業 講義         | AED24台、レサシアン3体                                                                                                                                                                                               | 有  | 5            | 70 | 75  | 一般参加者     |
| 3月12日16時30分 | 3月12日18時00分 | 地域医療支援センター   | プライマリ・ケア勉強会     | エコー一式                                                                                                                                                                                                        | 有  | 10           | 1  | 11  | 学生        |
| 3月13日10時00分 | 3月28日17時30分 | 11階西         | 静脈注射試験のため       | 点滴静注シミュレーターVライン                                                                                                                                                                                              | 有  | 5            | 0  | 5   | 看護師       |
| 3月14日9時00分  | 3月16日16時00分 | 10階東         | 研修              | レサシアン(半身タイプ)                                                                                                                                                                                                 | 有  | 2            | 0  | 2   | 看護師       |
| 3月14日16時00分 | 4月4日16時00分  | 第一外科         | 学生指導のため         | 長攝子5、ヘガール5、ローゼル5、縫合パッド4                                                                                                                                                                                      | 有  | 5            | 0  | 5   | 学生        |
| 3月15日9時00分  | 4月4日16時00分  | 7階西          | ACLSの練習         | レサシアン                                                                                                                                                                                                        | 有  | 4            | 0  | 4   | 看護師       |
| 3月15日12時00分 | 3月19日13時30分 | 12階西病棟       | 技術練習            | Vライン                                                                                                                                                                                                         | 有  | 1            | 0  | 1   | 看護師       |
| 3月15日13時00分 | 3月30日13時00分 | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習           | 外科縫合セット                                                                                                                                                                                                      | 有  | 1            | 0  | 1   | 医師        |
| 3月15日14時30分 | 3月30日17時30分 | 卒後臨床研修センター   | 縫合の練習           | 外科縫合セット                                                                                                                                                                                                      | 有  | 1            | 0  | 1   | 医師        |
| 3月16日11時00分 | 3月30日16時00分 | 大学研修医        | 手技練習            | カテーテルキット                                                                                                                                                                                                     | 有  | 5            | 0  | 5   | 医師        |
| 3月16日14時00分 | 3月16日17時00分 | 研修医          | 内視鏡トレーニング       | 内視鏡シミュレーター                                                                                                                                                                                                   |    | 2            | 0  | 2   | 医師        |
| 3月16日15時30分 | 3月16日16時30分 | 産科婦人科        | 臨床実習            | ソフィー                                                                                                                                                                                                         |    | 6            | 1  | 7   | 医師        |
| 3月16日17時00分 | 3月18日17時00分 | 救急集中治療医学講座   | 二次心肺蘇生普及        | ハートシム1体、レサシアンシュミレーター3体、除細動器2台、レサシアンQCPR6体、AEDトレーナー6台、BLSマット6枚、足台2個、支柱台2台、バックバルブマスク(成人用)4個、スクリーン2セット、プロジェクター2台、テレビモニター2台、HDMIケーブル2本、ホワイトボード6枚                                                                 |    | 12           | 12 | 24  | 医師        |
| 3月16日21時00分 | 3月23日3時00分  | 研修医          | 学習              | 内視鏡アキュタッチ、                                                                                                                                                                                                   |    | 1            | 0  | 1   | 医師        |
| 3月19日9時30分  | 3月19日12時00分 | 泌尿器科         | ダウインチの練習        | ダウインチ機械                                                                                                                                                                                                      |    | 6            | 0  | 6   | 学生        |
| 3月19日12時00分 | 3月22日14時00分 | 12階東病棟       | 気管挿管介助の演習       | 気管管理トレーナー、挿管セット(成人)、BVM(成人)                                                                                                                                                                                  | 有  | 3            | 0  | 3   | 看護師       |
| 3月19日13時00分 | 3月20日17時00分 | 2年目初期研修医     | 挿管手技練習          | DAMシミュレーター、挿管セット(成人)                                                                                                                                                                                         | 有  | 3            | 0  | 3   | 医師        |
| 3月20日13時00分 | 3月20日17時00分 | 第二内科         | 学生実習            | 内視鏡シミュレーター                                                                                                                                                                                                   |    | 15           | 15 | 30  | 学生        |
| 3月22日10時00分 | 3月22日18時30分 | 医療安全推進部      | 医療安全講習会         | マイク&スピーカー2                                                                                                                                                                                                   | 有  | 100          | 0  | 100 | 職員        |
| 3月22日14時00分 | 3月22日16時00分 | 血液内科         | レサシアン動作確認       | レサシアン                                                                                                                                                                                                        |    | 1            | 0  | 1   | 医師        |
| 3月23日10時00分 | 3月23日12時00分 | 産婦人科         | 研修              | 超音波シミュレーターウルトラシム                                                                                                                                                                                             |    | 2            | 0  | 2   | 医師        |
| 3月23日12時00分 | 3月24日19時00分 | 血液内科学講座      | ICLS講習会         | レサシアン(半身タイプ)4、救急カート1、レサシアン シミュレータ SimPad版1、除細動器1、AEDトレーナー(レールダル)4、挿管セット(成人)1、ビデオ喉頭鏡1、ハートシム(人形&ノートパソコン)1、気道管理トレーナー1、長テーブル(キャスター有)3、キャスター付き丸椅子14、ホワイトボード2、診察台1、点滴用支柱台1、点滴棒1、BLS訓練用マット6、BVM(成人用)4、ストレッチャー1、ワゴン1 |    | 12           | 0  | 12  | 医師        |
| 3月23日17時00分 | 3月23日20時00分 | 血液内科         | 感染症セミナー         | スクリーン、プロジェクター、マイク                                                                                                                                                                                            | 有  | 1            | 20 | 21  | 医師        |
| 3月23日21時00分 | 3月30日3時00分  | 研修医          | 学習              | 内視鏡アキュタッチ                                                                                                                                                                                                    |    | 1            | 0  | 1   | 医師        |
| 3月26日13時00分 | 3月26日17時00分 | 循環器内科        | 学生実習            | イチロー                                                                                                                                                                                                         |    | 5            | 0  | 5   | 学生        |

平成29年度 スキルラボ利用実績一覧

| 使用開始日時      | 使用終了日時      | 使用団体名      | 使用の目的         | 使用物品                            | 持出         | 使用者数 |       | 計     | 主たる使用者の職名 |
|-------------|-------------|------------|---------------|---------------------------------|------------|------|-------|-------|-----------|
|             |             |            |               |                                 |            | 学内   | 学外    |       |           |
| 3月27日9時00分  | 3月27日13時00分 | 医事課        | ドクターヘリ運航調整委員会 | プロジェクター、スクリーン、                  | 有          | 10   | 10    | 20    | 職員        |
| 3月29日14時00分 | 3月30日14時00分 | ICU看護師     | 講習            | スクリーン                           | 有          | 30   | 0     | 30    | 看護師       |
| 3月29日14時00分 | 4月2日12時00分  | ICU看護師     | 静脈注射の練習       | 点滴静注シミュレーターVライン                 | 有          | 5    | 0     | 5     | 看護師       |
| 3月30日9時00分  | 3月30日21時00分 | 臨床工学センター   | 研修            | シムマン3G、PC2台                     | 有          | 10   | 0     | 10    | 医師        |
| 3月30日15時30分 | 3月30日16時30分 | 産科婦人科学教室   | 臨床実習          | ソフィー                            |            | 6    | 0     | 6     | 医師        |
| 3月30日13時00分 | 3月30日16時00分 | 卒後臨床研修センター | 心エコーの練習       | エコー                             |            | 3    | 0     | 3     | 医師        |
| 3月31日10時00分 | 3月31日18時00分 | 整形外科       | 手術手技講習会       | プロジェクター、スクリーン、縫合セット、感染廃棄容器、針捨容器 |            | 10   | 20    | 30    | 医師        |
|             |             |            |               |                                 | 使用申請件数(3月) | 52件  | 499人  | 188人  | 687人      |
|             |             |            |               |                                 | 使用申請件数(累計) | 589件 | 5930人 | 1619人 | 7549人     |



|      | 申請件数 | 利用者（学内） | 利用者（学外） | 利用者合計 |
|------|------|---------|---------|-------|
| 4月   | 55件  | 704人    | 139人    | 843人  |
| 5月   | 54件  | 432人    | 229人    | 661人  |
| 6月   | 63件  | 491人    | 105人    | 596人  |
| 7月   | 62件  | 566人    | 213人    | 779人  |
| 8月   | 33件  | 173人    | 144人    | 317人  |
| 9月   | 38件  | 365人    | 85人     | 450人  |
| 10月  | 57件  | 507人    | 109人    | 616人  |
| 11月  | 47件  | 364人    | 235人    | 599人  |
| 12月  | 48件  | 1148人   | 68人     | 1216人 |
| 1月   | 51件  | 480人    | 51人     | 531人  |
| 2月   | 29件  | 201人    | 53人     | 254人  |
| 3月   | 52件  | 499人    | 188人    | 687人  |
| 年間合計 | 589件 | 5930人   | 1619人   | 7549人 |

### わりんぎ（和医大臨床技能サークル）の活動

平成 22 年度に教育研究開発センターと学生 BLS サークル合同で、1 年生から 4 年生までを対象にシミュレーターを用いた臨床技能教育を行うサークルを開設しました。放課後にスキルスラボにて勉強会を行いました。

主に放課後にスキルスラボにて開講しています。最初に講義を聞いた後、シミュレーターや血圧計などを使用し、実際に手技を行います。

#### 平成 29 年度活動記録

| 開講日時         | 内容                    |
|--------------|-----------------------|
| 4 月 28 日（火）  | 平成 29 年度新入生対象 BLS 講習会 |
| 5 月 8 日（月）   | オリエンテーションとエコー         |
| 6 月 21 日（水）  | 留置針と刺入                |
| 7 月 12 日（水）  | 外科的縫合                 |
| 9 月 27 日（水）  | 腹腔ドレナージ               |
| 10 月 28 日（土） | 紀葉祭での BLS レクチャー       |



## ホームページについて

教育研究開発センターでは下記のホームページの運営、管理を行っています。

- 教育研究開発センターホームページ
- 臨床技能研修センターホームページ

### 教育研究開発センター ホームページ

- 教育研究開発センタートップページ
  - ◆ 教育研究開発センター概要
    - ◆ 教育研究開発センター規程
    - ◆ 組織図
    - ◆ 運営委員会委員
    - ◆ 運営委員会規程
  - ◆ 部会・委員会
    - ◆ 教育評価部会
    - ◆ 入試制度検討部会
    - ◆ カリキュラム専門部会
    - ◆ 臨床技能教育部会
    - ◆ FD 部会
    - ◆ 和歌山 SP の会
  - ◆ 自己評価委員会
    - ◆ 活動報告
    - ◆ 規程
    - ◆ 自己評価書
  - ◆ その他の事項
    - ◆ 掲示板
    - ◆ 投書箱
    - ◆ リンク



## 臨床技能研修センター ホームページ

- 臨床技能研修センタートップページ
  - ◆ 臨床技能研修センターの紹介
    - ◆ アクセス
    - ◆ 施設案内
    - ◆ 設置及び管理・運営規程
    - ◆ シミュレーター教育の取組
    - ◆ 利用状況
  - ◆ シミュレーター教育についてのページ
    - ◆ シミュレーター教育の内容
    - ◆ シミュレーター一覧表
  - ◆ 臨床手技の解説
  - ◆ 臨床技能研修センターの利用予約
    - ◆ 利用予約日程表
    - ◆ 利用予約フォーム
  - ◆ 臨床手技の解説
  - ◆ わりんぎの活動



平成 30 年 11 月 発行

和歌山県立医科大学 教育研究開発センター

〒641-8509

和歌山市紀三井寺 811 番地 1

電 話 : 073-441-0813(0815)

F A X : 073-441-0814

ホームページ <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/develop/index.html>

e - m a i l cerd@wakayama-med.ac.jp



C E R D  
Center for Educational Research and Development